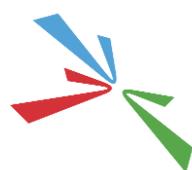


広島市立大学

研究者紹介集

2021



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University



産学連携・地域連携に関するお問合せ・相談受付票

広島市立大学社会連携センター行き

(FAX：産学連携、地域連携 082-830-1555)

氏名	
所属機関名	
所属名	
連絡先	電話：
	FAX：
	E-mail：
相談内容	
現在お抱えの課題（支障があれば書かれなくても結構です。）	
興味を持たれた研究成果等（研究テーマ名、キーワード等）	
希望する研究者名	
これまでの広島市立大学とのコンタクト等の状況	
〈社会連携センター記入欄〉	
受付年月日：	受付番号：

問合せ先 広島市立大学社会連携センター

TEL：082-830-1764（直）

FAX：082-830-1555（直）

E-mail：office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

目次（テーマ名）

国際学部

テーマ名	ページ数
英語 e ラーニングにおける overachiever と underachiever 比較など	1
日本食品メーカーのパラダイム・シフト	1
フードダイバーシティ	1
日本のハラール市場・産業	1
客家(はっか)と華南鉱山開発の関係	1
外傷記憶を扱う芸術理論・芸術史研究	2
注意経済と知覚論	2
メディアアートの保存とアーカイブ	2
芸術批評	2
シンガポールの民主化	2
東南アジア諸国における開発政治体制	2
シンガポールの労働組合運動	2
英国植民地時代と独立後の政治体制の比較	2
企業活動における原価の意義	2
原爆 75 周年	3
世界の広島報道の比較検証	3
学生相談と対人関係精神分析	3
学生相談における心理面接評価法の開発	3
英語学習者へのコミュニケーション方略の応用	3
「Society 5.0」時代における学校教育のあり方に関する国際比較研究	4
1970 年代後半～1980 年代の日本におけるフェミニズムと女性の社会運動	4
日本人論とジェンダー・フェミニズム	4
近代における日独交流史とジェンダー・植民主義	4
災厄と人権	4
老・病・死を含む人権(尊厳)の在り方	4
レチフ・ド・ラ・ブルトンヌの自伝的作品に見られる父子関係	5
ブルターニュ地方における近現代の文芸運動とナショナリズム	5
北マケドニア共和国における多民族共存の模索	5
南東欧地域をめぐる国際関係史	5
EU 加盟候補国における「国民国家」変容	5
Learning & Human Potential	5
福祉サービスにおける営利	6
非営利事業者の行動比較	6
地域コミュニティとソーシャル・キャピタル	6
芸術文化と地域再生	6

政府・自治体における経営学	6
高等教育機関	6
芸術文化団体における財政及び財務	6
朝鮮半島の国際政治	6
現代韓国政治	6
米欧関係の歴史的展開	7
東西冷戦と同盟関係の交錯	7
Rural American culture	7
Willa Gather	7
Native America	7
Rural Cosmopolitanism	7
the Environmental Crisis	7
Climate literature/Cli-Fi	7
American Imperialism	7
亡命ロシア人の歴史	7
独露関係史	7
ロシア思想史	7
専門日本語教育(就職活動のための日本語教育、技能実習生のための日本語教育、外国出身の母親の子育てのための日本語教育、工学を学ぶための日本語教育、経済学を学ぶための日本語教育)	8
渡日生の進路保障	8
日本中世・近世の絵画 主に水墨画など漢画のほか肖像画	8
仏教絵画	8
国際資本移動とマクロ経済政策	8
公共資本と経済成長	9
地方財政	9
エチオピア南部地域の民族誌的研究	9
近代国家への包摂とグローバル化による周縁社会の変化	9
G7 サミットにおけるハイジャック対策と日本外交	9
原子力の国際管理構想史	9
現代パレスチナのパフォーマンスアートと抵抗の思想	10
中東における人の移動とナショナリズム形成	10
中東アラブ社会におけるホスピタリティと西欧社会との関わり	10
Brexit に伴うイギリス擬似外国会社の従属法の変更	10
販売店契約	10
仲立契約に付随する契約の最密接関連地について	10
日本の国際海上コンテナ輸送と港湾整備に関する研究	10
臨港地区の土地利用の変化に関する制度的分析	10
地域社会における高齢者のモビリティ確保と公共交通維持策	10
平和維持活動における多国間機構の役割	11

19世紀イギリス小説における自由の問題	11
高信頼性組織論に基づく学校危機管理論	11
学校組織論	11
日本語と中国語の対照研究	12
日本語母語話者に対する中国語教育	12
紛争後・移行期社会における警察改革(支援)	12
マサイ社会の変容	12
アフリカ潜在力	12
環境保全のグローバル・スタンダードの変遷	12
地域開発/環境保全をめぐる認識のズレ	12
日本古代の儀礼と災害認識	13
前近代日本史史料の英語圏への発信	13
広島の世界文化	13
SETOUCHIの島の創造的イノベーション	13
健康的で持続可能なまちづくり	13
「広島のプロフェッショナルを知る」	13
生態系保全と地域活性化	14
リスクコミュニケーション	14
カンボジアの初等教員養成校における体育	14
カンボジアの小学校における体育	14
開発途上国における体育	14
開発途上国におけるスポーツ	14
広島と低線量被爆の政治	14
翻訳における中間言語の諸相	15
近代ヒスパニック世界における文書ネットワーク・システムの成立と展開(文書管理実践論の視点から)	15
SDGs時代の国際正義	15
SDGs時代のマイノリティ	15
身近な生活環境とSDGs	15
グローバル化の関係についての研究	15
国際経営論	16
面子心理	16
愛国主義	16
コト消費がグローバル・ブランド消費に与える影響	16
eラーニングを利用した英語学習の効果や学習マネジメントに関する研究	16

情報科学部

テーマ名	ページ数
情報工学専攻 コンピュータデザイン研究室	
ディペンダブルコンピューティング	17

論理回路のテスト生成	17
テスト容易化設計	17
テスト容易化高位合成	17
LSI テスト生成	17
テストデータ圧縮	17
高信頼システム	17
エラートレラントアプリケーション	17
ストカスティックコンピューティング	17
フェンシング競技支援システム	17
同期・非同期混在型デジタルシステムの設計とテストに関する研究	17
情報工学専攻 論理回路システム研究室	
機械学習に基づくネットワーク侵入検知ハードウェアの開発	18
メモリベースハードウェアの設計最適化および設計自動化ツールの開発	18
論理関数の特徴分析	18
論理パズルの自動生成	18
VLSI CAD アルゴリズム	18
FPGA を用いた組合せ最適化問題の高速解法	18
ネットワーク侵入検知ハードウェア	18
近似最近傍探索ハードウェア	18
プライバシー保護のためのデータ匿名化手法	18
分散コンピューティングにおけるネットワーク資源管理手法	18
耐故障性をもつ非同期分散合意手法およびそのデータアクセス機構	18
適応的データマイニングによる有用な情報の抽出クラスタリング機構	18
プライバシー保護データ公開	18
セキュアプロトコル	18
機械学習・ディープラーニングを用いた LSI リソグラフィホットスポット検知	19
その他 LSI および FPGA に関する設計技術(フロアプラン、配置設計、配線設計)	19
情報工学専攻 コンピュータアーキテクチャ研究室	
任意精度演算向けアクセラレータ LSI の研究開発	20
リアルタイム・アプリケーション向けリコンフィギャラブル・コンピューティング技術の研究開発	20
機械学習を活用した配置配線手法の研究開発	20
高速な高精度数値計算ライブラリの開発	20
形式手法によるソフトウェア仕様検証支援および仕様からのソフトウェア導出	20
データマイニング等に基づくソフトウェア開発支援情報抽出とその応用	20
FPGA による大規模なグラフに対する探索処理を高速化手法の開発	20
リアルタイムにシミュレーション可能な電子回路シミュレータの開発	20
組み込みシステムでの FPGA を用いたリアルタイム計算処理の高速化	21
FPGA や GPU を用いた自動運転用物体検出の低消費電力システムでの実現	21
ドローンの自動飛行システムによる救助者探索システムの開発	21

FPGA による連立一次方程式の求解の高速化	21
FPGA 向けアプリケーションの C/C++-to-OpenCL トランスレータの開発	21
情報工学専攻 ネットワークソフトウェア研究室	
モバイルネットワーク環境での多様なネットワークサービスを実現するソフトウェアの設計と評価	22
無線センサ網におけるパラメータと経路の適応的設定が可能な秘密分散法に基づく暗号化セキュア情報転送	22
多数の端末による密集環境で利用可能な Bluetooth MANET 構成法	22
適応型ネットワーク制御ソフトウェア	22
高速道路における自動車走行制御スケジューリング	22
動的なコンボイ走行を可能させる手法の開発	22
無線センサネットワークの長期運用手法	22
情報工学専攻 情報ネットワーク研究室	
自律分散システムおよび情報ネットワークにおけるアシュアランスシステムに関する研究	23
衛星回線に適した輻輳制御に関する研究	23
並列ダウンロードに関する研究	23
時間と地域を指定した情報逗留技術の研究、侵入検知システムに関する研究	23
侵入検知システムに関する研究	23
並列ダウンロードによるファイル取得方法	23
P2P ネットワークにおけるファイル配布の速度制御	23
衛星通信ネットワークに適した通信制御技術に関する研究	23
アドホックネットワークにおける高信頼データ通信技術に関する研究	23
インターネットにおける帯域保証技術の研究	23
物理現象モデルを利用した無線 LAN 制御の高度化・高速化	23
情報工学専攻 モニタリングネットワーク研究室	
LF 帯から UHF 帯における自然界電磁波に関する研究	24
電波を用いたヒト検知システムに関する研究	24
無線システムにおける電波伝搬特性の研究	24
自然災害モニタリングネットワーク	24
自然界電磁波に関する研究	24
LF 帯～MF 帯電磁波の電離層伝搬に関する研究	24
LF 帯～UHF 帯電波伝搬に関する研究	24
電波の利活用に関する研究	24
無線全二重ネットワーク	24
無線全二重通信	24
干渉除去技術を用いた高信頼・低遅延無線ネットワーク	24
情報工学専攻 ネットワーク科学研究室	
IoT ネットワーク基盤設計と構築	25
インターネット・分散システム運用管理技術	25
モバイル通信技術	25
ネットワークセキュリティ	25

マルチメディア通信応用	25
ロバスト性を有した新世代ネットワーク(有線・無線)基盤技術	25
ソーシャルメディア上の破壊的ダイナミクスのモデル化と対策技術	25
現象数理学に基づく無線通信品質のモデル化技術	25
暗号／電子署名アルゴリズムの高機能化	25
ユーザビリティと安全性を向上させた認証方式	25
秘密計算が行える秘密分散	25
機械学習を用いた個人識別手法	25
機械学習を用いたパケット解析	25
情報工学専攻 センサシステム科学研究室	
半導体における量子閉じ込め状態の研究	26
宇宙線と地球環境の関連研究	26
蛍光X線ホログラフィーによる多元系物質の局所構造解析	26
無線信号検出	26
衛星測位	26
長距離無線通信	26
FT-ICR 質量分析計内におけるイオン光学シミュレーション	27
多孔質シリコンの作製方法および光学特性に関する研究	27
知能工学専攻 学習工学研究室	
VRを用いた先進的学習支援システムに関する研究	28
先進的メディアを用いた感性工学に関する研究	28
デジタル教材・ページ推薦やスクラッチ機能によるフィードバック	28
協調学習とAI	28
リアルタイム学習分析システムの開発と評価	28
モバイル・ユビキタス・シームレス学習支援	28
AR／VRを用いた学習支援システムの開発	28
身体計測技術を活用したスキル学習手法の提案	28
ヘッドマウントディスプレイの教育応用	28
知能工学専攻 データ工学研究室	
データベース基盤技術の高度化に関する研究	29
非構造化データを対象としたデータマイニングと実世界情報分析に関する研究	29
機械学習におけるデータセキュリティに関する研究	29
時空間データベース	29
映像データのクラスタリングと検索	29
知識情報処理に関する研究	29
知能工学専攻 機械学習研究室	
木構造データ・グラフ構造データからの知識発見	30
機械学習手法による特徴的な木構造パターン・グラフ構造パターンの獲得	30
多重圧縮されたグラフ構造データに対する並列グラフマイニングアルゴリズム	30

論理的思考力育成支援システム	30
失語症者のためのリハビリテーションプラン作成支援システム	30
多様な付加情報を活用したグラフ構造データに対する高性能グラフマイニング手法の開発	30
知能工学専攻 画像メディア工学・CG 研究室	
画像からの3次元計測	31
内視鏡での3次元解析	31
画像からの CG モデリング	31
仮想現実感	31
偏光解析にもとづくコンピュータビジョンの研究	31
実写画像からの陰影除去	31
カメラモデルとキャリブレーションに基づいた画像合成に関する研究	31
実写画像を用いた物体反射特性の推定	31
立体視を使用した複合現実による仮想物体表示	31
広島原爆きのご雲の高さ推定	31
視覚特性を考慮したリアルな映像表現手法の開発	32
知能工学専攻 言語音声メディア研究室	
音声言語情報処理	33
自然言語処理	33
事象からの感情推定手法	33
対話による知識の獲得	33
話者の感情を考慮した自然言語対話	33
話者のマルチモーダル情報からの感情推定	33
知能工学専攻 社会情報学研究室	
人が楽しみながら情報探索を続けられる検索インタフェース	34
人が直観的に知識や感情を汲み取ることができる情報提示手法	34
データ構造の獲得・表現・利用に関する研究	34
自然なユーザインタフェースに関する研究	34
設計知識の再利用に関する研究	34
e-learning を用いた主体的学習に関する研究	34
数理モデルとシミュレーションによる社会ネットワーク構造の分析とモデル化	34
IoT・AI によるデータ取得と自動化・効率化	34
知能工学専攻 計算知能研究室	
進化的アルゴリズムの探索効率向上に関する研究	35
制約付き最適化に関する研究	35
多峰性最適化に関する研究	35
遺伝的プログラミングの改良による探索性能や説明可能性の向上に関する研究	35
進化計算手法を用いたデータからの知識獲得や時系列信号の予測に関する研究	35
知能工学専攻 パターン認識研究室	
情報理論と情報統計力学に関する研究	36

統計的形狀解析における学習理論に関する研究	36
形状データの幾何学的特性を考慮した解析のための機械学習手法の開発	36
数理モデルによるヒト行動モデリング及びデータ解析	36
知能工学専攻 知能数理研究室	
繰り返し測定データの解析	37
多重比較	37
4次元空間内に埋め込まれた曲面の位置に関する研究	37
正標数の代数的閉体上で定義された代数多様体についての研究	37
システム工学専攻 数理科学研究室	
数学教育	38
制約条件付き確率制御理論	38
集合値確率過程に対する確率制御理論	38
分数型評価基準の下でのマルコフ決定過程・最適停止問題・確率制御問題	38
スポーツ最適化	38
代数多様体の分類理論の研究	38
理論解析に基づく Sinc 数値計算法の実用化に関する研究	38
特異性をもつ方程式に対する超高性能数値解法の開発と理論動作保証	38
Sinc 法の再定式化と応用拡大	38
システム工学専攻 組込みデザイン研究室	
マルチタスク組込みシステム仕様に対する性能検証	39
省メモリとデッドライン充足を共に実現するリアルタイムスケジューリング	39
IoT に適した軽量認証法	39
VANET セキュリティ	39
暗号	39
難読化	39
システムセキュリティ一般	39
多目的ナビゲーションシステムのための組合せ最適化	39
情報推薦システムに関する研究	40
システム工学専攻 量子情報研究室	
量子情報理論を用いた通信・信号処理	41
不安定化学種のレーザー分光	41
外部共振器型半導体レーザーを用いた波長可変・高分解能レーザーシステムの開発	41
半導体デバイスのモデリングと計測評価技術に関する研究	41
システム工学専攻 メカトロニクス研究室	
ロボットビジョンおよびヒューマンマシンインタフェースに関する研究球面画像の解析	42
全天周カメラによるロボットの自律走行	42
視線推定	42
車椅子ロボットのインターフェースに関する研究	42
パワーアシスト装置の開発	42

人工筋アクチュエータの制御	42
垂直軸形可変ピッチ風車に関する研究	42
ヒトの運動機能の理解と工学的応用	43
科学教育	43
システム工学専攻 知的制御システム研究室	
救急車の走行解析	44
慣性力や振動の影響を低減するアクティブ防振ベッド	44
傷病に応じた最適搬送ルート	44
搬送患者の血液循環動態シミュレーション	44
運転訓練支援システム	44
運行管理	44
高度没入型ソーシャル VR	44
知・技の伝承と複合現実型実応用	44
全方位 VR 歩行プラットフォームの開発	44
低コストモーションプラットフォームの開発	44
道路や走行状況に応じた車両走行モデルの適応同定法	44
環境外乱にロバストな最適設定値制御系の設計	44
衝突被害軽減のためのアクティブ傾斜制御シートの開発	44
システム工学専攻 ロボティクス研究室	
モーションメディアおよびそのコンテンツの流通方式・デザイン手法・計測・評価法に関する研究	45
人間の行動理解に基づく知能ロボットの研究	45
指向性通信を用いた移動無線通信システムに関する研究	45
複数移動ロボットの無線遠隔制御に関する研究	45
ヒューマノイドロボットを用いて思考力向上を目指す教育方法の開発	46
キットビルド方式に基づく論理的思考力育成プログラムの開発	46
失語症者用リハビリテーション支援システムの開発	46
システム工学専攻 ヒューマンマシンインタフェース研究室	
注視や全身動作から心の状態(意図・感情・興味・メンタルヘルス)を推定する技術	47
眼球・頭部協調運動のモデリングによる注視推定	47
ドローンカメラを用いた人物行動解析	47
継続渡しスタイルによる非同期処理や非決定性計算などの簡潔な記述方法	47
構造化オーバーレイネットワークにおける経路制御アルゴリズム	47
眼と手の協応を用いた課題遂行中のメタ認知状態を推定する指標の開発	47
チーム行動におけるフォーメーション重心を推定するアルゴリズムの開発	47
バイノーラル音響を用いた生活道路交差点のサウンドスケープ測定とその定量化	47
システム工学専攻 通信・信号処理研究室	
量子効果デバイスを用いた Σ Δ 領域における信号処理	48
論理セルラー・アレイを用いた信号生成処理	48
雑音または量子力学的不確定性を伴う確率的回路の解析	48

マルチエージェント強化学習に基づく多船航路探索	48
電化製品の稼働状況を考慮した電力線通信(PLC)のパラメータ最適化	48
システム工学専攻 サウンドデザイン研究室	
自動車運転時の快音化	49
音をもたらすヒトへの影響	49
ヒトそれぞれの好みに適応する音質制御	49
快音の心理学的	49
神経生理学的解析	49
周囲の不快音を遮断する音響バリア	49
アクティブノイズコントロール	49
罹患状態を早期検出する AI センサの開発	49
雑音に頑健な骨伝導インタフェースの研究開発	49
音声認識システムの高精度化に関する研究	49
詩吟歌唱における音響的特徴と歌唱メカニズムの解明	49
医用情報科学専攻 バイオ情報学研究室	
分子動力学シミュレーションによる抗 HIV 中和抗体の分子認識機構の解析	50
コンピュータシミュレーションやバイオインフォマティクスによるヘムタンパク質の構造機能相関の網羅的理論解析	50
任意スペクトル・任意パターン呈示装置を用いた個人の色覚特性の測定	50
マルチスペクトルカメラによる任意物体色の分光反射率推定と任意スペクトル照明による任意物体色の演色制御	50
網羅的に病気の診断が可能なアミノ酸計測用小型装置の開発	50
バイオディーゼル燃料廃棄物の処理・リサイクル法の開発	51
LED 植物工場を活用した機能性食品生産に関する研究	51
近似スピン射影法の高精度波動関数理論や構造最適化計算への拡張	51
多階層計算手法による金属酵素の触媒機構の解明	51
新規医薬品設計を目指した簡便かつ正確な計算手法の開発	51
医用情報科学専攻 医用画像工学研究室	
拡散 MRI の信号値モデルのパラメータ推定の各種手法	52
医用画像解析および表示のための対話的操作および装置	52
拡散 MRI によるトラクトグラフィの手法の開発と改良	52
医用画像解析における放射基底関数の応用	52
前立腺 MR 画像からの前立腺領域抽出に関する研究	52
膝 MR 画像における構造解析と三次元モデル化に関する研究	52
光学顕微鏡による計測・解析手法の開発	52
産業用カメラを利用した画像記録装置の開発と応用	52
医用情報科学専攻 医用ロボット研究室	
医療用カテーテル型センサに関する研究	53
ウェアラブル・フレキシブルセンサに関する研究	53

マイクロ分析システムに関する研究	53
医療用マイクロニードルに関する研究	53
マイクロセンサに関する研究	53
MEMS 材料の機械的特性値評価に関する研究	53
MEMS に関する研究	53
ウェアラブルセンサに関する研究	53
微細加工技術に関する研究	53
MEMS 材料に関する研究	53
医用情報科学専攻 脳情報科学研究室	
光および電磁界を用いた非侵襲的脳機能計測解析技術の開発	54
非侵襲的計測解析技術による脳機能システムの解明	54
ブレインマシンインタフェースの開発	54
認知機能検査・訓練システムに関する研究開発	54
脳波計測を用いた運動制御における脳の情報処理メカニズムの解明	54
脳神経外科治療に必要な高精度測温を実現する配線レス熱電対内蔵凍結プローブの開発	54
立位姿勢制御における前庭覚の役割を段階的・定量的に解明する新規な評価法の開発	54
医用情報科学専攻 医用情報通信研究室	
医療・ヘルスケア IoT	55
電波伝搬解析を用いた人体動作推定	55

芸術学部

テーマ名	ページ数
美術学科 日本画専攻	
日本画制作における抽象表現	56
日本画画材による創作研究	56
日本画材料における作品制作	56
作品制作を通じた創作研究	56
時間のメタファーとしての岩絵具の物質的重層性及び余白に関する造形表現研究	57
日本画制作と絵画材料技法研究	57
『原爆の図』の技法材料と絵画表現	57
美術学科 油絵専攻	
近代日本に於ける西洋絵画の受容	58
ロシア・イコンの図像研究	58
芸術・現代美術	58
インスタレーション	58
ノン・トクシック技法の研究と普及	58
メゾチント技法における版表現の研究	58
メゾチント目立て機の開発	58
木口木版画技法における版表現の研究	58

絵画表現の拡張	59
人物、人体表現と生活圏内の具象制作	59
美術作品の設計における表現メディアの役割とその同時代的な在り方	59
美術における「版表現」の研究と実践	60
美術学科 彫刻専攻	
風景彫刻	61
現代アートにおける立体	61
自然への認識と実在である人間を見据えた上での『幸福』の在り方について	61
人間の根源的な存在への不安	62
時間や命に対する感性和石の関係	62
彫刻というメディアの特性についての研究、およびそれを起点とした他の芸術メディアの視覚的特性の研究と、それを踏まえた作品の制作	62
デザイン工芸学科 現代表現	
戦後の再建(復興)期における美術と社会の関わりについて	63
丹下健三	63
平和都市「広島」のアイデンティティ形成について	63
デザイン工芸学科 視覚造形	
機能するアートとしてのグラフィックデザインを歴史の中で時代の要請とともにデザインの変遷を学び、そこから現代を見つめてみる	64
地域における創造的文化芸術活動	64
デザイン工芸学科 立体造形	
デザインによる創造的まちづくり	65
芸術と環境の関わり合いをもとに、人の暮らしの豊かさを追求する、都市における河川環境の有効的活用について	65
デザイン工芸学科 映像メディア造形	
動画表現教育の為のアニメーション創作支援ツールの開発	66
わかりやすく伝える	66
言葉としての映像	66
デザイン工芸学科 金属造形	
『金属造形・・・その美と表現について(鍛金・彫金・鍍金技法を中心とした)』の研究	
芸術分野における金属加工技術(鑄造、塑性加工、鍛造、溶接、金属の着色を含む表面処理)と、金属材料全般についての知識を深める研究	67
「工芸の美とは人が人らしく生きている時にたえず傍にあるもの。あってほしいもの。」という工芸観に基づく制作および教育活動	67
デザイン工芸学科 染織造形	
型染(糊防染技法)による造形作品の創作	68
古典紅型の文様研究	68
独自の染織技術によって、糸ではないような糸、織物ではないような織物で「まなざしに共鳴する芸術一見人・場・光を予測して一」という新しい分野の可能性を探求した創作活動	68
デザイン工芸学科 漆造形	

芸術表現	69
漆芸技法を応用した美術表現の研究制作	69

平和研究所

テーマ名	ページ数
現代の国際秩序とグローバル・ガバナンス論	70
国際関係における非国家的アクターの役割	70
戦争をめぐる日本・フィリピン関係史	70
地球環境問題や国際環境問題の国際制度	70
国際関係論	70
国際連合研究	70
国際環境政治学	70
環境政策論	70
冷戦後の米中ロ大関係の変容	71
ロシアと中国・旧ソ連友好国の関係回復と戦後国際秩序へのインパクト	71
Domestic politics and foreign policy of Myanmar and Thailand	71
戦争違法化の理論と歴史	71
日本国憲法制定過程	71
憲法改正限界論	71
自治体による危機管理・平和保障	71
戦後日本憲法史・平和史	71
教育の権利と自由	71
信教の自由と政教分離等	71
CSCE プロセスの見直しと東アジア共同体論の研究	72
国際社会の組織化	72
国際連合等の国際組織の活動に関する研究	72
国連安全保障理事会による集団安全保障制度	72
ろう者をめぐる原爆被害の歴史叙述	72
原爆被害・戦後史の資料保存問題	72
Impact of nuclear weapons and nuclear testing on society	73
中国の改革開放と日本	73
日米安保体制と中国	73
北朝鮮の核問題	73
北東アジア国際関係	73
北朝鮮の人権問題	73
ドイツの反核運動とヒロシマ	74
20世紀ドイツのジャーナリズムと平和主義	74
パブリック・リレーションズ(PR)の理論・歴史	74
20世紀アメリカ経営史	74

戦後日本における経営実践	74
パブリック・ディプロマシー	74
平和とメディアの実践的研究	74
核をめぐる内外の動向と論調の整理・分析	74
広島・長崎への原爆投下および被爆に関連する諸問題	74

附属施設等

テーマ名	ページ数
グローバル人材育成のための異文化体験・国際交流プログラムの効果と意義	75
地域人材育成に向けた教育活動の在り方	75
地域創造	75
大学における教育の質保証と高等教育経営に関する研究	76

研究者の紹介

国際学部
情報科学研究科
芸術学部
広島平和研究所
附属施設等

※各教員の氏名またはQRコードから
より詳しい研究内容をご覧ください。

国際学科 教授	青木 信之 (アオキ ノブユキ)
研究分野：英語教育学	
研究概要 e ラーニングによる英語教育・学習を主たる研究分野としています。学習効果の点からだけでなく、LMS(Learning Management System)の学習履歴などから、学習管理の研究も行っています。また、認知心理学的観点からみた英文産出プロセスについても研究を行っています。	
研究テーマ：英語 e ラーニングにおける overachiever と underachiever 比較など、多数。	
研究キーワード：文章産出プロセス、コンピュータによる外国語教育	

国際学科 准教授	アリフ, ヌルハイザル・アザム
研究分野：国際ビジネス、経営学、商学	
研究概要 国際政治や経済の不確実性に伴って企業の存続が厳しくなり競争優位性を維持してもしくは獲得するには市場拡大、コスト削減、イノベーションなどの戦略を再構築する必要が迫られてきています。その対応として、国内飲食店のインバウンド向けの対応や新興国市場を狙う日本の食品メーカーが増えその中ハラール・ヴィーガンという新たな食のスタンダードに注目し始めています。国際ビジネス及びダイバーシティの視点からその展開について研究しています。	
研究テーマ：日本食品メーカーのパラダイム・シフト、フードダイバーシティ、日本のハラール市場・産業	
研究キーワード：国際ビジネス、インバウンド、ダイバーシティ・マネジメント、ハラール・ビジネス	

国際学科 准教授	飯島 典子 (イイジマ ノリコ)
研究分野：中国近代史	
研究概要 中国南部にルーツを発し、華僑華人として世界に移住した客家（はっか）の歴史と文化を中心に研究しています。従来は抽象的に「独特の文化を持つ華僑華人集団」と考えられてきた客家ですが、客家の文化も地域によって多種多様であり、現代に新たに「創られた」イメージもあります。こうした中、客家の実像を鉦山開発という客観性のある側面から探るのが当面の研究テーマです。	
研究テーマ：客家（はっか）と華南鉦山開発の関係	
研究キーワード：華僑華人 華南社会 鉦山	

国際学科 准教授	<u>石谷 治寛</u> (イシタニ ハルヒロ)	
研究分野：美学美術史、視覚文化、記憶研究		
研究概要 芸術を、絵画や彫刻といった古典的な芸術ジャンルだけでなく、映像、写真、パフォーマンス、コンピュータなど幅広いジャンルの表現媒体との交差の観点から考察しています。これまで、十九世紀フランス美術と視覚文化に関する研究から、トラウマ記憶を扱う現代美術と記憶研究、メディア芸術の保存とアーカイブの課題といったテーマについて考察してきました。また雑誌やウェブマガジンなどに芸術批評を書いています。		
研究テーマ：外傷記憶を扱う芸術理論・芸術史研究、注意経済と知覚論、メディアアートの保存とアーカイブ、芸術批評		
研究キーワード：外傷記憶、トラウマのセラピー、多文化主義、注意と認知科学、メディア・パフォーマンス、アーカイブ、国際芸術展、芸術の制度論、アナーキズム		

国際学科 准教授	<u>板谷 大世</u> (イタヤ タイセイ)	
研究分野：シンガポール研究、地域研究(東南アジア)、比較政治学、政治学		
研究概要 東南アジア諸国の政治体制に関する研究を行っています。中でも、独立後に一度も政権交代が行われていないシンガポール共和国の政治体制研究を専門としています。民主的な憲法を持ちながらも政権交代が起きない理由を、植民地国家から独立国家へと移行する際に導入された議院内閣制、選挙制度、そして治安維持法などに注目することから明らかにします。また、これまでの選挙結果から同国における政治の変化を考察します。		
研究テーマ：シンガポールの民主化、東南アジア諸国における開発政治体制、シンガポールの労働組合運動、英国植民地時代と独立後の政治体制の比較		
研究キーワード：東南アジア、シンガポール、政治体制、開発政治体制、政党制、民主化、議院内閣制、選挙制度、治安維持法		

国際学科 准教授	<u>井手吉 成佳</u> (イデヨシ マサヨシ)	
研究分野：会計学		
研究概要 企業活動をマネジメントする管理会計手法にはさまざまなものがあるなかで、原価の観点からマネジメントする手法を研究対象とします。管理者の意思決定と原価の関連性に着目し、文献研究や事例研究を行います。既存のマネジメント手法の改善点や効率的な導入手法を検討します。		
研究テーマ：企業活動における原価の意義		
研究キーワード：原価計算		

国際学科 教授	<u>井上 泰浩</u> (イノウエ ヤスヒロ)
研究分野：メディア、情報通信（SNSの社会的影響）、ジャーナリズム（日米）、政治コミュニケーション	
研究概要 非人道的であると日本では理解されている原爆は、アメリカでは一般的に賛美・正当化されるなど、国によってとらえ方は非常に異なります。原爆75周年というのは、特に欧米諸国にとり50周年に次ぐ節目（25の倍数）となり重要な年であり、多くの報道が期待されます。2020年の世界各国の主要新聞の原爆報道を分析検証します。	
研究テーマ：原爆75周年、世界の広島報道の比較検証	
研究キーワード：広島原爆、原爆75周年、国際報道比較、ジャーナリズム	

国際学科 准教授	<u>今江 秀和</u> (イマエ ヒデカズ)
研究分野：臨床心理学	
研究概要 対人関係精神分析における精神分析的な心理療法の訓練を受けてきており、現在の主たる臨床の場である学生相談に対人関係精神分析の視点や技法をどのように生かしていくことができるかについて研究しています。また、学生相談における心理面接評価に関する研究をしています。	
研究テーマ：学生相談と対人関係精神分析、学生相談における心理面接評価法の開発	
研究キーワード：学生相談、対人関係精神分析、心理面接の評価	

国際学科 教授	<u>岩井 千秋</u> (イワイ チアキ)
研究分野：応用言語学	
研究概要 主に次の3つの研究に取り組んでいます。①外国語学習者が学習言語を使う際に用いる様々な方略（コミュニケーション方略）についての研究で、現在は研究理論を応用（実践）することを中心に研究しています。②最初の点と関連し、大学生の英語による口頭発表技能を高めるための取組みを他大学の教員と連携して進めています。③英語教育政策に関心を寄せつつあり、特に、英語で英語を教えることを求める文科省の指針について、研究を進めています。	
研究テーマ：英語学習者へのコミュニケーション方略の応用	
研究キーワード：コミュニケーション方略、パフォーマンス、伝達能力、語用論、国際補助言語としての英語	

国際学科 教授	<u>ト部 匡司</u> (ウラベ マサシ)	
研究分野：比較国際教育学		
研究概要 学校教育のうち、とりわけ評価論や授業論の視点からの日独比較をはじめ、「Society 5.0」時代の（社会のグローバル化とデジタル化に伴う）教育のあり方についての理論的な研究に取り組むとともに、SDGsの達成に貢献するESD（持続可能な開発のための教育）の実践について、ASPUnivNet（ユネスコスクール支援大学間ネットワーク）加盟大学の担当者として実際にユネスコスクールを支援しながら実践的な研究を行っています。		
研究テーマ：「Society 5.0」時代における学校教育のあり方に関する国際比較研究		
研究キーワード：ドイツの教育、教育評価、教授学、ESD（持続可能な開発のための教育）		

国際学科 教授	<u>ヴェール, ウルリケ</u>	
研究分野：近・現代日本のジェンダー・女性史		
研究概要 近代・現代社会において、ジェンダーにまつわる観念、イメージ、または主張が、社会的関心が寄せられる他の事象（「文化」「人種」「民族」「平和」「エコロジー」「原子力」など）に関する言説といかに交差し、相互に作用し合っているかについて研究しています。また、その交差・相互作用によって、社会運動やメディアや学術的な言説空間において、様々な権力関係がどのように構築され、再生産され、または解体されるか考察しています。		
研究テーマ：1970年代後半～1980年代の日本におけるフェミニズムと女性の社会運動、日本人論とジェンダー・フェミニズム、近代における日独交流史とジェンダー・植民主義		
研究キーワード：近・現代のジェンダー史、フェミニズム、国家とジェンダー、国境・国家を横断する歴史、植民主義、「慰安婦」問題、ナショナリズム、反原発運動、平和運動、日本、ドイツ		

国際学科 教授	<u>太田 育子</u> (オオタ イクコ)	
研究分野：国際法、国際人権法		
研究概要 パンデミックの終息が見通せない中、経済活動の再編に加え社会全般でDX化が加速し、私たちの生活の前提・基盤となってきた社会秩序ひいては国家間制度が急速に揺らいでいる。世界レベルでの人々の思考・感情・行動の変容が生み出す、オープンソース・インベスティゲーションによる政府の行為の検証やデジタル・レジスタンスによる民主化運動支援、ビジョン・ハッカーによる社会改革などにも着目しながら、アフター・コロナ文明の視座に立ち、ひきつづき人道的アプローチとナラティブ手法を基軸とした「災厄と人権」に関する研究を行いたい。		
研究テーマ：災厄と人権、老・病・死を含む人権（尊厳）の在り方		
研究キーワード：国際人権法、主権機能の変質、災厄、人道的アプローチ、老・病・死と自己決定権、ナラティブ手法、グリーフ・ケア、ケア労働		

国際学科 准教授	<u>大場 静枝</u> (オオバ シズエ)
研究分野： フランス文学研究、地域文化研究（フランス・ブルターニュ地方）	
<p>研究概要</p> <p>フランス文学研究においては、18世紀の小説家レチフ・ド・ラ・ブルトンヌの自伝的作品（『我が父の生涯』『父の呪い』『ムッシュー・ニコラ』等）に描写される「父」の表象を通して、作家の自己投影や作品創造のプロセスについて考察しています。地域文化研究においては、フランス・ブルターニュ地方をフィールドに、少数言語文化であるブルトン語とブルターニュ文学に関して、言語文化の復興運動、地域語教育運動、地方の言語政策、民謡、地方文学と民族ナショナリズムの関係などをテーマに研究を行っています。</p>	
研究テーマ： レチフ・ド・ラ・ブルトンヌの自伝的作品に見られる父子関係、ブルターニュ地方における近現代の文芸運動とナショナリズム	
研究キーワード： 18世紀フランス小説、自伝、オートフィクション、父子関係、ブルターニュ地方、ブルトン語、ブルターニュ文学、民謡、地方の言語政策、少数言語文化	

国際学科 教授	<u>大庭 千恵子</u> (オオバ チエコ)
研究分野： 国際関係史、東欧地域研究	
<p>研究概要</p> <p>1991年に旧ユーゴスラヴィアから独立した北マケドニア共和国における、2001年紛争以降の法改正、地方自治制度改革、教育政策、複数言語主義など、同共和国の具体的な政策課題について、現地調査に基づいて研究しています。また、ヨーロッパ政治経済の現状と今後の展望が、「域外」とくにEU加盟候補国に与える影響について研究しています。</p>	
研究テーマ： 北マケドニア共和国における多民族共存の模索、南東欧地域をめぐる国際関係史、EU加盟候補国における「国民国家」変容	
研究キーワード： 国際関係史、国民国家、マケドニア問題、北マケドニア、EU加盟候補国	

国際学科 准教授	<u>カーソン, ルーク</u>
研究分野： 学習心理学、教育学、異文化間心理学	
<p>研究概要</p> <p>My research focuses on human potential and how education, psychology and learning can be adapted towards this end. Currently, I explore this area from a future focused perspective and a cultural perspective.</p>	
研究テーマ： Learning & Human Potential	
研究キーワード： Education、Cross-cultural psychology and communication、Learning Psychology、Metacognition	

国際学科 教授	<u>金谷 信子</u> (カナヤ ノブコ)	
研究分野： 財政・公共経済、公共政策、社会福祉学		
研究概要 ①NPO、公益法人、社会福祉法人、協同組合、地縁組織など多種多様な非営利組織の特性について、主として経済活動の面から研究してきました。また非営利活動と望ましい社会との関係についてソーシャル・キャピタルの観点から研究しています。関連して②福祉などの公共サービスの市場化が社会に与える影響、③少子高齢・人口減少社会における非営利組織と政府のパートナーシップ、④地域・コミュニティの再生などの研究も進めています。		
研究テーマ： 福祉サービスにおける営利、非営利事業者の行動比較、地域コミュニティとソーシャル・キャピタル、芸術文化と地域再生など		
研究キーワード： 非営利組織、非営利経済、公共政策、社会福祉、公民パートナーシップ、ソーシャル・キャピタル、市民社会、文化		

国際学科 准教授	<u>城多 努</u> (キタ ツトム)	
研究分野： 公会計		
研究概要 組織における会計の役割、特に政府・地方自治体および非営利組織における経営資源の有効活用に関心を持ち、研究を行っています。近年では①地方自治体における公共施設マネジメントにおける公会計情報の活用、②高等教育機関における管理会計、③オペラやオーケストラをはじめとする芸術文化団体における会計の役割、④独立行政法人における管理会計、といったトピックに関心を持ち、研究を進めています。		
研究テーマ： 政府・自治体における経営学、高等教育機関、芸術文化団体における財政及び財務		
研究キーワード： 公会計、政府の経営学、高等教育機関の財政・財務、アートマネジメント		

国際学科 教授 (学部長)	<u>金 栄鎬</u> (キム ヨンホ)	
研究分野： 地域研究 (現代韓国朝鮮研究)、政治学、国際関係論		
研究概要 朝鮮半島をめぐる国際関係を研究しています。南北朝鮮関係における国家正統性対立の変化と脅威認識の変化、米韓関係における同盟のジレンマの変化、日韓関係における安全保障と歴史問題の力学の変化に近年は関心を寄せています。また、対外政策と内政の関連に着目し、政治社会の亀裂と諸政治勢力の相互関係および市民社会における対外認識の変容などの要因に着目します。		
研究テーマ： 朝鮮半島の国際政治、現代韓国政治		
研究キーワード： ナショナリズム、現代韓国・朝鮮、対外政策		

国際学科 教授	<u>倉科 一希</u> (クラシナ イツキ)
研究分野：アメリカ外交史、国際関係史	
研究概要 冷戦期のアメリカと西ヨーロッパ諸国を、とくにアメリカ・西ドイツ関係を中心に、検討しています。同盟関係を米ソ超大国の間の冷戦に影響される従属変数と捉えるのではなく、冷戦を超えた独自のシステムとして検討します。とくに西ドイツの管理をめぐる同盟内の緊張や、西ヨーロッパ諸国の経済成長に伴う米欧関係の緊張、冷戦の変容が同盟に及ぼす影響などを検討しています。さらに、他の地域の同盟関係との比較研究も視野に入れていきます。	
研究テーマ：米欧関係の歴史的展開、東西冷戦と同盟関係の交錯	
研究キーワード：冷戦史、米欧関係史	

国際学部 教授	<u>ゴーマン, マイケル</u>
研究分野：英米・英語圏文学	
研究概要 My research in American literature and culture can be divided into two categories: representations of rural American civilization and representations of the environmental crisis. My work examines contemporary climate fiction alongside other forms of creative expression (film, painting, poetry), expands the timeline of American climate literature by including the study of classic texts, and highlights the link between environmental violence and human rights abuses.	
研究テーマ：Rural American culture、Willa Cather、Native America、Rural Cosmopolitanism、the Environmental Crisis、Climate literature/Cli-Fi、American Imperialism	
研究キーワード：American Modernism、World War I、Rurality、Globality、Climate、Environment、Sustainability、Cosmopolitanism、Settler Colonialism	

国際学科 准教授	<u>斎藤 祥平</u> (サイトウ ショウヘイ)
研究分野：地域研究（ロシア）、ロシア近現代史	
研究概要 ユーラシア主義（ヨーロッパへの文明論的な批判と、アジアとの関係の肯定的な評価によって、1917年のロシア革命後のロシアをヨーロッパともアジアとも異なる独自の存在だと位置づけた思想運動）等の亡命ロシア人の諸潮流について、亡命者の広域ネットワークと思想形成の連関に着目し、歴史学的に考察を行なっています。	
研究テーマ：亡命ロシア人の歴史、独露関係史、ロシア思想史	
研究キーワード：亡命ロシア人、ユーラシア主義	

国際学科 准教授	<u>重田 美咲</u> (シゲタ ミサキ)
研究分野：日本語教育学	
研究概要 日本語教育（日本語を母語としない方に日本語を教えること）について研究しています。その中でも特に分野別の日本語教育に興味を持っています。工学や経済学といった大学における研究分野別の日本語教育をはじめ、留学生の就職活動、外国出身の母親の日本での子育て、外国人高校生の進路選択、農場での技能実習などに着目した研究を行い、どのような日本語をどのように学べば効果的かを常に考えています。	
研究テーマ：専門日本語教育（就職活動のための日本語教育、技能実習生のための日本語教育、外国出身の母親の子育てのための日本語教育、工学を学ぶための日本語教育、経済学を学ぶための日本語教育）、渡日生の進路保障	
研究キーワード：専門日本語教育、就職活動、技能実習、子育て、渡日生、工学の日本語、経済学の日本語	

国際学科 准教授	<u>城市 真理子</u> (ジョウイチ マリコ)
研究分野：日本美術史、東洋美術史	
研究概要 日本の絵画史のなかでも、室町時代というのは、大陸との交流による大きな文化的な変動が起きた時期のひとつで、様々な価値の転換がありました。特に、水墨画は、従来の色鮮やかな絵巻や宗教画とはまったく異なる「美の意味」の登場だったのですが、その背景にある、禅宗文化や五山文学がどのように絵画と関係するのか、水墨画や禅宗絵画の図様や制作の状況などを、絵画のみならず文学や歴史の資料を手がかりにして研究しています。近年は、特に広島における雪舟流や雲谷派についても関心を持ち、地域の文化財調査に取り組んでいます。	
研究テーマ：日本中世・近世の絵画 主に水墨画など漢画のほか肖像画、仏教絵画	
研究キーワード：室町水墨画、肖像画、詩画軸、中世仏画、五山文学、禅宗美術	

国際学科 准教授	<u>高久 賢也</u> (タカク ケンヤ)
研究分野：国際金融論・国際マクロ経済学	
研究概要 近年、国際資本移動の急速なグローバル化が進む中で、その影響を大きく受けやすい新興国におけるマクロ経済政策の効果、および、望ましい政策のあり方を検討することが、私の主な研究テーマです。世界金融危機以降の先進国の低金利政策の影響や、コロナ禍によって、近年も新興国において急激な資本の流出入が見られましたが、そうした新興国における望ましい財政、金融および為替政策のあり方や、資本規制の効果について研究を行っています。	
研究テーマ：国際資本移動とマクロ経済政策	
研究キーワード：マクロ経済政策、開放経済、国際資本フロー	

国際学科 教授	<u>高橋 広雅</u> (タカハシ ヒロマサ)
研究分野：経済成長論、行動経済学、財政・公共経済	
研究概要 人々が持つ公平感などの社会規範を行動経済学や実験経済学の立場から研究を行なっています。具体的には色々な条件のもとで独裁者ゲーム、最後通牒ゲーム、信頼ゲーム等を実施します。また、借入れ制約が共通となる連帯債務における共有地の悲劇問題の研究を行なっています。具体的には、プレイヤー数と同じ数の状態変数を持つ差分ゲームについてダイナミック・プログラミングの手法を用いてマルコフ完全均衡を求め、その均衡の性質を分析します。	
研究テーマ：公共資本と経済成長、地方財政	
研究キーワード：経済成長論、財政学、行動経済学	

国際学科 教授	<u>田川 玄</u> (タガワ ゲン)
研究分野：地域研究、文化人類学・民俗学	
研究概要 主にエチオピア南部のボラナという地域社会でのフィールドワークにもとづき、継続的に次のようなテーマに取り組んでいます。第一に、世代関係の変化、特に社会変化に伴う若者と老人の地位の変化に注目しています。第二に、文化遺産をめぐる文化の政治学です。第三に、牧畜から農耕へという生業形態の変化です。そして、第四に、開発とローカルな文化の関係です。	
研究テーマ：エチオピア南部地域の民族誌的研究、近代国家への包摂とグローバル化による周縁社会の変化	
研究キーワード：アフリカ、エチオピア、オロモ、ボラナ、牧畜民、ナショナリズム、社会変化、周縁社会と近代国家、人間と動物、開発、老人、進化	

国際学科 講師	<u>武田 悠</u> (タケダ ユウ)
研究分野：国際関係論	
研究概要 1970年代以降の経済大国となった日本の外交が専門です。マクロ経済政策や原子力平和利用、ハイジャックのような、重要ではあるが軍拡競争や核兵器の管理などと比べて注目されてこなかった国際問題をとりあげ、日本がどのような役割を果たしてきたのかを、各国の文書や関係者へのインタビューを基に研究しています。	
研究テーマ：G7 サミットにおけるハイジャック対策と日本外交、原子力の国際管理構想史	
研究キーワード：日本政治外交史、日米関係史、主要国首脳会議、原子力	

国際学科 准教授	田浪 亜央江 (タナミ アオエ)	
研究分野：中東地域研究、パレスチナ文化研究		
研究概要 演劇やパレスチナでの伝統舞踊であるダブケが、現在のパレスチナで社会的協同プロジェクト、あるいは文化運動として実践されている過程をフィールドワークし、そこに見られる集団的な意思や思想の系譜を探っています。またその歴史的背景となるオスマン末期から委任統治期のパレスチナにおける文化人の日記や紀行期を手掛かりに、パレスチナという土地への認識と愛着の形成、ひいては中東アラブ社会におけるネーション形成のありかたを文化研究の立場から探究しています。		
研究テーマ：現代パレスチナのパフォーマンスアートと抵抗の思想、中東における人の移動とナショナリズム形成、中東アラブ社会におけるホスピタリティと西欧社会との関わり		
研究キーワード：中東、パレスチナ、文化政策、パフォーマンスアート、被抑圧者の演劇、フォーラムシアター、委任統治、移動、歓待、旅行記、ワタン（郷土）		

国際学科 講師	寺井 里沙 (テライ リサ)	
研究分野：国際私法、国際取引法		
研究概要 国際取引には、売買契約、販売代理店契約、ライセンス契約、事業提携契約など、様々な契約類型があります。これらの取引において、一方の当事者が代金を支払わないなどの法的トラブルが生じ、訴訟に発展した場合、裁判所はこの国の法律を使って当該国際取引に関する問題を解決すべきでしょうか。特にヨーロッパにおける議論を参考としながら、日本における以上の問題のあり方について研究しています。		
研究テーマ：Brexit に伴うイギリス擬似外国会社の従属法の変更、販売店契約、仲立契約に付随する契約の最密接関連地について		
研究キーワード：国際裁判管轄、準拠法、法の適用に関する通則法、ウィーン売買条約、インコタームズ		

国際学科 教授	寺田 英子 (テラダ ヒデコ)	
研究分野：交通経済学、公益事業論、地方財政学、商学		
研究概要 私の研究では、ロジスティクスやサプライチェーンを構成する要素の中で、おもな結節点である港湾とそれが担う国際物流に焦点をあてて、経済学の視点から効率性に関する分析を試みています。ロジスティクスは、原材料の調達から最終消費者に至るまでのモノの流れを包括的に管理することを志向する概念です。広島港のような背後に都市圏を抱えた、地方の拠点となる港湾において、ロジスティクスの効率化は地域政策の重要な課題となっています。		
研究テーマ：日本の国際海上コンテナ輸送と港湾整備に関する研究、臨港地区の土地利用の変化に関する制度的分析、地域社会における高齢者のモビリティ確保と公共交通維持策		
研究キーワード：地方のバス市場の制度分析、中山間地の公共交通、英国の地域交通計画、需要応答型交通、港湾管理、港湾の民営化、ロジスティクス、港湾物流、日本型官民パートナーシップ		

国際学科 講師	<u>秦野 貴光</u> (ハダノ タカミツ)	
研究分野：国際関係論		
研究概要 現状変更を試みる台頭国が多国間機構をどのように戦略的に利用しているのかという問題を、世界政治における軍事的プレゼンスを高めつつあるロシアの地域安全保障政策を事例に検討している。特に、ロシアが主導する地域機構（CIS や CSTO など）が旧ソ連地域における平和維持活動（PKO）に及ぼす影響について研究している。また、多国間機構間の相互関係が紛争の政治的解決や和平プロセスに及ぼす影響について分析している。		
研究テーマ：平和維持活動における多国間機構の役割		
研究キーワード：パワー・トランジション、多国間主義、平和維持活動、国際社会論		

国際学科 講師	<u>原 雅樹</u> (ハラ マサキ)	
研究分野：英米・英語圏文学		
研究概要 19 世紀のイギリス小説における自由の問題に関心があります。19 世紀に資本主義体制の国民国家として形を成したイギリスでは、その繁栄のために人々をまるで家畜のようにみなして管理し人口を調整しようとする統治術が台頭しました。この時代に書かれた小説には、こうした統治の一翼を担い、社会に流通することによって規範を再強化するような側面があります。しかし、他方で同時に、それらの中にはそうした規範化の力に対抗し、自由を擁護しようとする側面が潜在していることが多いです。私の研究の目的は、そうした側面を浮かび上がらせ、統治への抵抗の歴史を描き出すことです。		
研究テーマ：19 世紀イギリス小説における自由の問題		
研究キーワード：イギリス、小説、統治、生政治、生権力、人口、規範、主体、自由		

国際学科 教授	<u>福本 昌之</u> (フクモト マサユキ)	
研究分野：教育経営学，教育学		
研究概要 教育経営学の理論研究を基盤としてとくに学校経営及び学校組織を対象としたアクションリサーチに関心を持っている。前任の大分大学教職大学院では現職教員院生の実践研究に関わりながら、学校評価手法の改善、カリキュラム開発、校内研修の改善などの研究を通じて、学校組織開発の研究に取り組んできた。現在は高信頼性組織論に依拠して、学校危機管理に資する「活力のある組織づくり」に関する理論研究に取り組んでいる		
研究テーマ：高信頼性組織論に基づく学校危機管理論，学校組織論		
研究キーワード：学校組織マネジメント，学校評価，学校危機管理		

国際学科 講師	<u>藤原 優美</u> (フジワラ ユウビ)
研究分野：言語学、対照言語学、中国語教育	
研究概要 日本語と中国語の対照研究、特に両言語における同形漢語に関する意味的・統語的研究を行い、そこで得られた結果をいかに中国語教育、または日本語教育に応用するかについて研究をしています。 中国の西南官話の一つである成都方言、主にその統語的機能について研究をしています。	
研究テーマ：日本語と中国語の対照研究、日本語母語話者に対する中国語教育	
研究キーワード：日本語と中国語の比較、日中同形漢語、成都方言	

国際学科 准教授	<u>古澤 嘉朗</u> (フルザワ ヨシアキ)
研究分野：国際関係論、紛争解決論／平和構築論	
研究概要 紛争後・移行期社会において「国家」という枠組みがどのように（再）構築されるのかに関心があり、「平和構築」という戦後復興政策、特に警察改革について研究しています。地域的にはアフリカの国々で調査をしています。2021年度には米国ニューヨーク大学 Center for Human Rights and Global Justice の共同研究に参加し、Elsevier 社の Encyclopedia of Violence, Peace, and Conflict（第3版、2022年公刊予定）の項目“Police Reform”を担当しました。	
研究テーマ：紛争後・移行期社会における警察改革（支援）	
研究キーワード：平和構築、警察改革（支援）、法の多元性、集合的記憶、アフリカ	

国際学科 准教授	<u>目黒 紀夫</u> (メグロ トシオ)
研究分野：アフリカ地域研究、環境社会学、開発社会学	
研究概要 アフリカ大陸の東部に位置するケニア共和国の、南部のサバンナ地域に暮らすマサイの人たちを対象とするフィールドワークを15年ほど行なっています。野生動物保全や地域開発のプロジェクトをめぐって、マサイの人たちは何を考え、どのように行動しているのかを追っています。これ以外にも、隣国のタンザニア連邦共和国の北部や、熊本県の水俣、島根県隠岐郡の海士町にも定期的に訪れ、地域開発や環境保全について情報収集をしています。	
研究テーマ：マサイ社会の変容、アフリカ潜在力、環境保全のグローバル・スタンダードの変遷、地域開発/環境保全をめぐる認識のズレ	
研究キーワード：マサイ、野生動物保全、観光、伝統文化、環境保全、開発援助、牧畜民、ケニア、アフリカ	

国際学科 准教授	山口 えり (ヤマグチ エリ)
研究分野：日本古代史、日本文化史	
研究概要 歴史の表から隠れてしまった日本の思想の蓄積が、いかにして現在まで形成されてきたのかを明らかにすることを目的として、災害が起きたときに人々がどのように対応したのか、日本古代における神祇信仰・仏教・陰陽道の儀礼に着目して、研究を行ってきました。加えて、前近代日本史史料の英訳発信を通じ、グローバルな視野での人間社会の歴史の研究を始める基盤作り、また広島地域の歴史や文化遺産の特質を明らかにすることにも取り組んでいます。	
研究テーマ：日本古代の儀礼と災害認識、前近代日本史史料の英語圏への発信、広島歴史文化	
研究キーワード：日本文化、日本古代、信仰、災因論、史料英訳	

国際学科 教授	山口 光明 (ヤマグチ ミツアキ)
研究分野：健康心理学、運動心理学	
研究概要 「SETOUCHIの島の創造的イノベーション」というテーマのもと、急速に「過疎化」と「高齢化」が進む SETOUCHIの島において、①島を訪問する人の流れを促す事と ②海辺で快適に暮らす空間を創ることによって、SETOUCHIの島の賑わいを創り出すことと人との繋がりを大切にコミュニティの創造を目指します。 その際、実際に来たくするような SETOUCHIの島の魅力的なポイントを全天球カメラで撮影し、その画像データをストリートビューに投稿することで、若者たちの視点から見た瀬戸の海の魅力を広く世界に発信します。	
研究テーマ：SETOUCHIの島の創造的イノベーション、健康的で持続可能なまちづくり	
研究キーワード：健康づくり、幸福感、持続可能なまちづくり、せとうちの魅力発信	

国際学科 講師	山崎 雅夫 (ヤマサキ マサオ)
研究分野：人的資源管理論、経営組織論	
研究概要 「人」(個人、組織)に関する問題や課題について研究しています。企業が必要な人材をどういう基準で採用し、育成し、配置するか、従業員に対する賃金や評価制度はどうあるべきかなど、人の問題に着目しています。また、組織が個人に与える影響は大きいため、その意味で重要な制度(システム)となっていることにも着目しています。「能力開発、キャリア形成」は主要な研究領域です。現在、「広島のプロフェッショナル」について調査しています。	
研究テーマ：「広島のプロフェッショナルを知る」	
研究キーワード：能力開発、キャリア形成、地域研究	

国際学科 准教授	<u>山根 史博</u> (ヤマネ フミヒロ)
研究分野：環境政策・環境社会システム、経済政策	
研究概要 近年は主に、農山漁村に住む人々が地域固有の生態系サービス（食料や水、景観、野外レクリエーション）を利用することで、その地域への愛着やその地域に住むことで得られる生活満足度がどの程度高まり、都市への人口流出を抑制するかについての実証的な調査・分析に取り組んでいます。そのほか、食品の安全性や原子力災害（低線量被曝の健康影響、原発事故発生の可能性）などの不確実性に対する人々の認識とその規定構造の解明にも取り組んでいます。	
研究テーマ：生態系保全と地域活性化、リスクコミュニケーション	
研究キーワード：環境経済評価、不確実性認知、生態系サービス、原子力災害、食品安全	

国際学科 講師	<u>山平 芳美</u> (ヤマヒラ ヨシミ)
研究分野：スポーツと開発 スポーツと国際協力 スポーツを通じた開発 開発と平和のためのスポーツ 体育科教育	
研究概要 2010年からカンボジア王国のプレア・シハヌーク州を中心に、体育科教育やスポーツに関するフィールドワークを継続的に実施しています。主にカンボジアの体育科教育に着目し、教師教育や学校体育の実態把握を中心に調査を行っています。とりわけ、カンボジアの初等教員養成校における学生の成長の過程に注目しています。また、スポーツを通じた開発や国際協力、開発と平和のためのスポーツについて関心を寄せ、研究を行っています。	
研究テーマ：カンボジアの初等教員養成校における体育 カンボジアの小学校における体育 開発途上国における体育 開発途上国におけるスポーツ	
研究キーワード：カンボジア、体育科教育、教員養成、開発、スポーツ、国際協力、国際教育協力	

国際学部 教授	<u>湯浅 正恵</u> (ユアサ マサエ)
研究分野：社会学	
研究概要 2007年から山口県上関原発計画反対運動、2011年から東京電力福島第一原発事故における避難者運動、そして広島原爆「黒い雨」未認定被爆者運動についてフィールドワークを行ってきました。現在、それらの3つのフィールドに共通する「低線量」被曝の政治について広島に焦点をあて研究しています。広島の「平和行政」や核兵器廃絶運動が低線量被曝の問題を放置してきた経緯をたどり、これからの被爆地「広島」の役割や、市民運動の可能性と限界についてさらに考えていきたいです。	
研究テーマ：広島と低線量被曝の政治	
研究キーワード：平和行政、放射線の健康影響、核兵器廃絶運動、市民運動、被爆者、「黒い雨」被爆者	

国際学科 教授	<u>横山 知幸</u> (ヨコヤマ トモユキ)
研究分野：外国語教育	
研究概要 <p>「独案内（ひとりあんない）」と呼ばれる「明治期の英語リーダーの自習書」を分析しています。このタイプの書物では、各英単語に日本語の訳語が付けられ、その訳語を日本語として読む場合の順番を表す数字が振られています。言語表現として見た場合、英語の影響を強く受けた独自の日本語の分析ができるし、また数字を取り出すと、原文の英語と訳文の日本語との間で、語順がどのように変わるかを、数値データとして客観的に分析することができます。</p>	
研究テーマ：翻訳における中間言語の諸相	
研究キーワード：翻訳研究	

国際学部 準教授	<u>吉江 貴文</u> (ヨシエ タカフミ)
研究分野：ラテンアメリカ地域研究、文化人類学	
研究概要 <p>人間の思考や記憶・表現・伝達といった知的活動を支える基本インフラとしての文書メディアが歴史的に果たしてきた役割について、物質的・技術的・制度的視点から解明する文書管理実践論を専門に扱っています。とくに、スペイン帝国が世界規模で拡張した文書ネットワークの史的展開プロセスに焦点をあて、近代以降、植民地支配やグローバル化の過程で文書が果たしてきた歴史的役割を明らかにし、その社会的影響について文書管理実践論の視点から究明をはかります。</p>	
研究テーマ：近代ヒスパニック世界における文書ネットワーク・システムの成立と展開（文書管理実践論の視点から）	
研究キーワード：ラテンアメリカ、歴史人類学、文書管理実践論	

国際学科 教授	<u>吉田 晴彦</u> (ヨシダ ハルヒコ)
研究分野：国際関係論、国際協力論、平和研究	
研究概要 <p>国家レベルから市民レベルにいたる国際関係・国際協力のあり方、SDGs時代の国際正義のあり方、SDGs時代のマイノリティ問題、身近な生活環境とSDGs、グローバル化の関わりといった問題について研究しています。</p>	
研究テーマ：SDGs時代の国際正義、SDGs時代のマイノリティ、身近な生活環境とSDGs、グローバル化の関係についての研究	
研究キーワード：SDGs、国際正義、平和、マイノリティ、国際協力、身近な生活環境	

国際学科 教授（語学センター長）	<u>李 在鎬</u> （リー ジェホ）
研究分野：経営学	
研究概要 主に、日本や韓国の自動車部品のサプライ・チェーンの国際的展開、及び企業間分業関係に関する実証的研究に取り組んできました。近年においては、実績ある自動車メーカーの自動車産業における電動化への適応行動の特質とその際に生成される新たなバリュー・チェーン及びサプライ・チェーンの発展経路のパターンについて、完成車メーカーの視点、及びサプライヤーの視点からアプローチしています。	
研究テーマ：国際経営論	
研究キーワード：グローバル・サプライ・チェーン論、中間財メーカー視点の成長戦略	

国際学科 准教授	<u>李 玲</u> （リ レイ）
研究分野：国際ビジネス、国際マーケティング	
研究概要 国際マーケティングのなかでは、特にグローバル・ブランドと国際的消費者行動に焦点を当てて研究を進めてきました。そして、モザイク性を帯びる巨大市場であり、新興国市場の代表格である中国市場を研究対象としています。先進国消費者の消費行動とは異なる、消費心理や消費特性に影響を及ぼすだろう中国人の顕示心理、面子心理、愛国主義等々は、どのような形で中国人消費者のブランド消費や消費行動に影響を与えるのかに関する探索的研究を進めています。	
研究テーマ：面子心理、愛国主義、コト消費がグローバル・ブランド消費に与える影響	
研究キーワード：グローバル・ブランド、面子消費、愛国主義、コト消費、国際的消費者行動	

国際学科 教授（副学長）	<u>渡辺 智恵</u> （ワタナベ トモエ）
研究分野：英語教育学	
研究概要 英語学習システムや教材の開発を行うとともに、学習管理システム（LMS）に残された教材消化率、ログイン回数、学習時間などの学習記録を分析することにより、英語学習システムや教材を利用する学習者の学習プロセスや学習効果、ラーニングマネジメントに関する研究を行っています。また、開発した英語学習システムや教材は、「市大英語 eラーニング講座」として広島市民にも開放し、大学環境とは異なる社会人向け英語 eラーニングの理想的なあり方についても研究を進めています。	
研究テーマ：eラーニングを利用した英語学習の効果や学習マネジメントに関する研究	
研究キーワード：英語教育、英語学習、eラーニング	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータデザイン研究室	
教授	<u>井上 智生</u> (イノウエ トモオ)
研究分野：計算機システム	
研究概要 ディペンダブルコンピューティング(頼りになるコンピュータ)に関する研究を様々なアプローチから行っています。安全性や信頼性をシステムの機能に着目して優先度を決定し、最適な(低コストで安全な)デジタルシステムを構築する手法を目指しています。近年では特に、自動運転車のようなリアルタイム性が強く要求される組み込みシステムの機能安全指向設計に取り組んでいます。ユーザビリティを指向した設計(ユーザ中心設計)にも興味があります。	
研究テーマ：ディペンダブルコンピューティング、論理回路のテスト生成、テスト容易化設計、テスト容易化高位合成	
研究キーワード：ディペンダブルコンピューティング、計算機支援設計、高信頼性設計、ストカスティック・コンピューティング、サイバー・フィジカル・システム、ユーザ中心設計	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータデザイン研究室	
教授	<u>市原 英行</u> (イチハラ ヒデユキ)
研究分野：ディペンダブルコンピューティング、ストカスティックコンピューティング、計算機システム・ネットワーク、計算科学	
研究概要 ディペンダブルコンピューティングに関する研究を、3つの観点から行っています。1) フォールトアポイダンス：システムに故障が起こらないようにするための技術。LSIのテスト手法の開発など。2) フォールトトレランス：故障の発生を前提にシステムの信頼性を高める技術。再構成可能デバイスを用いた高信頼システムの開発など。3) エラートレランス：誤りが起こることを前提に適切なシステム設計を行う技術。ストカスティックコンピューティング等。	
研究テーマ：LSI テスト生成、テスト容易化設計、テストデータ圧縮、高信頼システム、エラートレラントアプリケーション、ストカスティックコンピューティング、フェンシング競技支援システム	
研究キーワード：信頼性、安全性、可用性、耐故障設計、故障検出率、データ圧縮、最適化問題、テスト容易化設計、歩留まり向上、コスト削減、面積削減、近似計算、乱数生成、確率計算	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータデザイン研究室	
助教	<u>岩垣 剛</u> (イワガキ ツヨシ)
研究分野：計算機システム	
研究概要 ディペンダブルコンピューティングを軸として、デジタルシステムの信頼性向上を目指した研究を行っています。特に、同期式と非同期式の回路が混在するシステムを対象とした、フィールドでの信頼性向上や確率的演算(ストカスティックコンピューティング)を取り入れた設計法を探究しています。また、高位設計情報(レジスタ転送レベル情報)を利用した、システムオンチップに適用可能なテスト容易化設計法の実用化にも取り組んでいます。	
研究テーマ：同期・非同期混在型デジタルシステムの設計とテストに関する研究	
研究キーワード：ディペンダブルコンピューティング、ストカスティックコンピューティング、近似コンピューティング、非同期式回路、高位合成、テスト容易化設計、テスト生成	

情報科学研究科 情報工学専攻 論理回路システム研究室	
教授	<u>永山 忍</u> (ナガヤマ シノブ)
研究分野： 情報学基礎	
研究概要 LSI の論理設計技術を活用し、様々な専用コンピュータ（ハードウェア）の開発に関する研究を行っています。特に近年では、IoT や車載機器向けのネットワーク侵入検知システムの開発を行っています。機械学習による不正侵入の検知部分だけでなく、不正侵入の学習部分も専用ハードウェアによる実現を目指しています。ハードウェアの動作を論理的にモデル化し、数学的に最適な設計を探索する研究を行っています。ハードウェア開発のベースとなる論理数学に関する研究も並行して行っており、技術の裾野を広げています。	
研究テーマ： 機械学習に基づくネットワーク侵入検知ハードウェアの開発、メモリベースハードウェアの設計最適化および設計自動化ツールの開発、論理関数の特徴分析、論理パズルの自動生成	
研究キーワード： 計算機設計支援、設計自動化、組合せ最適化手法、決定グラフの最適化・応用、文字列・正規表現マッチング、機械学習、ネットワーク侵入検知ハードウェア、FPGA の利活用	

情報科学研究科 情報工学専攻 論理回路システム研究室	
教授	<u>若林 真一</u> (ワカバヤシ シンイチ)
研究分野： 情報工学、計算機科学	
研究概要 情報工学分野における組合せアルゴリズムの応用、および組合せ問題を高速に解くための専用ハードウェアについて研究を行っています。これまでにレイアウト設計を中心とする VLSI CAD アルゴリズム、FPGA を用いた NP-困難な組合せ最適化問題の高速解法、ネットワーク侵入検知ハードウェア、近似最近傍探索ハードウェアの研究を行ってきました。近年はプライバシー保護のためのデータ匿名化手法とそのハードウェア化について研究を行っています。	
研究テーマ： VLSI CAD アルゴリズム、FPGA を用いた組合せ最適化問題の高速解法、ネットワーク侵入検知ハードウェア、近似最近傍探索ハードウェア、プライバシー保護のためのデータ匿名化手法	
研究キーワード： 組合せ最適化、組合せアルゴリズム、VLSI CAD、FPGA、専用ハードウェア、ネットワーク侵入検知、最近傍探索、データ匿名化	

情報科学研究科 情報工学専攻 論理回路システム研究室	
講師	<u>上土井 陽子</u> (カミドイ ヨウコ)
研究分野： 情報セキュリティ、情報学基礎理論、分散データベース	
研究概要 分散システム環境での情報の共有を安全かつ正確に行うため、情報セキュリティ、プライバシー保護、同時実行制御に関して研究しています。分散システムでの非同期分散合意での競合の低減化方法、秘匿計算プロトコル、プライバシー保護データ公開での安全性評価指標、ハイブリッドクラウドを利用した機密データに対する MapReduce 分散処理の効率化フレームワーク、ブロックチェーンでの受領者の安全性を向上するためのトランザクション作成方法を開発しています。	
研究テーマ： 分散コンピューティングにおけるネットワーク資源管理手法、耐故障性をもつ非同期分散合意手法およびそのデータアクセス機構、適応的データマイニングによる有用な情報の抽出クラスタリング機構、プライバシー保護データ公開、セキュアプロトコル	
研究キーワード： セキュアプロトコル、プライバシー保護データ公開、データマイニング、分散コンピューティング、ネットワークシステム	

情報科学研究科 情報工学専攻 論理回路システム研究室	
講師	<u>稲木 雅人</u> (イナギ マサト)
研究分野：計算機システム・ネットワーク	
研究概要 近年の LSI には最大で数十億個にも及ぶトランジスタが搭載されており、それらの設計にはコンピュータによる支援が欠かせません。その難度はコンピュータにも容易に扱えるものではなく、より良い設計手法が求められています。本研究者は同分野の中でも、部品を LSI 中のどこに配置するか、部品間の配線をどこに通すかといった物理設計と言われる分野を主に扱っています。最近は特に物理設計の中断点・不具合を人工知能を用いて発見する方法について研究しています。	
研究テーマ：機械学習・ディープラーニングを用いた LSI リソグラフィホットスポット検知、その他 LSI および FPGA に関する設計技術（フロアプラン、配置設計、配線設計）	
研究キーワード：VLSI 設計自動化、物理設計、FPGA、回路分割	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータアーキテクチャ研究室	
教授	<u>弘中 哲夫</u> (ヒロナカ テツオ)
研究分野：コンピュータアーキテクチャ、リコンフィギャラブルシステムズ、計算機システム、ソフトウェア工学	
研究概要 リコンフィギャラブル・コンピューティング技術をリコンフィギャラブル・コンピューティング用のプロセッサの研究から、それを使いこなすための CAD などの設計開発環境の研究、さらには、リコンフィギャラブル・コンピューティングを応用したアプリケーションの研究開発を行っています。研究に使用しているリコンフィギャラブル・コンピューティング用プロセッサとしては、FPGA の他、独自に開発したデバイスである MPLD を用いています。	
研究テーマ：任意精度演算向けアクセラレータ LSI の研究開発、リアルタイム・アプリケーション向けリコンフィギャラブル・コンピューティング技術の研究開発、機械学習を活用した配置配線手法の研究開発	
研究キーワード：コンピュータアーキテクチャ、リコンフィギャラブル・コンピューティング、マルチプロセッサ、並列処理、VLSI アーキテクチャ	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータアーキテクチャ研究室	
准教授	<u>川端 英之</u> (カワバタ ヒデユキ)
研究分野：ソフトウェア、計算機システム・ネットワーク	
研究概要 高品質なソフトウェアとその開発効率化技術の研究を行なっています。ソフトウェアの高品質性に関しては、高速性や並列処理効率などの処理性能を高めるための高度最適化技術や、プロダクトが要求仕様を満足していることを保証するソフトウェア検証とその支援技術、超高精度数値計算などの特殊機能を提供するライブラリの開発技術の研究に取り組んでいます。また高品質なソフトウェアの開発効率を高めるためのユーザ支援環境の研究も行っています。	
研究テーマ：高速な高精度数値計算ライブラリの開発、形式手法によるソフトウェア仕様検証支援および仕様からのソフトウェア導出、データマイニング等に基づくソフトウェア開発支援情報抽出とその応用	
研究キーワード：プログラミング言語処理系、数値処理ソフトウェア、並列処理、ユーザインターフェース、ソフトウェア工学	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータアーキテクチャ研究室	
講師	<u>谷川 一哉</u> (タニガワ カズヤ)
研究分野：リコンフィギャラブルシステム	
研究概要 グラフ処理、数値流体計算、電子回路シミュレーションなど、特定の用途向けの処理を高速化する手法について研究しています。高速化手法としては、主に FPGA を用いてハードウェア化することで高速化を達成します。また上記の研究に関連して、ソフトウェアを用いて特定用途向けのハードウェアのシミュレータを開発したり、自動的に目的に合致するハードウェアを生成するソフトウェアの研究もしています。	
研究テーマ：FPGA による大規模なグラフに対する探索処理を高速化手法の開発、リアルタイムにシミュレーション可能な電子回路シミュレータの開発	
研究キーワード：FPGA、高速化、特定用途、グラフ探索、電子回路シミュレーション	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータアーキテクチャ研究室	
助教	児島 彰 (コジマ アキラ)
研究分野： 計算機システム、ソフトウェア、高性能計算	
研究概要 組み込みシステムにおいて、再構成可能デバイスの FPGA や GPU を計算処理の高速化に活用することを主に研究しています。IoT の技術として、エッジデバイス上で実行する物体検出などのエッジコンピューティングの AI 処理の実現を応用として検討しています。高い計算性能を低消費電力で実現したものを、自動運転車やドローンなどの組み込みシステムへの搭載を目指しています。学会主催の FPGA 設計コンテストなどにも積極的に参加しています。	
研究テーマ：組み込みシステムでの FPGA を用いたリアルタイム計算処理の高速化、FPGA や GPU を用いた自動運転用物体検出の低消費電力システムでの実現、ドローンの自動飛行システムによる救助者探索システムの開発	
研究キーワード：組み込みシステム、再構成可能デバイス、FPGA、GPU、自動運転、ドローン、物体検出、エッジコンピューティング	

情報科学研究科 情報工学専攻 コンピュータアーキテクチャ研究室	
助教	窪田 昌史 (クボタ アツシ)
研究分野：計算機システム・ネットワーク、ソフトウェア、高性能計算	
研究概要 スーパーコンピュータや GPU、リコンフィギャラブルハードウェアである FPGA などの計算機システムにおける並列処理の研究を行っています。並列処理向けのプログラミング言語のコンパイラの開発や、グラフ探索処理、電子回路シミュレーション、物性物理学における結晶構造解析などのアプリケーションプログラムの並列化による高速化を主な研究テーマとしています。	
研究テーマ：FPGA による連立一次方程式の求解の高速化、FPGA 向けアプリケーションの C/C++-to-OpenCL トランスレータの開発	
研究キーワード：システムソフトウェア、並列処理、コンパイラ、ハイパフォーマンスコンピューティング、Graphics Processing Unit (GPU)、Field-Programmable Gate Array (FPGA)	

情報科学研究科 情報工学専攻 ネットワークソフトウェア研究室	
准教授	大田 知行 (オオタ トモユキ)
研究分野：計算機システム・ネットワーク、情報通信工学	
<p>研究概要</p> <p>無線マルチホップネットワーク（メッシュネットワーク、車両ネットワーク等）や携帯電話ネットワークなどのモバイルネットワーク環境において、多様なネットワークサービスを実現するネットワークアプリケーションやネットワークを制御するネットワークプロトコルの考案と設計を行っている。例えば、センシング情報の収集やモバイル端末（ユーザ）間での情報共有のためのネットワークプロトコルやアプリケーションの開発や、これらのネットワークソフトウェアを評価するためのシステムの開発をしている。</p>	
研究テーマ：モバイルネットワーク環境での多様なネットワークサービスを実現するソフトウェアの設計と評価	
研究キーワード：無線マルチホップネットワーク、モバイルネットワーク、ネットワークソフトウェア	

情報科学研究科 情報工学専攻 ネットワークソフトウェア研究室	
准教授	河野 英太郎 (コウノ エイタロウ)
研究分野：ネットワークセキュリティ、計算機システム・ネットワーク、通信・ネットワーク工学	
<p>研究概要</p> <p>端末への計算資源やバッテリー容量などへの制約が大きい無線通信において、有線通信と比べて難しいデータや暗号鍵の漏洩等の問題を解決する手法の研究を進めています。これまでに、秘密分散法を応用し、端末が不正に乗っ取られた場合等のデータ転送時の窃取や無線の盗聴等に対し安全性を向上させる手法を提案しています。また、2件の特許を含む、スマートフォン等の Bluetooth 機能による新しい端末間通信方式を提案しています。</p>	
研究テーマ：無線センサ網におけるパラメータと経路の適応的設定が可能な秘密分散法に基づく暗号化セキュア情報転送、多数の端末による密集環境で利用可能な Bluetooth MANET 構成法	
研究キーワード：ネットワークセキュリティ、ネットワークソフトウェア、秘密分散法、Bluetooth MANET	

情報科学研究科 情報工学専攻 ネットワークソフトウェア研究室	
助教	井上 伸二 (イノウエ シンジ)
研究分野：計算機システム・ネットワーク、通信・ネットワーク工学	
<p>研究概要</p> <p>高速道路を走る車両の流れをスムーズにするために交通状況に適応する自動車走行制御スケジューリングについての研究や、各車両が連携し渋滞の発生を軽減させるような協調型の制御、例えば渋滞箇所を車車間通信によって車両間で共有し渋滞を回避するなどに関する研究を行っています。また、電池駆動のセンサ端末で構成される無線センサネットワークの長期運用を可能とするような仕組みについて取り組んでおります。</p>	
研究テーマ：適応型ネットワーク制御ソフトウェア、高速道路における自動車走行制御スケジューリング、動的なコンボイ走行を可能させる手法の開発、無線センサネットワークの長期運用手法	
研究キーワード：ネットワーク ソフトウェア、マルチエージェント、高度情報交通システム、センサネットワーク	

情報科学研究科 情報工学専攻 情報ネットワーク研究室	
教授 (副学長)	石田 賢治 (イシダ ケンジ)
研究分野：通信・ネットワーク工学、システム工学、計算機システム・ネットワーク	
研究概要 研究室の構成員等と共に、想定外の事象への対処を目指すアシュアランスネットワーク技術、無線 LAN のようなベストエフォートネットワークにおける通信品質保証技術、時間と地域を指定した情報逗留技術等の研究を進めています。	
研究テーマ：自律分散システムおよび情報ネットワークにおけるアシュアランスシステムに関する研究、衛星回線に適した輻輳制御に関する研究、並列ダウンロードに関する研究、時間と地域を指定した情報逗留技術の研究、侵入検知システムに関する研究	
研究キーワード：アシュアランスネットワーク、通信品質、並列ダウンロード、情報逗留技術	

情報科学研究科 情報工学専攻 情報ネットワーク研究室	
准教授	舟阪 淳一 (フナサカ ジュンイチ)
研究分野：計算機システム・ネットワーク	
研究概要 多くのユーザが利用するインターネットにおいて、データの効率的な配布は重要な課題です。この課題への有効な対処として、送るべきファイルのデータを分割して送信し、受信後に再構成する分割ダウンロードについて研究を進めました。その実現形態として、サーバを多数利用する並列ダウンロード、P2P ネットワークにおけるデータ交換、代理サーバを介したネットワークキャッシュ機能やコンテンツ配布の充実、および通信プロトコルの性能を研究しています。	
研究テーマ：並列ダウンロードによるファイル取得方法、P2P ネットワークにおけるファイル配布の速度制御	
研究キーワード：インターネット、ネットワークキャッシュ、コンテンツデリバリ、P2P ネットワーク	

情報科学研究科 情報工学専攻 情報ネットワーク研究室	
准教授	小畑 博靖 (オバタ ヒロヤス)
研究分野：計算機システム・ネットワーク、通信・ネットワーク工学	
研究概要 現在、主に2つのテーマについて研究を実施している。1つ目は、衛星回線のような高速・高遅延通信環境において、データ損失を抑えながら、高速にデータ送受信を行える通信方式の検討を行っている。2つ目として、無線 LAN の高速化・高度化を目指した研究も実施している。ここでは、自然界で起きている現象を数学的に示したモデルを応用し、従来よりも大幅な通信速度の向上や多くの端末が高速通信可能となる技術を検討している。	
研究テーマ：衛星通信ネットワークに適した通信制御技術に関する研究、アドホックネットワークにおける高信頼データ通信技術に関する研究、インターネットにおける帯域保証技術の研究、物理現象モデルを利用した無線 LAN 制御の高度化・高速化	
研究キーワード：通信プロトコル、衛星通信、無線マルチホップネットワーク、QoS、無線 LAN、物理現象等の数理モデルを用いた通信制御	

情報科学研究科 情報工学専攻 モニタリングネットワーク研究室	
教授	西 正博 (ニシ マサヒロ)
研究分野：通信・ネットワーク工学、電波伝搬、センサネットワーク	
研究概要 無線通信および放送において重要となる電波伝搬特性や電磁ノイズを様々な環境において解明する研究に取り組んでおり、自然現象と電磁波との関係解明や、電波を利用したセンシングへの応用など、構築した電波観測ネットワークから得られるデータを解析することで、役に立つ無線システムの研究開発を行っています。また広島市で課題となっている土砂災害に着目し、観測ネットワークで得られたノウハウを応用することで、災害モニタリングネットワークの構築も進めています。	
研究テーマ：LF帯からUHF帯における自然界電磁波に関する研究、電波を用いたヒト検知システムに関する研究、無線システムにおける電波伝搬特性の研究、自然災害モニタリングネットワーク	
研究キーワード：無線システム、電波伝搬、電磁センシング、災害モニタリング	

情報科学研究科 情報工学専攻 モニタリングネットワーク研究室	
講師	新 浩一 (シン コウイチ)
研究分野：超高層物理学、通信・ネットワーク工学	
研究概要 地球や宇宙空間など自然界に遍く存在する電磁波の観測を通じて、地球環境の理解を深める研究を行なっています。また電磁波は通信・放送において情報の伝達に重要な役割を担っておりこの理解が重要であることから、主としてLF帯からUHF帯周波数電波について伝搬特性を明らかにする研究を行なっています。さらに電波の利活用を目指した環境センシングや、そこで必要となる無線ネットワークシステムの開発に掛かる研究も進めています。	
研究テーマ：自然界電磁波に関する研究、LF帯～MF帯電磁波の電離層伝搬に関する研究、LF帯～UHF帯電波伝搬に関する研究、電波の利活用に関する研究	
研究キーワード：電波伝搬、電磁波、無線通信システム、ネットワーク	

情報科学研究科 情報工学専攻 モニタリングネットワーク研究室	
助教	小林 真 (コバヤシ マコト)
研究分野：情報ネットワーク、通信・ネットワーク工学、無線ネットワーク	
研究概要 現実の物理空間と柔軟な電子情報空間とを密に融合することで、人間にとって快適・安全な社会の実現を目指しています。具体的には、物理空間と電子情報空間とを繋ぐために、干渉除去技術やミリ波を用いた高信頼・低遅延無線ネットワークの構築に取り組んでいます。さらに、物理空間における人の行動や物の動きなどの物理現象に起因した電波の変化を観測することで、物理空間の現象を電子情報空間に取り込む研究にも取り組んでいます。	
研究テーマ：無線全二重ネットワーク、無線全二重通信、干渉除去技術を用いた高信頼・低遅延無線ネットワーク	
研究キーワード：無線ネットワーク、電波センシング、メディアアクセスコントロール	

情報科学研究科 情報工学専攻 ネットワーク科学研究室	
教授 (学部長)	<u>前田 香織</u> (マエダ カオリ)
研究分野：情報ネットワーク	
研究概要 IoT が進みクラウドに蓄積される情報が爆発的に増え、その処理が多様化するや BCP のためクラウド利用が不可欠になっています。クラウドのリソースの使用状況やサーバ間の通信状態にあわせてサーバを効率的に配置し、サーバ間連携をする方法を研究開発しています。このとき、移動透過通信技術を用いて通信途絶をしない通信品質の維持も考慮するとともに、サーバが互いに安全に連携が行えるようなセキュリティ技術を研究しています。さらにクラウドのサーバのセキュリティの向上のため、Moving Target Defense に関する研究も行っています。	
研究テーマ：IoT ネットワーク基盤設計と構築、インターネット・分散システム運用管理技術、モバイル通信技術、ネットワークセキュリティ、マルチメディア通信応用	
研究キーワード：IoT、ネットワーク基盤、分散システム運用管理、移動透過通信、ネットワークセキュリティ、ストリーミング	

情報科学研究科 情報工学専攻 ネットワーク科学研究室	
教授	<u>高野 知佐</u> (タカノ チサ)
研究分野：通信・ネットワーク工学	
研究概要 IoT を主軸とする情報ネットワーク (NW) は大規模複雑化しており、従来型の制御/設計手法では管理できない事態が起こっています。また、オンラインソーシャルネットワーク (OSNW) 上で発生する「ネット炎上」などの爆発的なダイナミクスは、情報 NW の普及がもたらす負の側面として大きな社会問題に発展する可能性があります。本研究では、①大規模複雑化しても対応可能な新世代情報 NW 基盤技術の確立、②OSNW 上のネット炎上の発生要因を工学的にモデル化し、爆発的ダイナミクスの普遍的な理解に基づく対策技術の確立を目指しています。	
研究テーマ：ロバスト性を有した新世代ネットワーク (有線・無線) 基盤技術、ソーシャルメディア上の破壊的ダイナミクスのモデル化と対策技術、現象数理学に基づく無線通信品質のモデル化技術	
研究キーワード：大規模複雑ネットワーク、モバイル通信技術、通信トラヒック分析、ソーシャルネットワーク分析	

情報科学研究科 情報工学専攻 ネットワーク科学研究室	
准教授	<u>稲村 勝樹</u> (イナムラ マサキ)
研究分野：情報セキュリティ、ネットワークセキュリティ、暗号理論	
研究概要 インターネットサービスを利用する上でユーザの安心・安全を保証すべく、IoT やクラウドコンピューティングなど新しい技術に対応できる高機能な暗号・電子署名の提案、利便性と安全性の両立を考えたユーザ認証方式、消費者生成メディアにおけるコピー防止に頼らない著作権保護システム、個人情報の利活用促進のためプライバシー保護を行いながらデータ処理が行える秘密計算技術の提案、未知の攻撃にも対応できるサイバーテロ対策の検討などを行っております。	
研究テーマ：暗号/電子署名アルゴリズムの高機能化、ユーザビリティと安全性を向上させた認証方式、秘密計算が行える秘密分散、機械学習を用いた個人識別手法、機械学習を用いたパケット解析、その他セキュリティに関するものであれば何でも	
研究キーワード：暗号、電子署名、秘密分散、ユーザ認証、バイオメトリクス、著作権保護、コンテンツセキュリティ、アクセス制御、サイバーテロ対策	

情報科学研究科 情報工学専攻 センサシステム研究室	
教授	<u>田中 公一</u> (タナカ コウイチ)
研究分野：素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理、電子・電気材料工学	
研究概要 半導体材料の量子構造の研究を行っています。主にスパッタ装置を用いてシリコン薄膜の量子構造を作製し、光学特性や電気伝導特性を調べています。ここで調べた特性は半導体の情報デバイスへの応用が期待されます。また、10年前から宇宙線の国際共同研究に参加して放射線センサなどの作製に携わり、GRAPES-3 (インド) の観測施設などで観測を行いながら高エネルギー宇宙線の発生源や、銀河宇宙線の変動と地球環境への影響を調べています。	
研究テーマ：半導体における量子閉じ込め状態の研究、宇宙線と地球環境の関連研究	
研究キーワード：半導体光物性、量子構造、シリコン微粒子、スパッタ装置、宇宙線、国際共同研究	

情報科学研究科 情報工学専攻 センサシステム研究室	
准教授	<u>八方 直久</u> (ハッポウ ナオヒサ)
研究分野：ナノ構造物理、結晶工学、量子ビーム科学、薄膜・表面界面物性、物性 I、物性 II	
研究概要 私は新材料創製を目指して「蛍光 X 線ホログラフィー」という原子スケールのホログラフィーを用いて、機能性材料の局所的な結晶構造 (原子配列) を調べています。また、その測定装置の開発・改良を行っています。この手法は非常に強力な X 線を必要とするため、高エネルギー加速器研究機構・放射光実験施設 KEK-PF (茨城県) や大型放射光施設 SPring-8 (兵庫県) などの共同利用施設に出張して実験しています。	
研究テーマ：蛍光 X 線ホログラフィーによる多元系物質の局所構造解析	
研究キーワード：原子分解能ホログラフィー、半導体物理	

情報科学研究科 情報工学専攻 センサシステム研究室	
准教授	<u>高橋 賢</u> (タカハシ サトシ)
研究分野：通信・ネットワーク工学、計測工学	
研究概要 私自身は、無線通信やレーダなどに興味を持ち、実験や計算機シミュレーションを行っています。無線通信は、スマートフォンなどでも馴染みですが、ここでは自由空間でのデータ伝達そのものを指します。これまでに、電波伝搬の解析方法、車両間通信方法、データを高速無線伝送するための信号処理方法、微弱な電波をキャッチする方法の研究に取り組んできました。実践および理論の両面での研究を行いながら、成果を挙げたいと考えています。	
研究テーマ：無線信号検出、衛星測位、長距離無線通信	
研究キーワード：LPWA、コグニティブ無線、レーダー、衛星測位、無線信号検出	

情報科学研究科 情報工学専攻 センサシステム研究室	
講師	藤原 真 (フジワラ マコト)
研究分野：ナノ材料、質量分析、N体シミュレーション	
研究概要 1. FT-ICR(Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance)質量分析計に関する研究フーリエ変換質量分析計内のイオンの挙動やスペクトルのシミュレーションを多粒子シミュレーションにより行っています。特に多体問題専用計算機やGPGPUを利用することで百万粒子程度まで使ったりアルシミュレーターの開発を目指しています。 2. ナノ構造シリコンとして多孔質シリコンを中心にその作製方法と光学特性の分析を行っています。	
研究テーマ：FT-ICR 質量分析計内におけるイオン光学シミュレーション、多孔質シリコンの作製方法および光学特性に関する研究	
研究キーワード：多粒子シミュレーション、多体問題専用計算機、フーリエ変換（イオンサイクロトロン共鳴）質量分析、FT-ICR、ナノ材料、ポーラスシリコン、光物性	

情報科学研究科 知能工学専攻 学習工学研究室	
教授	<u>松原 行宏</u> (マツバラ ユキヒロ)
研究分野：知能情報学、感性情報学・ソフトウェアエンジニアリング、教育工学	
研究概要 先進的学習支援システム (ITS, Intelligent Tutoring System) と感性工学の研究に興味があります。昨今の社会状況によりオンライン学習導入が急速に進んでおり、効果的な学習を支援するための手法が重要となっています。個々の学習者の心理、理解状況に応じた適応的な学習支援が必要であり、学習者のモデル化が不可欠です。そこで AI や VR/AR を用いた学習者モデル、学習支援システム構築の研究に取り組んでいます。	
研究テーマ：VR を用いた先進的学習支援システムに関する研究、先進的メディアを用いた感性工学に関する研究	
研究キーワード：知識工学、学習工学、個別診断、知能情報学、感性工学、人工知能、VR/AR	

情報科学研究科 知能工学専攻 学習工学研究室	
准教授	<u>毛利 考佑</u> (モウリ コウスケ)
研究分野：教育工学、学習分析、教育データマイニング、モバイル・ユビキタスコンピューティング	
研究概要 本研究は、Learning Management Systems (LMS)、デジタル教科書システム、モバイル・ユビキタス・シームレス学習システムにより収集した教育ビッグデータを活用する研究を行っている。昨今、教育現場ではオンライン授業が余儀なくされ、教育のデジタル化が促進され、ラーニングアナリティクス(LA)等の教育ビッグデータの活用が期待されています。教育ビッグデータを活用することで、教育・学習改善を行うための介入方法を検討し、その介入結果を用いたエビデンスの抽出やエビデンスに基づく教育の実施を目指しています。	
研究テーマ：デジタル教材・ページ推薦やスクラッチ機能によるフィードバック、協調学習と AI、リアルタイム学習分析システムの開発と評価、モバイル・ユビキタス・シームレス学習支援	
研究キーワード：知識工学、知能工学、ヒューマンインタフェース、教育工学、学習分析、データマイニング、情報の可視化、モバイル学習、ユビキタス学習、シームレス学習、教育の拡張現実感、語彙学習、ネットワーク分析、機械学習、時空間解析	

情報科学研究科 知能工学専攻 学習工学研究室	
講師	<u>岡本 勝</u> (オカモト マサル)
研究分野：教育工学、学習支援システム、スキル学習、拡張現実感、バーチャルリアリティ	
研究概要 拡張現実感技術やバーチャルリアリティを活用した学習支援システムの開発を主に行っています。特に化学や物理など理系科目の学習における実験を伴う学習について AR/VR を用いた仮想的な実験の体験を活用した学習手法の研究を行っています。また画像認識技術による身体計測手法を応用したスキル学習手法の研究も行っています。	
研究テーマ：AR/VR を用いた学習支援システムの開発、身体計測技術を活用したスキル学習手法の提案、ヘッドマウントディスプレイの教育応用	
研究キーワード：教育工学、スキル学習、拡張現実感、バーチャルリアリティ、AR、VR、ヘッドマウントディスプレイ、HMD	

情報科学研究科 知能工学専攻 データ工学研究室	
教授	<u>田村 慶一</u> (タムラ ケイイチ)
研究分野：メディア情報学・データベース、ウェブ情報学・サービス情報学、知能情報学	
研究概要 データからの知識発見とデータベース基盤技術の高度化、テキスト、画像、映像、音声といった非構造化データを対象としたデータマイニングとその高性能化に関する研究に取り組んでいます。具体的には、IoT 機器やセンサデバイスが生み出す時系列データを対象とした時系列データマイニング技術、ソーシャルメディア上に投稿されたデータを使用した実世界情報分析、また、データの安全性を守るためのデータセキュリティに関する研究を行っています。	
研究テーマ：データベース基盤技術の高度化に関する研究、非構造化データを対象としたデータマイニングと実世界情報分析に関する研究、機械学習におけるデータセキュリティに関する研究	
研究キーワード：データマイニング、データベース、時系列データ分析、実世界情報分析、非構造化データ、深層学習、ソーシャルメディア、データセキュリティ、IoT	

情報科学研究科 知能工学専攻 データ工学研究室	
准教授	<u>黒木 進</u> (クロキ ススム)
研究分野：メディア情報学・データベース、知能情報学	
研究概要 マルチメディアデータベースの索引と検索、分析を中心に研究しています。その応用例のひとつが位置情報と、その時間的な変化に関する検索や分析、予測です。例えば、位置に基づく SNS におけるユーザの行動履歴を基にして将来の行動を予測する方法に関する研究を行っています。また、車両の運行経路探索や配車計画に関する研究も行っています。類似性に基づいた映像のクラスタリングについても研究しています。	
研究テーマ：時空間データベース、映像データのクラスタリングと検索	
研究キーワード：マルチメディアデータベース	

情報科学研究科 知能工学専攻 データ工学研究室	
助教	<u>森 康真</u> (モリ ヤスマ)
研究分野：知能情報学、ウェブ情報学・サービス情報学、メディア情報学・データベース	
研究概要 大量のデータを処理することで有益な知識の獲得と知的システムの構築を目指した知識情報処理に関する研究に取り組んでいます。その技術応用として、ソーシャルメディアへの投稿内容からユーザの個人属性を推定する研究、人の動きのデータから抽出される行動的特徴を用いた個人認証手法に関する研究、テキストデータを学習することで得られる知識を用いた創造性支援システムに関する研究などを行っています。	
研究テーマ：知識情報処理に関する研究	
研究キーワード：知識情報処理、ソーシャルメディア、データマイニング、行動的生体認証、情報推薦、創造性支援システム、IoT	

情報科学研究科 知能工学専攻 機械学習研究室	
准教授	<u>宮原 哲浩</u> (ミヤハラ テツヒロ)
研究分野：情報学基礎、知能情報学	
研究概要 大規模なグラフ構造データに隠されている深層知識を、強力な表現能力を持つグラフ構造パターンを用いて表現し、パターン型の深層知識として発見するシステムを開発しています。大規模なグラフ構造データから知識を発見して活用するためのデータマイニングと機械学習における基盤技術を確立するため、従来手法では表現できなかったパターン型深層知識を発見することを目指します。	
研究テーマ：木構造データ・グラフ構造データからの知識発見、機械学習手法による特徴的な木構造パターン・グラフ構造パターンの獲得	
研究キーワード：機械学習、知識発見、データマイニング、計算論的学習理論、帰納論理プログラミング、進化計算	

情報科学研究科 知能工学専攻 機械学習研究室	
准教授	<u>内田 智之</u> (ウチダ トモユキ)
研究分野：アルゴリズム、機械学習、知能情報学、情報学基礎理論、数理情報学、リハビリテーション科学・福祉工学	
研究概要 化学構造、ソーシャル・ネットワーク、タンパク質相互作用ネットワークといった、グラフ構造を有する大規模なデータを可逆圧縮するグラフ文法圧縮について研究し、グラフ文法圧縮されたデータからより広くより深い知識を抽出する、並列グラフマイニング手法とその応用について研究しています。論理的思考力育成支援システムと失語症者のためのリハビリテーションプラン作成支援システムの開発と実用的評価についても研究しています。	
研究テーマ：多重圧縮されたグラフ構造データに対する並列グラフマイニングアルゴリズム、論理的思考力育成支援システム、失語症者のためのリハビリテーションプラン作成支援システム	
研究キーワード：グラフアルゴリズム、計算論的学習理論、データマイニング（グラフマイニング）、グラフ文法圧縮、論理的思考力育成、リハビリテーション支援	

情報科学研究科 知能工学専攻 機械学習研究室	
助教	<u>鈴木 祐介</u> (スズキ ユウスケ)
研究分野：情報学基礎、知能情報学	
研究概要 グラフ構造データとは、頂点（オブジェクト）と辺（オブジェクト間の関係）を用いてモデル化できる構造を有するデータです。オブジェクト間の関係は、単なる接続関係に加え、方角や距離など多様な付加情報を持っています。本研究では、グラフ構造データに対して、オブジェクト間の接続関係に加え、多様な付加情報を用いてモデル化を行います。さらに付加情報を活用して効率的なグラフマイニングアルゴリズムの開発を行います。	
研究テーマ：多様な付加情報を活用したグラフ構造データに対する高性能グラフマイニング手法の開発	
研究キーワード：機械学習、グラフマイニング、データマイニング	

情報科学研究科 知能工学専攻 画像メディア工学・CG 研究室	
准教授	<u>古川 亮</u> (フルカワ リョウ)
研究分野：マルチメディア・データベース	
研究概要 カメラで撮影した画像から、対象の3次元計測を行う研究を主に行っています。3次元計測を、社会の役に立つものにするを目標にして研究開発を行っており、これまでに、大量の画像から物体の反射特性を計測する研究、カメラとプロジェクタを組み合わせて形状計測を行う研究、計測した3次元データを、CGなどで描画する研究、内視鏡に挿入可能な小型投光器を利用することで内視鏡で3次元計測を行う研究などを実施しています。	
研究テーマ：画像からの3次元計測、内視鏡での3次元解析、画像からのCGモデリング、仮想現実感	
研究キーワード：画像処理、画像認識、コンピュータグラフィックス、仮想現実感、3次元内視鏡	

知能工学専攻・画像メディア工学・CG 研究室	
准教授	<u>宮崎 大輔</u> (ミヤザキ ダイスケ)
研究分野：知覚情報処理・知能ロボティクス	
研究概要 偏光を利用したコンピュータビジョンの研究をおこなっています。コンピュータビジョンは画像を解析することでその画像に関する情報を取得する分野です。偏光を用いることで、表面形状を計測したり、画像から霧を除去したりできます。	
研究テーマ：偏光解析にもとづくコンピュータビジョンの研究	
研究キーワード：コンピュータビジョン	

情報科学研究科 知能工学専攻 画像メディア工学・CG 研究室	
講師	<u>馬場 雅志</u> (ババ マサシ)
研究分野：計算機科学、知覚情報処理・知能ロボティクス、知能情報学	
研究概要 実物をカメラで撮影した画像を忠実に再現したCGの生成手法に関する研究を行っています。多様なレンズの特性を忠実にモデル化し、そのパラメータを正確に測定する技術を開発しています。この技術によって、焦点ぼけにより奥行き感を表現することや、実写画像とCG画像を違和感なく合成することが可能になります。さらに、実写画像の陰影を再現したCG画像を合成する手法や、メタリック塗装を忠実に再現する手法に関する開発も行っています。	
研究テーマ：実写画像からの陰影除去、カメラモデルとキャリブレーションに基づいた画像合成に関する研究、実写画像を用いた物体反射特性の推定、立体視を使用した複合現実による仮想物体表示、広島原爆きこの雲の高さ推定	
研究キーワード：コンピュータグラフィックス、コンピュータビジョン	

情報科学研究科 知能工学専攻 画像メディア工学・CG 研究室	
特任助教	三嶋 道弘 (ミカモ ミチヒロ)
研究分野：コンピュータグラフィックス, 画像処理	
研究概要 私は、リアルな映像の表現方法を研究しています。リアルな映像を表現するためには光学シミュレーションと視覚シミュレーションの二つが重要です。光学シミュレーションでは物体表面を撮影したデータを利用した表面反射特性の再現、視覚シミュレーションでは人が光を知覚するまでに行われる視覚系での処理を模倣した表示方法を研究しています。最近では、内視鏡から得られた画像を用いた人体内部の形状復元、表示の方法を研究しています。	
研究テーマ：視覚特性を考慮したリアルな映像表現手法の開発	
研究キーワード：コンピュータグラフィックス、AR/VR、画像処理、色知覚、視覚特性	

情報科学研究科 知能工学専攻 言語音声メディア工学研究室	
教授	竹澤 寿幸 (タケザワ トシユキ)
研究分野：知覚情報処理・知能ロボティクス、知能情報学	
<p>研究概要</p> <p>ロボットや人工知能が人間と日常的なコミュニケーションをするために必要となる情報をカメラやマイクから獲得して活用する技術を目指した研究をしています。観光情報学に関しては、旅行ブログ中のテキストや画像を用いて、様々な観点から分類し、旅行者のみならず観光地を活性化するために役立つ情報を見つける研究をしています。テキストマイニングについては、ベンチャー企業を題材に、Webにある文書から企業情報を抽出・分析する研究を進めています。</p>	
研究テーマ：音声言語情報処理、自然言語処理	
研究キーワード：音声対話処理、観光情報学	

情報科学研究科 知能工学専攻 言語音声メディア工学研究室	
講師	目良 和也 (メラ カズヤ)
研究分野：感性情報学・ソフトコンピューティング、ヒューマンインターフェース・インタラクション、知能情報学	
<p>研究概要</p> <p>人間の口調や表情等の情報からその人の感情や意欲を推定したり、逆に感情を込めた声や表情を作成したりするための技術を中心に幅広い研究に取り組んでいます。人間の口調や表情からの感情推定では、話し手の感情や本心をリアルタイムに推定する手法を研究しています。この技術を応用することで、相手がやる気になっているか、強がりやお世辞を言っているかなどの判別にも使えます。さらに、本心を考慮して対話できるシステムについても研究しています。</p>	
研究テーマ：事象からの感情推定手法、対話による知識の獲得、話者の感情を考慮した自然言語対話、話者のマルチモーダル情報からの感情推定	
研究キーワード：感情情報処理、情緒、情緒計算手法、自然言語対話、好感度、音響分析	

情報科学研究科 知能工学専攻 言語音声メディア工学研究室	
助教	黒澤 義明 (クロサワ ヨシアキ)
研究分野：知能情報学	
<p>研究概要</p> <p>言語・音声・画像処理技術を使って、音源分離／声質変換や印象抽出の研究を進めています。音源分離／声質変換については、特定話者の音声を抽出したり、他人の声に変換したりする研究を行っています。振幅や位相といった音声情報を2次元の特徴量として扱うことにより、畳み込み等の深層学習との親和性を高めています。印象抽出に関しては、商品紹介文等のテキスト情報やコーディネート写真等の画像を処理する技術を研究しています。</p>	
研究テーマ：	
研究キーワード：深層学習、ディープラーニング、印象抽出、情報推薦、ファッションアイテム、アパレルアイテム、ブラインド音源分離、声質変換	

情報科学研究科 知能工学専攻 社会情報学研究室	
准教授	梶山 朋子 (カジヤマ トモコ)
研究分野：ヒューマンインターフェース・インタラクション、感性情報学、マルチメディア・データベース、社会システム工学	
研究概要 情報検索支援を軸に、知識創造活動や購買活動への応用に関する研究を進めています。(1)情報検索支援では、人間と検索システムの相互作用のモデル化と、曖昧な情報要求に対応するマルチメディア検索インタフェースの提案、(2)知識創造活動支援では、子どものための Web サイト特性学習支援システムや、植物や国データを適用した発見学習支援のための図鑑システムの提案、(3)購買活動支援では、消費者の感情の色彩化による商品画像生成手法と、感情推定に基づいた商品推薦手法の提案に取り組んでいます。	
研究テーマ：人が楽しみながら情報探索が続けられる検索インタフェース、人が直観的に知識や感情を汲み取ることができる情報提示手法	
研究キーワード：情報検索、ヒューマンインタフェース、情報可視化、データベース、感性情報処理	

情報科学研究科 知能工学専攻 社会情報学研究室	
准教授	岩根 典之 (イワネ ノリュキ)
研究分野：知能情報学、教育工学、感性情報学・ソフトコンピューティング	
研究概要 e ラーニングシステムを利用した教育学習を支援できるような教材や支援方式について研究開発に取り組んでいます。特に、学習者に個人適応できるようにするための、教材知識や学習者知識の表現と利用及び獲得などから検討しています。また、学習者個人の興味関心を反映した教材の選択や構成の方法、学習状況の表現方法、地域素材の教材化など、生涯学習の観点からも広く検討しています。	
研究テーマ：データ構造の獲得・表現・利用に関する研究、自然なユーザインタフェースに関する研究、設計知識の再利用に関する研究、e-learning を用いた主体的学習に関する研究	
研究キーワード：Reuse、Ontology、Semantic Web、Human Interface、Human Computer Interaction、Machine Learning、Intelligent Tutoring System、Virtual Reality	

情報科学研究科 知能工学専攻 社会情報学研究室	
講師	今井 哲郎 (イマイ テツオ)
研究分野：ネットワーク科学、計算社会科学、社会ネットワーク分析、社会情報学、知能情報学、サービス情報学	
研究概要 社会におけるネットワークは、我々の社会的活動によって形作られ、また我々はネットワークから強い影響を受けている。しかし社会に潜むネットワークの構造・機能、その成り立ちの仕組み、より効率的なネットワークの実現のための制御・誘導の仕組みについて、未だ十分に明らかになっていない。そこで、ネットワーク科学やゲーム理論などに基づく数理モデルとコンピュータシミュレーションを通して、これらを明らかにするための研究を行っている。その他、産学連携研究として IoT・AI による業務効率化に関する研究を行っている。	
研究テーマ：数理モデルとシミュレーションによる社会ネットワーク構造の分析とモデル化、IoT・AI によるデータ取得と自動化・効率化	
研究キーワード：複雑ネットワーク、社会ネットワーク、ゲーム理論、社会シミュレーション、並列計算、複雑系、IoT、機械学習応用	

情報科学研究科 知能工学専攻 計算知能研究室	
教授	高濱 徹行 (タカハマ テツユキ)
研究分野：計算知能、進化的計算、最適化	
研究概要 代表的な進化的アルゴリズム(EA)である差分進化(DE)や粒子群最適化(PSO)などに着目し、EAの探索効率を改善するための研究を行っています。EAによる制約付き最適化手法として、工学的な最適化問題を解くために、拡張した制約領域内で解を探索ながら少しずつ元の制約領域に収束させる手法(ϵ 制約法)を提案しています。EAが多数の解候補を用いる多点探索であるという特徴を利用して、多数の最適解が存在する問題において、一度に多くの最適解を探索する多峰性最適化に関する研究も行っています。	
研究テーマ：進化的アルゴリズムの探索効率向上に関する研究、制約付き最適化に関する研究、多峰性最適化に関する研究	
研究キーワード：ナチュラル・コンピューティング、進化的アルゴリズム、最適化アルゴリズム、制約付き最適化、多峰性最適化	

情報科学研究科 知能工学専攻 計算知能研究室	
教授	原 章 (ハラ アキラ)
研究分野：知能情報学、ソフトコンピューティング、進化計算	
研究概要 生物の遺伝の仕組みを工学に応用した進化計算、中でも特に、プログラムを自動生成する遺伝的プログラミングを研究しています。この手法はデータからの知識獲得やロボットの行動制御、時系列予測やソフトセンサ構築など幅広い問題に適用でき、学習結果がブラックボックスではない明示的なプログラムにより得られます。現在は、プログラムの意味を考慮した遺伝操作による性能改善や、学習結果の説明可能性の向上に取り組んでいます。	
研究テーマ：遺伝的プログラミングの改良による探索性能や説明可能性の向上に関する研究、進化計算手法を用いたデータからの知識獲得や時系列信号の予測に関する研究	
研究キーワード：進化計算、遺伝的プログラミング、マルチエージェントシステム、群知能、自動プログラミング、データからの知識獲得、時系列予測	

情報科学研究科 知能工学専攻 パターン認識研究室	
教授	<u>三村 和史</u> (ミムラ カズシ)
研究分野：知能情報学、情報学基礎理論	
研究概要 情報理論、機械学習、および計算機科学の分野の諸問題について、主に情報理論的手法や統計学的手法を用いて解析的に接近し、非自明な性質を明らかにすることを目的として研究を進めています。情報理論分野においては、スパース推定のアルゴリズムの解析的評価に基づく最適化や、レーザーの発信現象を利用したスパース推定アルゴリズムの実装、量子効果を用いた誤り訂正符号の復号性能評価などを行なっています。機械学習分野においては、3次元形状の特徴量の抽出手法を研究しています。その他、非平衡統計力学の基礎理論の拡張を行なっています。	
研究テーマ：情報理論と情報統計力学に関する研究	
研究キーワード：情報統計力学、情報理論、符号理論、信号処理	

情報科学研究科 知能工学専攻 パターン認識研究室	
准教授	<u>岩田 一貴</u> (イワタ カズノリ)
研究分野：知能情報学、統計科学	
研究概要 統計的形状解析とは、形状データに関する推定や検定のことをいいます。普通の統計学とは異なり、解析されるデータは数ベクトルではなく、ランドマーク座標を並べた行列やランドマーク座標を頂点とする幾何グラフで表され、形状データの幾何学的な特性を考慮した解析が行われます。幾何学的な特性を考慮した解析というのは、例えば、結果に形状の位置、向き、サイズ、特定の歪みが影響しないような解析のことです。近年は形状解析のための機械学習の理論や新しい解析手法の開発に重点を置いて研究しています。	
研究テーマ：統計的形状解析における学習理論に関する研究、形状データの幾何学的特性を考慮した解析のための機械学習手法の開発	
研究キーワード：パターン認識、機械学習、情報理論	

情報科学研究科 知能工学専攻 パターン認識研究室	
准教授	<u>下川 文明</u> (シモカワ タケアキ)
研究分野：知能情報学、統計科学	
研究概要 ヒトの認知や行動についての理解を深めることやその社会活用を目指して、数理モデリングとデータ解析を行なっています。計測機器やアンケート等を通して観測されたヒトのデータに基づいて、ヒト内部システムのモデル化や、内部状態パラメータの推定及び可視化、状態パラメータに応じた適切な支援・サービスを行う方式、について研究を行なっています。	
研究テーマ：数理モデルによるヒト行動モデリング及びデータ解析	
研究キーワード：ベイズ推定、データ分析、計算論的神経科学	

情報科学研究科 知能工学専攻 知能数理研究室	
教授	百武 弘登 (ヒヤクタケ ヒロト)
研究分野：統計数学	
研究概要 医学データなどにおいて、投薬後の血液中のある成分量が投薬 1 分後、2 分後、3 分後のように経時的に測定されるデータなどを繰り返し測定データといいます。このようなデータに統計モデルを適合させて、モデルのパラメータに関する推測をして、薬などの比較をするための統計的方法を開発する研究をしています。また、複数の母集団を同時に比較することにも関心があります。	
研究テーマ：繰り返し測定データの解析、多重比較	
研究キーワード：数理統計学、多変量統計解析	

情報科学研究科 知能工学専攻 知能数理研究室	
准教授	関根 光弘 (セキネ ミツヒロ)
研究分野：位相幾何学	
研究概要 4次元空間に埋め込まれた2次元曲面の位置に関する研究、および力学系理論を用いた数理生物学の諸問題への応用について研究しています。後者については、主に常微分方程式モデルを扱い、平衡点とその安定性、分岐現象などの解析を行っています。取り上げるモデルは、食物連鎖や共生関係を表す生態系のモデルや、感染症の流行のモデルなどありますが、基礎的な方程式の定性的な振る舞い(長時間経過後の状態)に興味があります。	
研究テーマ：4次元空間内に埋め込まれた曲面の位置に関する研究	
研究キーワード：4次元の結び目理論、力学系理論とその応用	

情報科学研究科 知能工学専攻 知能数理研究室	
准教授	齋藤 夏雄 (サイトウ ナツオ)
研究分野：代数幾何学	
研究概要 正標数の代数的閉体上で定義された代数多様体について、さまざまな角度から研究を行っています。代数多様体は多項式の零点集合として定義されますが、定義体の標数が正であるときは、標数が0のときとは異なる現象や幾何的構造が現れることが知られており、符号理論や暗号理論などへの応用も期待されています。現在は、特に定義体の標数が低いときに起きる代数多様体の特殊な現象や構造の解析に力を入れて研究を続けています。	
研究テーマ：正標数の代数的閉体上で定義された代数多様体についての研究	
研究キーワード：代数多様体、正標数	

情報科学研究科 システム工学専攻 数理科学研究室	
教授	<u>田中 輝雄</u> (タナカ テルオ)
研究分野：数学教育、計画数学、確率論、確率過程論	
<p>研究概要</p> <p>ベストな人を雇用するにはいつがよいか？儲けるにはいつ株を売買したらよいか？サッカーのフォーメーションなどの変更・戦術はどうしたらよいか？野球の得点率を高めるには打順をどうしたらよいか？トーナメント戦で優勝した選手は本当に強いのか？現実社会における諸問題の数学的モデル化と解法、意思決定に関する研究、特に、不確実な環境下および不確実な環境下での最適化に関する研究を行っています。また、数学教育に関する研究も行っています。</p>	
研究テーマ：数学教育、制約条件付き確率制御理論、集合値確率過程に対する確率制御理論、分数量評価基準の下でのマルコフ決定過程・最適停止問題・確率制御問題、スポーツ最適化	
研究キーワード：数学教育、最適停止問題、バンディット問題、確率制御問題、確率過程、動的計画法、マルコフ決定過程、階層化意思決定法、スポーツ最適化、集合値確率過程、確率微分方程式	

情報科学研究科 システム工学専攻 数理科学研究室	
准教授	<u>廣門 正行</u> (ヒロカド マサユキ)
研究分野：代数幾何学	
<p>研究概要</p> <p>代数幾何学における多様体の分類理論構築を目標とします。歴史的には複素数体を基礎体とし1次元および2次元の代数多様体の分類が精力的に行われていましたが、近年では更に1)複素数体上任意次元での理論構築、2)基礎体を複素数体からより一般の代数閉体や可換環に拡張する、という方向にて世界的に研究が進められています。本研究では特に多様体の局所的性質の解明(特異点理論)を目標とし、上述2)の方向にて研究を進めています。古典的な方法では見逃されていた点を再認識すると共に、より本質的問題点の把握に努めます。道具としては、既存のコホモロジー理論に代表される方法に加え、グレブナー基底を用いた手法が挙げられます。</p>	
研究テーマ：代数多様体の分類理論の研究	
研究キーワード：代数多様体、特異点理論、グレブナー基底、3次元標準特異点、2次元有理2重点および3重点	

情報科学研究科 システム工学専攻 数理科学研究室	
准教授	<u>岡山 友昭</u> (オカヤマ トモアキ)
研究分野：計算科学、数学基礎・応用数学	
<p>研究概要</p> <p>関数近似は、未知の関数の振る舞いを有限個のサンプル値をもとに再現する方法であり、数値積分法や、微分方程式・積分方程式のシミュレーション法の基盤となっています。関数近似が精度よく行えるためには近似対象の関数がいくつかの条件を満たす必要がありますが、適切な変数変換を用いることでその条件を満たすことができます。このような関数近似と変数変換を組み合わせる方法の開発、およびその理論解析を行っています。</p>	
研究テーマ：理論解析に基づく Sinc 数値計算法の実用化に関する研究、特異性をもつ方程式に対する超高性能数値解法の開発と理論動作保証、Sinc 法の再定式化と応用拡大	
研究キーワード：数値解析、変数変換型数値計算法	

情報科学研究科 システム工学専攻 組込みデザイン研究室	
教授	<u>中田 明夫</u> (ナカタ アキオ)
研究分野：組込みシステム、形式的手法、リアルタイムスケジューリング	
研究概要 各種の機器に組み込まれてその制御を行うコンピュータシステムを組込みシステムと呼びます。組込みシステムは通常のコンピュータシステムよりも高い信頼性が要求され、また、限られたハードウェア資源の下でリアルタイム性などの厳しい制約を満たして動作する必要があります。そのような組込みシステムの設計を行うために、その仕様を数学的モデルで記述し、動作の正しさや制約の充足を数学的に検証する手法である形式的手法、および、特にリアルタイム性を充足するためのスケジューリング手法の研究を行っています。	
研究テーマ：マルチタスク組込みシステム仕様に対する性能検証、省メモリとデッドライン充足を共に実現するリアルタイムスケジューリング	
研究キーワード：リアルタイムシステム、組込みシステム、分散システム、設計検証、設計最適化、形式的手法、モデル検査	

情報科学研究科 システム工学専攻 組込みデザイン研究室	
准教授	<u>双紙 正和</u> (ソウシ マサカズ)
研究分野：情報セキュリティ、計算機システム・ネットワーク、ソフトウェア、情報学基礎	
研究概要 情報セキュリティの幅広い分野について研究を行ってきました。特に、システムセキュリティ、認証、秘密分散を中心とした暗号などを基本的な研究テーマとしています。さらに近年は、IoT に適した軽量認証法について研究を行い、その中でも、ハッシュ関数をもつ、量子計算への安全性や軽量性について着目し、ハッシュ連鎖という応用について研究してきました。その他、VANET セキュリティやIP トレースバックについて研究しています。	
研究テーマ：IoT に適した軽量認証法、VANET セキュリティ、暗号、難読化、システムセキュリティ一般	
研究キーワード：セキュリティ、ネットワーク、IoT、認証、暗号、秘密分散、VANET、IP トレースバック、ソフトウェア、難読化	

情報科学研究科 システム工学専攻 組込みデザイン研究室	
准教授	<u>村田 佳洋</u> (ムラタ ヨシヒロ)
研究分野：ソフトコンピューティング	
研究概要 単純なナビゲーションシステムは経路長のみを最短化する経路を案内しますが、それ以外にも道幅や信号数、景観等の要求（目的）が考えられます。これら要求に点数を付ける方法もありますが、案内される前から「自分にとって何がどの程度重要か」を点数付けすることは難しいです。そこで多目的最適化の概念を用い、目的ごとの折衷案を提示するシステムを研究しています。これにより、ユーザ自身にとって「本当に必要だったもの」を知ることが容易となります。	
研究テーマ：多目的ナビゲーションシステムのための組合せ最適化	
研究キーワード：遺伝アルゴリズム、組合せ最適化、ナビゲーションシステム、ワイヤレスセンサネットワーク	

情報科学研究科 システム工学専攻 組込みデザイン研究室	
助教	<u>佐藤 康臣</u> (サトウ ヤスオミ)
研究分野：ソフトウェア、分散協調システム	
研究概要 個人の嗜好に合った商品（例えば映画）を推薦する際に用いられる手法として、その商品に付けられている各個人の評価値をもとに似ている嗜好の人を探し、その似ている人が高評価をしている商品を推薦する協調フィルタリングという方法があります。この方法を拡張し、商品に対して評価値だけでなく、印象を付加してもらい、商品に対して抱く印象が似ている人が高評価した商品を推薦する方法を研究しています。	
研究テーマ：情報推薦システムに関する研究	
研究キーワード：インターネット、コンピューティング	

情報科学研究科 システム工学専攻 量子情報研究室	
准教授	<u>桑田 精一</u> (クワタ セイイチ)
研究分野：数学基礎・応用数学、数理物理	
研究概要 量子情報の実質的価値は、衛星通信など、1bitあたりの情報が数個の光子によって伝送されるような、強度の弱い信号を扱える点にあるばかりではなく、古典情報に関する理解をより深められる点にあります。量子力学の基本原則に基づいた情報理論を用いることによって、より高速かつ効率のよい通信・信号処理に関する手法を構築します。また、量子通信を実現するための数理的、物理的モデルに関する研究を行います。	
研究テーマ：量子情報理論を用いた通信・信号処理	
研究キーワード：量子情報理論、量子通信	

情報科学研究科 システム工学専攻 量子情報研究室	
准教授	<u>福島 勝</u> (フクシマ マサル)
研究分野：レーザー分光	
研究概要 ① テーマ：含金属化合物のレーザー分光 電子デバイスや触媒に関連した金属を含む不安定分子のレーザー分光観測 ② テーマ：芳香族ラジカルのレーザー分光 ガソリン燃焼排気ガスなどに含まれる大気汚染物質の成分である芳香族不安定分子のレーザー分光観測	
研究テーマ：不安定化学種のレーザー分光、外部共振器型半導体レーザーを用いた波長可変・高分解能レーザーシステムの開発	
研究キーワード：量子力学、化学物理	

情報科学研究科 システム工学専攻 量子情報研究室	
助教	<u>辻 勝弘</u> (ツジ カツヒロ)
研究分野：電子デバイス・電子機器	
研究概要 しきい値電圧、実効チャネル長等のデバイスパラメータの値は、回路シミュレーションでは重要な意味を持ちます。よって、シミュレーションモデルの開発において、パラメータの値の物理的な意味が失われないように抽出を行う必要があります。本研究では、電流電圧特性だけではなく、実測に基づくコンダクタンスやキャパシタンス特性からもパラメータ抽出とその評価技術に関する研究を行っています。またそれらのパラメータばらつきについても解析し、原因の追及を行っています。	
研究テーマ：半導体デバイスのモデリングと計測評価技術に関する研究	
研究キーワード：半導体デバイス、集積回路、デバイスモデリング、デバイスシミュレーション、パラメータ抽出	

情報科学研究科 システム工学専攻 メカトロニクス研究室	
教授	李 仕剛 (リ シゴウ)
研究分野：コンピュータビジョン、ロボットビジョン、知覚情報処理、知能ロボティクス	
<p>研究概要</p> <p>視覚は、人間の日常生活において重要な役割を果たしています。人間社会と共存するロボットの開発には、如何にロボットに視覚機能を持たせるのかは、関心の集まる課題です。カメラからの映像を解析し、環境認識、人間の顔表情や視線の推定などを通し、機械に知能を持たせる研究に従事しています。特に、最近では、周囲を漏れなく観測できる全天周カメラを利用した知的車椅子ロボットの研究開発を行っています。</p>	
研究テーマ：ロボットビジョンおよびヒューマンマシンインタフェースに関する研究球面画像の解析、全天周カメラによるロボットの自律走行、視線推定、車椅子ロボットのインタフェースに関する研究	
研究キーワード：ロボットビジョン、脳視覚情報処理、マンマシンインタフェース、車のロボット化	

情報科学研究科 システム工学専攻 メカトロニクス研究室	
准教授	小寄 貴弘 (コサキ タカヒロ)
研究分野：機械力学・制御、知能機械学・機械システム	
<p>研究概要</p> <p>身体装着型のパワーアシスト装置は、装着した人間の動きに合わせて補助力を発揮し、荷積や歩行などの動作を支援する装置であり、身体の負担軽減や自立支援に役立つ。特に、空気や水の圧力を動力源とし、軽量、柔軟な人工筋をアクチュエータとして用いたパワーアシスト装置に関して、機構的な安全性や使用感の向上、人間と協調して動作できる制御システムの開発などを行っている。</p>	
研究テーマ：パワーアシスト装置の開発、人工筋アクチュエータの制御	
研究キーワード：メカトロニクス、制御工学、フルードパワーシステム	

情報科学研究科 システム工学専攻 メカトロニクス研究室	
助教	小作 敏晴 (コサク トシハル)
研究分野：流体工学、機械力学・制御	
<p>研究概要</p> <p>再生可能エネルギー利用促進のための重要な技術として、ブレードの電動式ピッチ角制御機構を実装した「垂直軸形可変ピッチ風車」という小型風車の研究開発を行っています。これまでに、風洞実験用に設計・製作した風車の空力性能試験を実施して、提案技術の有効性を示しました。また、スーパーコンピュータを利用した風車まわりの流れの解析から、提案技術を検証しました。今後も実用化に向けて、実験と数値解析の両面から研究開発を進めます。</p>	
研究テーマ：垂直軸形可変ピッチ風車に関する研究	
研究キーワード：流体機械、メカトロニクス	

情報科学研究科 システム工学専攻 メカトロニクス研究室	
助教	<u>厚海 慶太</u> (アツウミ ケイタ)
研究分野：科学教育、生体医工学・生体材料学、知能機械学・機械システム、計測工学、制御・システム工学	
<p>研究概要</p> <p>健全なヒトの手指は非常に繊細な動作が可能なアクチュエータとしての機能に加えて、随所に極めて敏感なセンサを有しています。そこで、前腕部に貼付した電極を経由し、体外から電気刺激を印加して筋収縮を誘発する技術、および、生体に由来する電気信号を体外へ取り出して解析する技術を組み合わせ、工学的な応用を目指す研究に取り組んでいます。また、初学者を対象とした科学全般の啓発を目的とした教材開発も行っています。</p>	
研究テーマ：ヒトの運動機能の理解と工学的応用、科学教育	
研究キーワード：計測制御工学、機能的電気刺激、センサ・アクチュエータ	

情報科学研究科 システム工学専攻 知的制御システム研究室	
教授	<u>小野 貴彦</u> (オノ タカヒコ)
研究分野： 制御工学、最適化、モデリング、生体計測、ビッグデータ解析、コンピュータシミュレーション	
研究概要 救急車による搬送では、傷病者の容態を悪化させることなく安全に、かつ迅速に病院に搬送することが求められます。安全性と迅速性のより一層の向上を目指し、フィールド調査を通じて問題点を明確にしつつ、その対策として、制御工学、数値最適化、モデリング、ビッグデータ解析の技術を幅広く活用しながら、多角的な視点で、ハードとソフトの両面から救急搬送支援システムの新規開発や改良に取り組んでいます。	
研究テーマ：救急車の走行解析、慣性力や振動の影響を低減するアクティブ防振ベッド、傷病に応じた最適搬送ルート、搬送患者の血液循環動態シミュレーション、運転訓練支援システム、運行管理	
研究キーワード：救急搬送、制御工学、数値最適化、モデリング、経路探索、振動計測、生体計測、ビッグデータ解析、シミュレーション、乗り心地評価、人間機械システム、スマホアプリ開発	

情報科学研究科 システム工学専攻 知的制御システム研究室	
講師	<u>脇田 航</u> (ワキタ ワタル)
研究分野： 知覚情報処理、ヒューマンインターフェース・インタラクション、知能情報学、図書館情報学・人文社会情報学、エンタテインメント・ゲーム情報学、文化財科学・博物館学	
研究概要 本グループでは、いわゆる五感情報を人工的に作り出すバーチャルリアリティ（VR）に関する研究を進めています。リアルな人工世界を作り出すためには、モノの形や質感（色や反射特性等）、コト（形として残らない人の動き、力等）を計測・解析・モデル化、再現する必要があります。この技術を人工世界・実世界に複合現実感（MR）として実現することで、他人の五感情報を追体験したり、多地点間で共有したりすることが期待できます。	
研究テーマ：高度没入型ソーシャル VR、知・技の伝承と複合現実型実応用、全方位 VR 歩行プラットフォームの開発、低コストモーションプラットフォームの開発	
研究キーワード：バーチャルリアリティ、コンピュータグラフィックス、デジタルミュージアム、ハプティクス、ロコモーションインターフェース、複合現実感、知・技の伝承	

情報科学研究科 システム工学専攻 知的制御システム研究室	
助教	<u>齊藤 充行</u> (サイトウ ミツユキ)
研究分野： 制御工学、制御・システム工学	
研究概要 本研究グループでは、道路や走行状況の変動に応じて車両走行モデルをリアルタイムかつ高精度にモデリングする方法、システムに混入する外乱や観測過程に混入する雑音を考慮したシステムに対して設定する目標値にある種の条件（例えば限られた数の制御入力によって、多くの状態量を制御するなど）が付けられている場合の最適設定値制御系の設計法およびこの制御系に対応する最適状態推定器の設計法、自動運転車両の衝突被害軽減のために衝突を予測シート全体を傾斜させて搭乗者への衝突加速度をいなくすアクティブ傾斜制御シートの制御法について研究しています。	
研究テーマ：道路や走行状況に応じた車両走行モデルの適応同定法、環境外乱にロバストな最適設定値制御系の設計、衝突被害軽減のためのアクティブ傾斜制御シートの開発	
研究キーワード：制御理論、観測誤差、最適制御、モデルベース制御、車両モデル、モデル化誤差、自動運転	

情報科学研究科 システム工学専攻 ロボティクス研究室	
教授	岩城 敏 (イワキ サトシ)
研究分野：ロボティクス	
研究概要 1. 生活支援ロボット用インタフェース 実世界にある物体をPCのアイコンのようにクリックやドラッグ&ドロップすることで、その物体操作のための指示を支援ロボットに直感的に伝えることができます。 2. エアジェットによる非接触物体操作技術 複数のエアジェットの方向と噴出量を制御することで、空中の物体の位置と姿勢を非接触に制御します。 3. ギターロボット エレキギターの特殊奏法に反応して踊るロボット	
研究テーマ：モーションメディアおよびそのコンテンツの流通方式・デザイン手法・計測・評価法に関する研究	
研究キーワード：ロボティクス、モーションメディア、コンプライアンス、力制御	

情報科学研究科 システム工学専攻 ロボティクス研究室	
講師	池田 徹志 (イケダ テツシ)
研究分野：知能ロボティクス、知能情報学、ヒューマンインターフェース・インタラクション	
研究概要 日常生活の中で自動システムが快適に人と共存することを目指し、人を理解して行動する知能ロボットの研究を進めています。自動運転時にドライバーが感じる不安の問題に対し、運転状況をドライバーに分かりやすく伝え、快適な自動運転を実現する研究を進めています。またロボットの周囲の人の行動計測に基づき、オフィスなどでサービスを提供する移動ロボットが、人と快適に共存するための移動方法や案内方法の研究を進めています。	
研究テーマ：人間の行動理解に基づく知能ロボットの研究	
研究キーワード：知能ロボティクス、センサフュージョン、ヒューマンインターフェース、パターン認識	

情報科学研究科 システム工学専攻 ロボティクス研究室	
助教	高井 博之 (タカイ ヒロユキ)
研究分野：無線通信方式、移動無線通信システム、通信・ネットワーク工学、ロボティクス	
研究概要 ○移動ロボット相互の空間分割光通信の研究 赤外線を用いた移動ロボット相互の高信頼性無線通信に関する研究。互いが見通し範囲に存在するので、障害を容易に察知することができ、効率的なタスク遂行が期待できます。 ○複数移動ロボットの情報共有方式の研究 先の光通信を用い、互いが得た情報を共有活用し、それぞれの効率的なタスク遂行計画を計算します。	
研究テーマ：指向性通信を用いた移動無線通信システムに関する研究、複数移動ロボットの無線遠隔制御に関する研究	
研究キーワード：無線通信方式・機器、ロボット工学、計算機網	

情報科学研究科 システム工学専攻 ロボティクス研究室	
助教	<u>川本 佳代</u> (カワモト カヨ)
研究分野：教育工学、学習支援システム、科学教育、リハビリテーション科学・福祉工学	
研究概要 教師が学習者に提供する概念マップの構成要素(キット)を学習者が組み立てる作業(ビルド)として行うキットビルド方式に基づき、現代社会において最も重要な能力の一つとされる論理的思考力の育成を目指す論理的思考力育成プログラムについて研究を行っています。また、ヒューマノイドロボットやタブレットを用いた論理的思考力育成システムや失語症者用リハビリテーション支援システムを開発しています。	
研究テーマ：ヒューマノイドロボットを用いて思考力向上を目指す教育方法の開発、キットビルド方式に基づく論理的思考力育成プログラムの開発、失語症者用リハビリテーション支援システムの開発	
研究キーワード：eラーニング、教育用ロボット、論理的思考力、教育評価、リハビリテーション	

情報科学研究科 システム工学専攻 ヒューマンマシンインタフェース研究室	
教授	<u>満上 育久</u> (ミツガミ イクヒサ)
研究分野：コンピュータビジョン、インタフェース	
研究概要 ヒューマンマシンインタフェース研究室では、人に優しいコンピュータシステムの実現を目指し、人の行動をカメラ・センサで観測してその人の心や健康状態を推定する研究に取り組んでいます。画像処理・コンピュータビジョン・人工知能等に関する基礎技術から認知心理学・教育工学・リハビリテーション等の応用分野のためのシステム開発まで、幅広い研究を取り扱っています。他の大学や研究所、民間企業との共同研究も積極的に行っています。	
研究テーマ：注視や全身動作から心の状態（意図・感情・興味・メンタルヘルス）を推定する技術、眼球・頭部協調運動のモデリングによる注視推定、ドローンカメラを用いた人物行動解析	
研究キーワード：コンピュータビジョン、画像処理、ヒューマンインタフェース、人工知能、感性情報学、教育工学	

情報科学研究科 システム工学専攻 ヒューマンマシンインタフェース研究室	
准教授	<u>島 和之</u> (シマ カズユキ)
研究分野：ソフトウェア工学	
研究概要 複数のコンピュータが共通の目的のため、ネットワーク通信しながら協調して処理を行うシステムを分散システムといいます。分散システムでは障害許容性やリアルタイム性を向上するため高度な処理が必要となりますが、従来のプログラミング言語によって記述すると複雑で誤りが混入しやすいです。そこで、継続渡しスタイルの関数型プログラミング言語を提案し、高度な処理を簡潔に記述する方法を研究しています。	
研究テーマ：継続渡しスタイルによる非同期処理や非決定性計算などの簡潔な記述方法、構造化オーバレイネットワークにおける経路制御アルゴリズム	
研究キーワード：分散システム、ソフトウェア信頼性、障害許容性、P2P ネットワーク、関数型プログラミング	

情報科学研究科 システム工学専攻 ヒューマンマシンインタフェース研究室	
助教	<u>高橋 雄三</u> (タカハシ ユウゾウ)
研究分野：ヒューマンインターフェース・インタラクション、認知科学、実験心理学、デザイン学、社会システム工学・安全システム、衛生学・公衆衛生学、経営学	
研究概要 認知科学・生理心理学をベースとし、21世紀型労働様態（テレワーク等）における働く人々の健康の維持・増進と労働生産性の向上を阻む人間工学課題の解決に必要な人間の諸特性の解明に係る研究を実践しています。具体的には眼と手の協応関係を用いたメタ認知状態の推定や HR Tech（ICT を用いた労務管理）向けのチーム・フォーメーション重心の定量化に取り組んでいます。更に不安全行動を誘発する生活道路交差点のサウンドスケープに関する研究も行っています。	
研究テーマ：眼と手の協応を用いた課題遂行中のメタ認知状態を推定する指標の開発、チーム行動におけるフォーメーション重心を推定するアルゴリズムの開発、バイノーラル音響を用いた生活道路交差点のサウンドスケープ測定とその定量化	
研究キーワード：人間工学、生理心理学、産業衛生学、産業保健人間工学	

情報科学研究科 システム工学専攻 通信・信号処理研究室	
教授 (情報処理センター長)	藤坂 尚登 (フジサカ ヒサト)
研究分野：電子デバイス・電子機器、通信・ネットワーク工学	
研究概要 雑音や干渉存在下の巨視的回路および量子力学的不確定性を伴う微視的回路の振るまいを統一的に扱う新しい回路理論の確立を目指しています。量子限界で動作する回路にエラーが生じても誤動作することなく、エラーを雑音と見なして許容できるナノスケール回路アーキテクチャーや、量子粒子を波動と見なすデバイスと確率的粒子と見なすデバイスが混在した回路のシミュレーション方法も研究しています。	
研究テーマ：量子効果デバイスを用いたΣΔ領域における信号処理、論理セルラー・アレイを用いた信号生成処理、雑音または量子力学的不確定性を伴う確率的回路の解析	
研究キーワード：非線形回路解析、量子効果デバイス応用回路、信号処理ハードウェア	

情報科学研究科 システム工学専攻 通信・信号処理研究室	
講師	神尾 武司 (カミオ タケシ)
研究分野：知能情報学、ソフトコンピューティング、通信工学	
研究概要 人工知能と呼ばれる分野には工学的応用が可能な手法が数多く存在します。その中でも機械学習および進化計算と呼ばれる手法に着目し、パターン認識、制御、最適化などを主軸として様々な応用研究を行ってきました。現在は、以下の研究テーマに示す通り、多船航路探索および電力線通信(PLC)への応用に関して、解の向上および計算コストの低減を主な目的として研究を行っています。	
研究テーマ：マルチエージェント強化学習に基づく多船航路探索、電化製品の稼働状況を考慮した電力線通信 (PLC) のパラメータ最適化	
研究キーワード：機械学習、進化計算、最適化、通信技術、信号処理	

情報科学研究科 システム工学専攻 サウンドデザイン研究室	
教授	石光 俊介 (イシミツ シュンスケ)
研究分野：音響工学、福祉工学、機械力学・制御、通信・ネットワーク工学、制御工学、船舶海洋工学	
研究概要 何かを行う能動的な環境ではそのフィードバックとなる音が“快”の感覚に寄与します。そこで、そのサウンドデザインと評価を行っています。また、音を制御することによって、音質を変えたり、不快な音をブロックしたりすることもできます。そのような音場制御は能動的サウンドデザインであります。さらにこれらから得られた信号処理の知見を用いて農業へも展開し、AI センサの開発を行っています。	
研究テーマ：自動車運転時の快音化、音もたらずヒトへの影響、ヒトそれぞれの好みに適応する音質制御、快音の心理学的、神経生理学的解析、周囲の不快音を遮断する音響バリア、アクティブノイズコントロール、罹患状態を早期検出する AI センサの開発	
研究キーワード：音響工学、サウンドデザイン、アクティブノイズコントロール、時間周波数解析	

情報科学研究科 システム工学専攻 サウンドデザイン研究室	
講師	中山 仁史 (ナカヤマ マサシ)
研究分野：知覚情報処理、知能情報学、ヒューマンインターフェース・インタラクション	
研究概要 次世代の通信技術により従来伝送できなかったメディアインタラクションが実現されるようになってきました。特に、テレワークや遠隔講義などの需要が高まり、リアルタイムと臨場感を有したコミュニケーションが広く求められます。その中で音声を用いたインタラクションは今まで以上の付加価値が求められているといえます。発声した音声を分析することを背景技術とし、病気の罹患、発声、歌唱の特徴解析とした研究を取組んでいます。	
研究テーマ：雑音に頑健な骨伝導インターフェースの研究開発、音声認識システムの高精度化に関する研究、詩吟歌唱における音響的特徴と歌唱メカニズムの解明	
研究キーワード：音声、骨伝導、音声認識、音声信号処理、歌声、組込みシステム	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 バイオ情報学研究室	
教授	鷹野 優 (タカノ ユウ)
研究分野：計算生命科学、計算化学、生物物理学	
研究概要 タンパク質は、代謝やエネルギー生産など「生きる」のに不可欠な、優れたはたらきをしている分子であります。コンピュータシミュレーションやバイオインフォマティクスなどの情報科学を使って、そのようなタンパク質がはたらく姿を原子・電子レベルで「見る」ことで、タンパク質のはたらきに何が必要か、そのしくみを明らかにします。また、そのタンパク質のしくみを利用した新しい薬の開発や物質の設計を行います。	
研究テーマ：分子動力学シミュレーションによる抗 HIV 中和抗体の分子認識機構の解析、コンピュータシミュレーションやバイオインフォマティクスによるヘムタンパク質の構造機能相関の網羅的理論解析	
研究キーワード：分子シミュレーション、量子化学、分子動力学計算、タンパク質	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 バイオ情報学研究室	
准教授	中野 靖久 (ナカノ ヤスヒサ)
研究分野：視覚情報工学、色彩工学	
研究概要 ヒトはどのようにして色を見分けているのかを調べ、それを医用や高齢化社会における福祉の分野に応用する研究を行っています。このために、色覚を調べるための新しい装置として任意のスペクトル刺激を任意の形状で呈示する装置を開発して個人の水晶体濃度などの色覚特性を測定したり、多色の LED による照明装置を用いて反射物体の分光反射率を推定して特定の色を識別するための最適な照明スペクトルを探索したりする研究を行っています。	
研究テーマ：任意スペクトル・任意パターン呈示装置を用いた個人の色覚特性の測定、マルチスペクトルカメラによる任意物体色の分光反射率推定と任意スペクトル照明による任意物体色の演色制御	
研究キーワード：視覚情報工学、色彩工学、演色、加齢	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 バイオ情報学研究室	
准教授	釘宮 章光 (クギミヤ アキミツ)
研究分野：生物分子化学、分析化学、生体関連化学、生物機能・バイオプロセス	
研究概要 肝臓病、糖尿病、がん、アルツハイマーなどの病態において血中のアミノ酸濃度バランスが健常な状態とは異なってくることが知られており、臨床医療や予防医療において疾患の早期発見、疾病の計測に極めて有効であります。本研究は、臨床計測や食品の品質管理・分析に応用可能な 20 種類のアミノ酸濃度を簡便に計測可能なバイオセンサー型の小型装置を開発し、将来的には複数の病態の診断が可能な分析キットとして利用することを目的としています。	
研究テーマ：網羅的に病気の診断が可能なアミノ酸計測用小型装置の開発	
研究キーワード：バイオセンシング、分析化学、アミノ酸、予防医学、生体計測、分子認識化学	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 バイオ情報学研究室	
講師	香田 次郎 (コウダ ジロウ)
研究分野：リサイクル工学、生物機能・バイオプロセス	
研究概要 <p>“エネルギー資源の確保”、“安全・安心な食の安定供給”、“現代社会の在り方の変革による地球環境保護”、“健康寿命の延伸と健康格差の縮小”は我が国の最重要課題です。これらの諸問題を解決するために、エネルギー、環境に対しては、バイオディーゼル燃料製造時に発生するグリセリン廃液や洗浄廃水の適切な処理・リサイクル法の開発に関する研究を行っています。また、食料、健康に対しては、完全制御型 LED 植物工場による効率的な機能性食品生産法に関する研究を行っています。</p>	
研究テーマ：バイオディーゼル燃料廃棄物の処理・リサイクル法の開発、LED 植物工場を活用した機能性食品生産に関する研究	
研究キーワード：タンパク質、酵素、バイオリクター、バイオディーゼル燃料、植物工場、水耕栽培	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 バイオ情報学研究室	
講師	齋藤 徹 (サイトウ トオル)
研究分野：計算化学、生物無機化学、バイオ情報学	
研究概要 <p>医薬品をはじめとする機能性物質設計の分野において、コンピュータシミュレーションは実験的手法の相補的な方法論として期待されています。しかし、DNA やタンパク質などの生体分子は巨大かつ複雑であるため、医薬品がどのように効いているのかを正確に予測することは未だ難しいです。この問題の解決をするために、計算精度を維持したまま計算コストを大幅に削減できるシミュレーション方法の新規開発、ならびに検証を行っています。</p>	
研究テーマ：近似スピン射影法の高精度波動関数理論や構造最適化計算への拡張、多階層計算手法による金属酵素の触媒機構の解明、新規医薬品設計を目指した簡便かつ正確な計算手法の開発	
研究キーワード：金属酵素、酸化反応、強相関電子系、半経験的分子軌道法、多階層シミュレーション	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用画像工学研究室	
教授	増谷 佳孝 (マスタニ ヨシタカ)
研究分野：医用システム、生命・健康・医療情報学、生体医工学・生体材料学、放射線科学	
研究概要 拡散 MRI をはじめとする多次元医用画像の処理・解析および表示を中心に研究を進めています。拡散 MRI では適切な信号値群のモデルおよび頑健な推定方法により、生体の微細構造 (10 μ m オーダー) が評価可能となり診断や基礎医学への応用が可能となります。近年では拡散 MRI の信号を入力とする生成型の深層学習による微細構造パラメタ推定の独自の手法を確立し、実装したソフトウェアを研究室 Web ページにて公開しています。	
研究テーマ：拡散 MRI の信号値モデルのパラメタ推定の各種手法、医用画像解析および表示のための対話的操および装置、拡散 MRI によるトラクトグラフィの手法の開発と改良、医用画像解析における放射基底関数の応用	
研究キーワード：医用画像、画像解析、計算解剖学、拡散 MRI	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用画像工学研究室	
准教授	青山 正人 (アオヤマ マサヒト)
研究分野：医用システム、知能情報学	
研究概要 医用画像を対象に医師の診断支援に繋がるシステムの開発を行っています。現在は、主に前立腺 MR 画像、膝 MR 画像、眼底画像などを対象に解析の基本となる領域抽出や疾病の分類 (クラス分け) に関する研究を進めています。一方、他大学の研究者等とグループを構成し、「組合せ爆発」問題の解決を目指したシステム開発に関する研究に参画しており、システムへの入力として用いられる画像処理部分の構築を担当しています。	
研究テーマ：前立腺 MR 画像からの前立腺領域抽出に関する研究、膝 MR 画像における構造解析と三次元モデル化に関する研究	
研究キーワード：医用画像診断支援、コンピュータ支援診断、医用画像処理、動画像解析、パターン認識	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用画像工学研究室	
准教授	藤原 久志 (フジワラ ヒサシ)
研究分野：物理化学、計測工学、生物物理学	
研究概要 生きている細胞やそれを覆う膜、あるいはそれらを模したモデル系は、基本的に“透明”です。このような透明試料の屈折率や厚さ情報の取得が可能な定量位相顕微鏡 (光干渉技術に基づく) の測定精度の評価方法を開発しています。さらに、この開発を通じて、測定精度に影響を及ぼす要因を特定することで、定量位相顕微鏡の性能向上を目指しています。その他、高速度カメラを用いた光学顕微鏡 (定量位相顕微鏡を含む) 画像の長時間連続記録方法の開発・活用も行っています。	
研究テーマ：光学顕微鏡による計測・解析手法の開発、産業用カメラを利用した画像記録装置の開発と応用	
研究キーワード：計測・制御プログラミング、界面の物理化学、細胞動態、ナノ計測、光学顕微鏡、光干渉、高速画像記録	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用ロボット研究室	
教授	式田 光宏 (シキダ ミツヒロ)
研究分野：医用システム、ナノマイクロシステム	
<p>研究概要</p> <p>モノづくりの基盤となる「情報工学」「電気電子工学」「機械工学」等の工学系技術に、新たなる「マイクロ・ナノ工学」技術を横断的に融合させ、かつその出口として「医学」「薬学」分野を見据えることで、「マイクロメカトロニクス工学に基づいた次世代医薬工学システム」の実現を目指しています。具体的には、マイクロ工学を用いた生体情報極限計測技術、次世代経皮吸収剤技術などを研究開発しています。</p>	
研究テーマ：医療用カテーテル型センサに関する研究、ウェアラブル・フレキシブルセンサに関する研究、マイクロ分析システムに関する研究、医療用マイクロニードルに関する研究、マイクロセンサに関する研究、MEMS 材料の機械的特性値評価に関する研究、MEMS に関する研究	
研究キーワード：MEMS(Micro-Electrical-Mechanical Systems)、MEMS デバイス応用、MEMS 医用応用	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用ロボット研究室	
講師	長谷川 義大 (ハセガワ ヨシヒロ)
研究分野：ナノマイクロシステム	
<p>研究概要</p> <p>MEMS 技術により、マイクロ・ナノメートルサイズで機能するセンサやメカニカルな構造体の開発を行っています。これまでに、ヒトの感覚機能を模倣した触覚センサや、ウェアラブルセンサなどの研究開発を行ってきました。現在は、マイクロセンサ技術を医用へと応用展開することで、点滴投与量を高精度に制御するマイクロ流量センサなど、新たな医用デバイスの研究開発に取り組んでいます。</p>	
研究テーマ：マイクロセンサに関する研究、ウェアラブルセンサに関する研究	
研究キーワード：MEMS(Micro-Electrical-Mechanical Systems)、MEMS センサ	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用ロボット研究室	
助教	アル・ファリシイ, ムハンマド・サルマン
研究分野：ナノマイクロシステム、機械材料・材料力学	
<p>研究概要</p> <p>我々人間が生きている物理空間と情報空間を繋ぐ、半導体微細加工技術で作製された MEMS センサやアクチュエータを研究開発している。特にこれまでは、電気めっきアルミニウム、ウェハ接合による多様なデバイスの集積化など、新材料や新たな微細加工技術をデバイス応用へ開発してきた。現在は、新たな微細加工技術を開発しつつ、それらを生かして医用マイクロデバイスへ展開させている。</p>	
研究テーマ：微細加工技術に関する研究、MEMS 材料に関する研究、MEMS に関する研究	
研究キーワード：MEMS (微小電気機械システム)、スマートシステム集積学	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 脳情報科学研究室	
教授	<u>樋脇 治</u> (ヒワキ オサム)
研究分野：医用生体工学・生体材料学、計測工学、神経科学一般	
研究概要 ヒトの脳機能システムを解明するためには、脳活動をダイナミックかつ高空間分解能で非侵襲的に計測解析できる技術が必須ですが、従来の脳波、脳磁界計測、機能的MRI、近赤外光脳機能計測等では、その要件を達成できていません。我々は、光および電磁界を用いてダイナミックな脳活動を高精度で非侵襲的に計測解析できる革新的技術の研究開発を行なっています。さらに、開発した脳機能計測解析技術を用いて、脳機能システムの解明・ブレインマシンシステムへの応用展開に関する研究を進めています。	
研究テーマ：光および電磁界を用いた非侵襲的脳機能計測解析技術の開発、非侵襲的計測解析技術による脳機能システムの解明、ブレインマシンインタフェースの開発	
研究キーワード：脳機能計測解析、非侵襲的計測解析、生体電磁気学、脳情報工学、ブレインマシンインタフェース	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 脳情報科学研究室	
准教授	<u>福田 浩士</u> (フクダ ヒロシ)
研究分野：生体生命情報学、医用生体工学・生体材料学、リハビリテーション科学・福祉工学	
研究概要 リハビリテーションの現場において認知・運動機能の再建のために様々な検査・訓練を行われていますが、検査精度や訓練効果の向上のために、脳活動や運動データを簡便に計測・解析して、認知・運動機能を評価するシステムが求められています。我々は、無線式簡易脳波計や無線式慣性／ジャイロセンサなどを用いて簡便に認知・運動機能を評価するシステムに関する研究開発を進めています。このシステムはリハビリテーションの現場だけではなく、地域高齢者を対象とした認知症セミナーにおける活用も期待できます。	
研究テーマ：認知機能検査・訓練システムに関する研究開発、脳波計測を用いた運動制御における脳の情報処理メカニズムの解明	
研究キーワード：リハビリテーション工学、生体情報工学、生体医工学、脳波計測	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 脳情報科学研究室	
講師	<u>常盤 達司</u> (トキワ タツジ)
研究分野：生体医工学	
研究概要 従来の手術法よりも低侵襲に「てんかん」外科治療が可能な高精度測温機能付き凍結プローブを開発しその有効性を検証しています。一方で、高齢者に多く発症すると言われている「めまい・ふらつき」の新規なりハビリテーション手法として音刺激を用いた効果に着目し、脳活動及び重心動揺軌跡を用いて評価・検証しています。以上の通り、医学やリハビリテーションへの応用を目指して研究を推進しています。 https://sites.google.com/view/ttokiwa/	
研究テーマ：脳神経外科治療に必要な高精度測温を実現する配線レス熱電対内蔵凍結プローブの開発、立位姿勢制御における前庭覚の役割を段階的・定量的に解明する新規な評価法の開発	
研究キーワード：医工学、生体信号計測、生体信号処理、てんかん、凍結治療、めまい・ふらつき、重心動揺、脳波、筋電、随意運動、運動準備電位、補足運動野、事象関連脳電位	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用情報通信研究室	
教授	<u>田中 宏和</u> (タナカ ヒロカズ)
研究分野：通信・ネットワーク工学、電子デバイス・電子機器、生体医工学・生体材料学	
研究概要 医療・ヘルスケア IoT におけるデータ集約技術、データ解析などの研究・国際標準化に取り組んでいます。身の回りにつけたセンサから生体情報や環境情報を取得し、病気や健康状態を連続的にチェックできるシステム、集めたデータの解析による新規アルゴリズムの研究。日常のチェックだけでなく、災害時・緊急時にも対応できるシステムの研究。また、上記システムの実現に必要な信号処理、通信方式、ネットワーク技術、セキュリティ技術、データ解析技術など。	
研究テーマ：医療・ヘルスケア IoT	
研究キーワード：無線通信システム、情報理論、誤り訂正符号化技術、マルチメディアシステム	

情報科学研究科 医用情報科学専攻 医用情報通信研究室	
助教	<u>伊藤 孝弘</u> (イトウ タカヒロ)
研究分野：通信・ネットワーク工学、計算電磁気学、生体医工学	
研究概要 ヒトの周りの電磁界のふるまいを数値シミュレーションによって解析し、腕振りなどの動作における電波伝搬のモデル化の研究を進めています。伝搬特性変化の予測をすることで、ヒトに装着する生体センサの通信特性向上や、動作推定を用いたさらなる応用の開拓を目指します。また、生体センサで取得された心電図を信号処理することによって、呼吸数など別の生体情報を推定する研究も行っています。	
研究テーマ：電波伝搬解析を用いた人体動作推定	
研究キーワード：無線通信システム、電波伝搬解析、生体信号処理	

美術学科 日本画専攻 教授	<u>今村 雅弘</u> (イマムラ マサヒロ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 日本画の公募展「創画展」において秋・春の作品展示や美術画廊での個展、企画展等に作品を出品しています。また教育研究に繋がる展覧会を企画運営し、自身の研究とともに市立大学日本画専攻で学んだ学生の研究結果を地域社会に示しています。専門研究の内容は日本画の素材技法を用い、抽象的な表現様式で絵画世界の創作に取り組んでいます。	「景色の記号」 
研究テーマ：日本画制作における抽象表現	
研究キーワード：日本画制作	

美術学科 日本画専攻 准教授	<u>荒木 亨子</u> (アラキ キョウコ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 日本画制作研究と研究成果の発表を所属学会（「東京春季創画展」4月開催、「創画展」10月開催）と個展、他グループ展にて行いました。作品制作では、日本画画材の物質性や色彩を用いた絵画表現について研究を行っています。また自身の創作研究以外にも日本画研究室で「制作の現場」展、「Flag of the West」展を開催、広島福屋での「芸美会展」に参加など、芸術普及に努めています。	
研究テーマ：日本画画材による創作研究	
研究キーワード：日本画制作	

美術学科 日本画専攻 准教授	<u>前田 力</u> (マエダ チカラ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 風景や人々の営みをテーマにして日本画制作を行っています。制作にかかわる主題について考察し、構成構図などの創作表現と日本画の技法を研究することで、自身の日本画作品を作り出していくことを目標としています。主な研究発表は、公募展（日本美術院）中心に行い、全国の自主企画、招待企画による作品発表も積極的に行っています。また卒業生と共に行う企画展「芸美会」「Flag of the West」を通じ日本画専攻の活動を知って貰える様に活動しています。	「憂いの街」 
研究テーマ：日本画材料における作品制作、作品制作を通じた創作研究	
研究キーワード：日本画制作、古典研究、技法材料研究	

美術学科 日本画専攻 講師	<u>山浦 めぐみ</u> (ヤマウラ メグミ)	
研究分野：芸術、美術、日本画		
研究概要 日本画領域において「人間や風景が長年蓄積してきた内在的な時間と空間を描くこと」を共通のコンセプトとした制作研究を行なっている。近年はその具体的なアプローチとして、画面上に意図的な「余白」をつくり、それとモチーフとの間に発生するリズムやノイズを起点とした絵画造形や、日本画の箔地や顔料の平面的な重層構造、鉱物材料特有の厚みや重たさといった要素を絵画造形の強いアクセントとして意識的に扱う試みを続けている。	Prefectural Road 29 	
研究テーマ：時間のメタファーとしての岩絵具の物質的重層性及び余白に関する造形表現研究		
研究キーワード：芸術、美術、日本画、日本絵画、余白、岩絵具、時間、空間、重層性		

美術学科 日本画専攻 助教	<u>古賀 くらら</u> (コガ クララ)	
研究分野：芸術一般		
研究概要 日本画家として、古典絵画の技法材料を現代に応用した創作活動と発表を継続しています。また、画法書を基底とした古典絵画における技法材料と絵画表現の研究と共に、現代における日本画材料の生産現場の動向調査も断続的に実施しています。 令和元年度からは、丸木位里・俊『原爆の図』を主とした技法材料と絵画表現についての研究も進めています。	第 19 回芸美会展出品作品「枇杷たち」 	
研究テーマ：日本画制作と絵画材料技法研究、『原爆の図』の技法材料と絵画表現		
研究キーワード：日本画制作、材料技法研究、古典絵画、画法書、原爆の図、丸木位里・俊		

美術学科 油絵専攻 教授	<u>森永 昌司</u> (モリナガ ショウジ)
研究分野：文化財科学	
研究概要 日本の近代化以降の西洋絵画の受容について考える時、ヨーロッパのルネッサンス期からアカデミズムの成立期までを追体験する事が重要であると考えています。また、その以前の古典絵画の技法・材料の扱い方についても必要とされる科学的な知識や理解が必要であり、絵画形式の構造や文化史的な背景についての造詣を深めることを通して、学生たちが創造性を高めて行くことが、私の研究室での教育研究のテーマと考えています。	
研究テーマ：近代日本に於ける西洋絵画の受容、ロシア・イコンの図像研究	
研究キーワード：油彩画、油彩画材料、美術教育、図像学	

美術学科 油絵専攻 教授	<u>志水 兎王</u> (シミズ ジョウ)
研究分野：芸術・現代美術	
研究概要 芸術と科学との融合的視点を軸として、時空間上に広がる自然現象や物理現象に注目し、様々なメディアを実験的に展開させる美術作品を研究・制作しています。研究対象は近現代美術です。	
研究テーマ：芸術・現代美術、インスタレーション	
研究キーワード：芸術・現代美術	

美術学科 油絵専攻 准教授	<u>釣谷 幸輝</u> (ツリタニ コウキ)
研究分野：版画	
研究概要 メゾチント技法、木口木版画技法および、ノン・トクシク技法における技法材料の研究、およびそれらの技法を用いた表現活動を行っています。主に国内外における個展、グループ展、コンクールを中心に作品発表を続けています。	
研究テーマ：ノン・トクシク技法の研究と普及、メゾチント技法における版表現の研究、メゾチント目立て機の開発、木口木版画技法における版表現の研究	
研究キーワード：メゾチント、木口木版画	

美術学科 油絵専攻 准教授	<u>石黒 賢一郎</u> (イシグロ ケンイチロウ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 研究活動では常に現実をより広い視野で認識し、自分の表現能力を拡張するようにしています。キャンバスや絵の具だけを使うのではなく自分の生きてる世界の様々な物を使い言葉や思想、物体を鑑賞者と共有する事をアート作品として認識することを重要視しています。2019年は3Dプリンターを導入し立体作品を制作し、平面作品とともに自身を構成する全てをリアリズム表現として包括するための研究ができました。浜松市美術館での回顧展に近い53点の作品展示し展覧会終了後作品が美術館に収蔵されました。	
研究テーマ：絵画表現の拡張	
研究キーワード：絵画、油絵、立体	

美術学科 油絵専攻 講師	<u>原 崇浩</u> (ハラ タカヒロ)
研究分野：具象	
研究概要 研究活動において自身が体感した一次情報を鑑賞者へと手渡す責任において常に第一の鑑賞者の視点を模索し制作しています。現実と絵画性の両立、あるいは時間の経過に伴う対象と自己認識の変化を痕跡として示すことを目指していますが未だ納得に至らず、道半ばです。2019年国内での個展と2020年海外でのアートフェアに出品。	
研究テーマ：人物、人体表現と生活圏内の具象制作	
研究キーワード：絵画、デッサン、油絵	

美術学科 油絵専攻 講師	<u>菅 亮平</u> (カン リョウヘイ)
研究分野：絵画、現代美術	
研究概要 美術作家として現代アートの分野で創作及び研究活動を行う。イメージと現実の関係に対する問題意識に基づいて、多様なメディアを横断的かつ包括的に扱いながら、ビジュアルアートとしてのナラティブの今日的な主題性と作品の設計思想の在り方を模索する。 近年は主に美術館やギャラリーの展示空間を題材とした平面作品や映像作品の制作、アートプロジェクトに取り組み、国内外で発表する。	
研究テーマ：美術作品の設計における表現メディアの役割とその同時代的な在り方	
研究キーワード：芸術、美術、絵画、博物館学、現代アート	

美術学科 油絵専攻 助教	<u>田中 智美</u> (タナカ サトミ)
研究分野：版画、現代美術	
研究概要 美術における「版表現」の研究と実践（凹版・凸版・平版・孔版の4版種の横断的視点に基づく再解釈） 複製技術の展開からみた版表現の本質的かつ今日的な在り方や可能性を探ります。	dim - plastic memories - 色の戯れ 
研究テーマ：美術における「版表現」の研究と実践	
研究キーワード：版画、現代美術	

美術学科 彫刻専攻 教授	<u>伊東 敏光</u> (イトウ トシミツ)
研究分野：芸術一般（彫刻）	
研究概要 「風景彫刻」を研究テーマとし、風景をモチーフとした新たな彫刻表現の確立を目標に実制作を中心とした研究を行っています。彫刻表現は人体や動物を主なモチーフとして発展し展開して来ましたが、本研究では過去に作例が少なく、傑作と言われる作品がほとんど見当たらない風景をモチーフにすることで、これまであまり試みられることのなかった彫刻における遠近法や時間軸の表現方法の研究を行っています。また、対馬市や小豆島町におけるアートプロジェクトの企画や監修を行い、アートと地域社会の連携方法と効果について、実践的な研究を行っています。	
研究テーマ：風景彫刻	
研究キーワード：風景彫刻、風景、造形理論、彫刻表現	

美術学科 彫刻専攻 教授	<u>ウォーゼン, チャールズ</u>
研究分野：芸術一般	
研究概要 The work I showed at the 2016 Setouchi Triennale on Shodoshima was, after being relocated, unofficially part of the following exhibition in 2019. And, in addition to participating in “The Countours of Sculpture,” a group show at HCU’s museum, I also had a two-person show with a former student at the Hiroshima Art Center.	
研究テーマ：現代アートにおける立体	
研究キーワード：彫刻	

美術学科 彫刻専攻 准教授	<u>田中 圭介</u> (タナカ ケイスケ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 主に木を素材に彫刻を制作。歴史的、風土的、個人的な、木と人間の関係を軸として、認識と実在をテーマに彫刻表現の可能性と人間の普遍性を追求しています。 これまで国内外のギャラリー空間での展示発表が主でしたが、近年、瀬戸内国際芸術祭などへの参加を通し、ギャラリー以外の日常に繋がる空間での展示発表にも精力的に取り組んでいます。	
研究テーマ：自然への認識と実在である人間を見据えた上での『幸福』の在り方について	
研究キーワード：彫刻表現、木彫、現代美術、自然、木、人間、幸福、幸福論	

美術学科 彫刻専攻 講師	<u>今野 健太</u> (コンノ ケンタ)	
研究分野：芸術一般		
研究概要 古代の遺物から現代の芸術作品まで俯瞰できる石でつくられた人体の造形を通して、人間が表現してきたものの移り変わりと普遍性を「存在の不確かさと不安」をテーマに考察しています。近年は様々な地域の説話などで見られる「人間が選ばなかった石」に関心を持って制作を行っています。ギャラリーや美術館での展示会、アートプロジェクト、コミッションワークでの作品発表に取り組んでいます。	左「テノヒラ No.10」、右上「テノヒラ No.12」、右下「テノヒラ No.9」 	
研究テーマ：人間の根源的な存在への不安、時間や命に対する感性と石の関係		
研究キーワード：彫刻表現、人体彫刻、自刻像、石彫、石とバナナ		

美術学科 彫刻専攻 助教	<u>丸橋 光生</u> (マルハシ ミツオ)	
研究分野：芸術一般		
研究概要 人間の「視覚」や「認識」をテーマに、立体作品を始め、平面、映像など、多様な表現手法、素材で作品制作を行っています。特に「彫刻」分野においては、ドイツの美術史家ヴィルヘルム・ヴォリングルが提唱した「立体的な閉鎖性」という概念をキーワードに考察を行い、作品を制作しています。国内外で積極的に発表も行うほか、広島市内でアーティストランスペースの運営、長崎県の離島の芸術祭の運営にも関わり、既存の美術施設の外での活動も精力的に行っています。		
研究テーマ：彫刻というメディアの特性についての研究、およびそれを起点とした他の芸術メディアの視覚的特性の研究と、それを踏まえた作品の制作		
研究キーワード：彫刻、視覚		

デザイン工芸学科 現代表現 ※理論 系教員（現代美術史） 准教授	<u>石松 紀子</u> (イシマツ ノリコ)
研究分野：現代美術史、文化研究	
<p>研究概要</p> <p>これまで英国の戦後美術、特に旧英国植民地諸国に出自をもつ美術家たちの美術界における周縁性について研究してきました。現在は、東南アジアに範囲を広げ、マレーシアなど旧英国植民地における戦後の独立・再建の中での美術形成プロセスについて研究調査を行っています。また、国内研究では、広島復興を象徴する基町に焦点をあて、メタボリスト（大高正人）によって設計された高層団地やコミュニティについての調査をしています。</p>	
研究テーマ：戦後の再建（復興）期における美術と社会の関わりについて	
研究キーワード：現代美術、旧英国植民地、ポストコロニアリズム、再建（復興）	

デザイン工芸学科 現代表現 講師	<u>古堅 太郎</u> (フルカタ タロウ)
研究分野：芸術一般	
<p>研究概要</p> <p>2015年より、戦後に形成された平和都市「広島」のアイデンティティを中心にリサーチを行い、作品の制作と発表を行っています。近年は平和記念公園をデザインした建築家の丹下健三に注目し、戦後の理想的な平和を象徴する平和記念公園のデザインの起源についてリサーチを行い、作品制作を行っています。</p>	
研究テーマ：丹下健三、平和都市「広島」のアイデンティティ形成について	
研究キーワード：現代美術、インスタレーション	

デザイン工芸学科 視覚造形 教授	<u>納島 正弘</u> (ノウジマ マサヒロ)
研究分野：	
研究概要 「デザイン概論／全15回」オンライン授業を実施するにあたり、回ごとに15分～20分のオンデマンド動画を制作、副読用のテキストをA4/3ページを作成し、都度事前に予習として学生に配信している。講義当日は本編をTeamsで90分のライブ講義を実施している。この講義はデザイン史のアーカイブを学ぶ授業ではある。その時代背景を知り、時代とデザインの関係性を研究し講義に生かしたいと思う。	
研究テーマ：機能するアートとしてのグラフィックデザインを歴史の中で時代の要請とともにデザインの変遷を学び、そこから現代を見つめてみる。	
研究キーワード：デザインはその時代の社会が評価するものである	

デザイン工芸学科 視覚造形 准教授	<u>中村 圭</u> (ナカムラ ケイ)
研究分野：デザイン学	
研究概要 「創造的文化芸術活動を通じた基町地域活性化の実践的研究（研究代表）」、「大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等を通じた、基町住宅地区の魅力作りや持続的な活性化に関する研究（研究分担）」などの研究を通じて、基町プロジェクトに取り組んでいます。基町プロジェクトでは、創造的な文化芸術活動で基町住宅地区（広島市中区）の魅力づくり・活性化を目指しており、その実践的研究を行なっています。 motomachiproject.net	
研究テーマ：地域における創造的文化芸術活動	
研究キーワード：ビジュアル・コミュニケーション・デザイン、基礎デザイン教育、デザインによる地域課題解決	

デザイン工芸学科 立体造形 教授	<u>吉田 幸弘</u> (ヨシダ ユキヒロ)
研究分野：プロダクトデザイン、景観デザイン	
研究概要 デザインの視点から創造的まちづくりを実践する。広島市を中心に橋や地下空間のデザインを行う。設計では縮尺模型とともにコンピューターグラフィックによる景観シミュレーションを行い街との親和性を計ります。また、広島が戦争で失ってしまった土木や建築、プロダクトを現代に蘇らせるプロジェクトを精力的に行っています。	
研究テーマ：デザインによる創造的まちづくり	
研究キーワード：プロダクトデザイン、景観シミュレーション、まちづくり、復元	

デザイン工芸学科 立体造形 講師	<u>藤江 竜太郎</u> (フジエ リュウタロウ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 環境芸術を中心に創作活動を行う。空間と人や社会との関係性からテーマを導き出して作品の素材や構造を組み立てます。人間の営みと自然の関係性から、心の拠り所としてのアウトドアレジャーに焦点をおき、一過性の表現としての作品制作とそれに関係するイベント及びワークショップを行っています。これらの活動をもとに活動をまちづくりに貢献してきました。	
研究テーマ：芸術と環境の関わり合いをもとに、人の暮らしの豊かさを追求する、都市における河川環境の有効的活用について	
研究キーワード：環境芸術、ランドアート、アートプロジェクト、ワークショップ、パブリックファニチャー、まちづくり	

デザイン工芸学科 映像メディア造形 教授	<u>笠原 浩</u> (カサハラ ヒロシ)
研究分野：映像表現、アニメーション、メディアアート、デザイン学	
研究概要 最新機器導入に伴う、映像表現・教育のための基礎研究。	
研究テーマ：動画表現教育の為のアニメーション創作支援ツールの開発	
研究キーワード：映像、メディアアート、コンピュータグラフィックス、アニメーション	

デザイン工芸学科 映像メディア造形 講師	<u>城井 文</u> (シロイ アヤ)
研究分野：アニメーション、落語、妖怪、イラスト、絵本	
研究概要 教育番組や企業 CM、ミュージックビデオなどアニメーション作家、ディレクターとしての仕事経験を生かし、アニメーションでわかりやすく伝える事をモットーに、その裏面としてのアニメーションの芸術性にも注目。また江戸文化や伝統芸能を中心に、日本人ならではの可能なエンターテイメント表現を研究しています。	
研究テーマ：わかりやすく伝える、言葉としての映像	
研究キーワード：落語、妖怪、イラスト、絵本、アートアニメーション、伝統芸能、江戸文化	

デザイン工芸学科 金属造形 教授	<u>永見 文人</u> (ナガミ フミト)
研究分野：デザイン学（金属工芸・金属造形）、デザイン学、芸術一般	
<p>研究概要</p> <p>公募団体展覧会の日展、現代工芸美術展を中心に出品し、日展には、26 回の入選、現在会友です。現代工芸展に於いては、2006 年より本会員になり、2012 年の「第 51 回展」2019 年の「第 58 回展」では審査委員を務めました。その他、広島・山口で多数のグループ展を実施しています。かつては、家族をモチーフとした作品から、女性像と生命、近年では、生命の根源を水と捉え、水の循環を雲と水をモチーフとして表現とした作品を多く発表しています。金属工芸の伝統技法で作られた道具類からオブジェ、クラフトまで、幅広く制作活動と研究を行なっています。</p>	
研究テーマ：『金属造形・・・その美と表現について（鍛金・彫金・鍍金技法を中心とした）』の研究 芸術分野における金属加工技術（鋳造、塑性加工、鍛造、溶接、金属の着色を含む表面処理）と、 金属材料全般についての知識を深める研究を行っています。	
研究キーワード：金属造形、金属彫刻、金属工芸、鍛金・彫金・鍍金	

デザイン工芸学科 金属造形 准教授	<u>内堀 豪</u> (ウチボリ ゴウ)
研究分野：芸術一般（彫金・金属造形）	
<p>研究概要</p> <p>私が現在取り組んでいるのは彫金・鍛金技法を用い、銅を主たる素材としたオブジェや器物の制作です。金工品の復元研究に携わった経験から、金工の歴史や素材・技法の研究も視野に入れ活動しています。作品発表については個展活動を軸とし、機会があれば展覧会や、金属工芸文化の普及につながるような企画にも取り組んでゆきたいと考えています。</p>	<p>Sketch-tower1- (手前) Sketch-tower2- (奥)</p> 
研究テーマ：「工芸の美とは人が人らしく生きている時にたえず傍にあるもの。あってほしいもの。」 という工芸観に基づいて、制作および教育活動を行なっています。	
研究キーワード：工芸、彫金、金工、金属造形、銅のオブジェ、見立ての造形、Sketch、デッサン、 金工品の復元	

デザイン工芸学科 染織造形 教授	<u>倉内 啓</u> (クラウチ ヒロシ)	
研究分野：芸術一般（美術、工芸、染織、染色、型染、テキスタイルデザイン）		
<p>研究概要</p> <p>研究は主に、染色工芸の防染技法の一つである型紙を用いた糊防染による模様染の創作活動を行なっています。また、これらの作品の発表と自己の作品に由来する日本の伝統的な染織文化を広めることに重きを置いた活動も並行して行なっています。研究における創作作品は型染めによる平面作品（装飾的絵画作品）であり、主に屏風の形態をしたものが多く、襖等にも展開が可能です。一昨年は第74回 新匠工芸会展（東京都美術館、京都市美術館別館）に出品した二曲染屏風が『富本賞（大賞）』を受賞しました。</p>		
研究テーマ：型染(糊防染技法)による造形作品の創作、古典紅型の文様研究		
研究キーワード：染織、染色、糊防染、型染、紅型、工芸、テキスタイルデザイン		

デザイン工芸学科 染織造形 准教授	<u>野田 睦美</u> (ノダ ムツミ)	
研究分野：芸術一般		
<p>研究概要</p> <p>京都府生まれ。京都、広島、フランスにて創作活動を行っている。京都市立芸術大学美術学部、大学院美術研究科を修了し、博士(美術)取得。文化庁新進芸術家海外派遣研修員に推挙されフランスに1年間派遣（パリ国立美術高等学校）。近年は、「京都の染織 1960年代から今日まで」展(京都国立近代美術館)、「第18回 DOMANI・明日」展(国立新美術館/東京)、DIGITAL WORLD FESTIVAL「FUTUR EN SEINE」(Le CENTQUATRE-PARIS/フランス)等の展覧会で作品が紹介された。受賞、恒久設置、展覧会、文献、タピスリーの監修等多数。</p>		
研究テーマ：独自の染織技術によって、糸ではないような糸、織物ではないような織物で「まなざしに共鳴する芸術ー見る人・場・光を予測してー」という新しい分野の可能性を探求し、創作活動を行っている。		
研究キーワード：染織造形、現代織物、綴織、タピスリー		

デザイン工芸学科 漆造形 教授	<u>大塚 智嗣</u> (オオツカ トモツグ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 主な研究活動としては創作を中心とした個展やグループ展を開催、その他地域に根ざした研究などを行っています。近年の活動としては、東京での個展（企画展）の開催、地元広島においては国際工芸展やCOC+による広島轆轤の技術指導と轆轤の展示を行なうとともに同時開催として講演会、シンポジウムなど企画運営を主導しました。さらに中国美術系大学の講師 30 名への漆講義と実技指導など学術的な国際大学連携教育プログラムの参加など多岐に渡る研究を実施しました。	
研究テーマ：芸術表現	
研究キーワード：環境、美術、芸術、工芸、デザイン、造形、漆、轆轤、アート、木工、彫刻	

デザイン工芸学科 漆造形 講師	<u>青木 伸介</u> (アオキ シンスケ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 創作活動を中心に据えた研究とともに、社会連携プロジェクト「地域資源と伝統技術を活用した芸術教育プログラムの構築」の実施や、COC+による広島仏壇に従事している技術者の製作現場調査、技術伝承事業として学生を含めた取組みを行なっています。その過程で和紙と漆を使った壁面装飾パネルの制作を行うなど、地域資源と漆工芸技術を組み合わせた新たなデザインの提案を研究しています。	
研究テーマ：漆芸技法を応用した美術表現の研究制作	
研究キーワード：工芸、漆芸、美術、地域、資源、和紙、伝統、デザイン	

広島平和研究所	
特任教授	大芝 亮 (オオシバ リョウ)
研究分野：政治学、国際関係論（グローバル・ガヴァナンス論）	
研究概要 ①国際関係の変容について、国家とともに、国際組織、NGO、世界企業等の非国家的アクターの役割・活動に注目して考察します。具体的には、国連の平和構築活動、世界銀行やNGOによる貧困緩和政策、ユネスコにおける世界遺産をめぐる政治などを分析しています。②上記のテーマについて、国際政治の理論、特にグローバル・ガヴァナンス論の有効性と限界を分析しています。③「広島発の平和学」について、考察を進めています。	
研究テーマ：現代の国際秩序とグローバル・ガヴァナンス論、国際関係における非国家的アクターの役割	
研究キーワード：国際政治理論	

広島平和研究所	
教授	永井 均 (ナガイ ヒトシ)
研究分野：日本近現代史	
研究概要 第二次世界大戦とその後の日本・フィリピン関係史を中心に研究をしています。特に戦争体験とその記憶をめぐる日比両国民の相互認識、およびその社会的影響に関心を持っています。主な研究テーマには、戦争犯罪裁判（東京裁判とBC級戦犯裁判）や戦争捕虜、民間人抑留者の問題などがあります。近年は、新しいテーマとしてフィリピンにおける残留日本兵の研究に着手し、ルバング島の小野田寛郎元陸軍少尉ら残留兵の存在が、現地コミュニティーや外交関係に与えた影響の考察に取り組んでいます。	
研究テーマ：戦争をめぐる日本・フィリピン関係史	
研究キーワード：日本・フィリピン関係史、戦犯裁判、残留日本兵	

広島平和研究所	
教授	沖村 理史 (オキムラ タダシ)
研究分野：国際関係論、環境政策・環境社会システム	
研究概要 主たる研究テーマは国際的な環境問題の国際制度形成と発展です。国際環境制度の形成過程を調査するために、国連気候変動枠組条約締約国会議に1995年から毎年参加し続けるなど、参与観察を続けています。今後は、SDGsのような、国際開発、地球環境、人間の安全保障などが多様に関連するグローバル・イシューに関心を広げ、地球上の人々が平和に暮らし続けるための国際社会の取り組み、といった研究を進めていきたいと考えています。	
研究テーマ：地球環境問題や国際環境問題の国際制度、国際関係論、国際連合研究、国際環境政治学、環境政策論	
研究キーワード：国際制度、国際連合、国際機関、気候変動、国際関係論、地球環境問題、人間の安全保障	

広島平和研究所	
講師	加藤 美保子 (カトウ ミホコ)
研究分野：国際関係論、ロシア外交	
<p>研究概要</p> <p>専門分野は現代ロシア外交です。冷戦終結・ソ連崩壊を経験したロシアは国際システムの周辺（periphery）の地位に転落しましたが、再び中心（core）へ回帰し「自立した大国」となることを追求してきました。地理的にヨーロッパとアジアに跨るロシアには、西（欧米）、南（旧ソ連圏）、東（極東）、北（北極）という4つの外交正面があります。国際システムにおけるパワーの維持、回復、強化のために、ロシアの外交エリートたちが国際制度や二国間関係をどのように利用しようとしてきたのかについて、主に東方外交に焦点を当てて研究しています。</p>	
研究テーマ：1) 冷戦後の米中ロ大関係の変容、2) ロシアと中国・旧ソ連友好国の関係回復と戦後国際秩序へのインパクト	
研究キーワード：国際秩序、大国間競争、ロシア、中国、アメリカ、東アジア、ユーラシア	

広島平和研究所	
教授	ガネサン, ナラヤナン
研究分野：東南アジア政治・国際関係	
<p>研究概要</p> <p>The focus of my research has traditionally been on the comparative politics and international relations of Southeast Asia. In the field of comparative politics, there has been a greater focus on Indonesia, Malaysia, Myanmar, Singapore and Thailand. In international relations, the focus has been on sources of tension and conflict as well as regionalism in Southeast Asia and beyond. My more recent research has focused on the ethnic peace process in Myanmar.</p>	
研究テーマ：Domestic politics and foreign policy of Myanmar and Thailand	
研究キーワード：Southeast Asia Comparative politics、International relations、Foreign policy Regionalism	

広島平和研究所	
准教授	河上 暁弘 (カワカミ アキヒロ)
研究分野：公法学、政治学	
<p>研究概要</p> <p>これまで、憲法というものを、国家統治の基本法ではなく市民自治の基本法ととらえた上で、日本国憲法がいかにして生まれたか、戦後日本においていかなる意味と影響を持ってきたかということについて、その世界史的・民衆的文脈を明らかにしつつ、とくに平和主義条項・人権条項の意味を探ってきました。今後さらに、アジアや国際社会において、日本の中央政府・自治体・市民が平和の国内的・国際的条件をいかに構築しうるのか、広島自身のローカルで地域的視点から平和の国際的・国内的条件をいかに提供できるのか等について研究を深めていきたいと思えます。</p>	
研究テーマ：1.戦争違法化の理論と歴史 2.日本国憲法制定過程 3.憲法改正限界論 4.自治体による危機管理・平和保障 5.戦後日本憲法史・平和史 6.教育の権利と自由 7.信教の自由と政教分離等	
研究キーワード：憲法学、法学、政治学、行政学、平和学、地方自治論、人権論	

広島平和研究所	
特任教授	吉川 元 (キツカワ ゲン)
研究分野：国際関係論、平和研究、国際安全保障論	
研究概要 私は、現在、二つの研究テーマに取り組んでいます。第一は、軍事化する東アジアの国際関係構造の分析です。特に、東アジア地域の信頼醸成を阻む要因について、また安全保障共同体へと発展するための条件について研究しています。第二は、冷戦を終結させることに重要な役割を果たした欧州安全保障協力会議（CSCE）プロセスと呼ばれる多国間安保協力の見直しを行っています。CSCE プロセスの経験は東アジア共同体建設へ活かせるのかのかという視点からCSCEの再考を試みています。	
研究テーマ：CSCE プロセスの見直しと東アジア共同体論の研究	
研究キーワード：国際平和、安全保障共同体、CSCE	

広島平和研究所	
特任教授	佐藤 哲夫 (サトウ テツオ)
研究分野：国際法学	
研究概要 国際社会を規律する法秩序である国際法を専門とし、特に現代国際法の構造的特徴である国際社会の組織化を研究しています。具体的には、国連安全保障理事会による集団安全保障制度の研究に加えて、国際社会における公的利益の保護促進の担い手としての普遍的国際組織、NGOs や多国籍企業などの非国家アクターがアカウンタビリティ確保や人権遵守を求められていることを踏まえて、これらを規律する（すべき）諸原則とそれらの実施の仕組みを研究しています。	
研究テーマ：国際社会の組織化、国際連合等の国際組織の活動に関する研究、国連安全保障理事会による集団安全保障制度	
研究キーワード：国際法、国際組織、国際連合、安全保障理事会	

広島平和研究所	
准教授	四條 知恵 (シジョウ チエ)
研究分野：歴史社会学	
研究概要 原爆被害の記憶・表象研究を行っています。	
研究テーマ：ろう者をめぐる原爆被害の歴史叙述、原爆被害・戦後史の資料保存問題	
研究キーワード：原爆被害、歴史と記憶、歴史と語り、広島、長崎	

広島平和研究所	
教授	ジェイコブズ, ロバート
研究分野：歴史学（核兵器の文化と戦争史、米国の冷戦史と文化、科学技術の文化史）	
<p>研究概要</p> <p>The focus of my research is on the Global Hibakusha. These are the people affected by nuclear technologies since 1945, including those exposed to radiation from nuclear testing, nuclear power plant accidents, and the production of radioactive materials for both such as uranium mining and enrichment, and the production of plutonium. In recent years my focus has begun to include issues related to the permanent storage of high-level radioactive waste.</p>	
研究テーマ：Impact of nuclear weapons and nuclear testing on society	
研究キーワード：Nuclear weapons、American history and culture、hibakusha studies、nuclear testing、war and peace studies、popular culture studies	

広島平和研究所	
准教授	徐 顕芬 (ジョ ケンフン)
研究分野：現代中国研究、東アジア国際関係、国際援助論	
<p>研究概要</p> <p>東アジアにおけるリージョナル・ガバナンス構築についての研究を行っています。東アジア地域でいかなるリージョナル・ガバナンスを模索・構築してきたのかを、現代中国のガバナンス、戦後の日中関係、東アジア安全保障体制などの具体的なテーマに取り組む事例分析を通じて考察します。そして、東アジア地域で多面的な信頼醸成に基づくリージョナル・ガバナンスの構築はいかにして可能となるかを検討していきます。</p>	
研究テーマ：中国の改革開放と日本、日米安保体制と中国	
研究キーワード：中国の改革開放、日中関係、日米関係	

広島平和研究所	
准教授	孫 賢鎮 (ソン ヒョンジン)
研究分野：地域研究、国際法学	
<p>研究概要</p> <p>朝鮮半島をめぐる国際関係、北朝鮮の核問題や人権問題など北朝鮮の諸問題についての研究を行っています。現在、朝鮮半島をめぐる北朝鮮の非核化問題、韓国と北朝鮮間の軍事的緊張、終戦宣言による平和体制の構築など様々な問題が散在しています。朝鮮半島の問題は、韓国・北朝鮮だけの問題ではなく周辺国家の協力が不可欠な国際的な問題です。このような朝鮮半島の問題を国際政治、国際法的な観点から研究をしています。</p>	
研究テーマ：北朝鮮の核問題、北東アジア国際関係、北朝鮮の人権問題	
研究キーワード：国際法、朝鮮半島の国際関係、北東アジア安全保障、北朝鮮の諸問題	

広島平和研究所	
准教授	竹本 真希子 (タケモト マキコ)
研究分野：ドイツ近現代史、平和思想・平和運動史	
研究概要 20世紀ドイツの例を中心に、平和運動および平和思想の歴史を研究しています。両大戦間期におけるジャーナリズムから当時の「平和」概念を考察しているほか、冷戦期に至るまでの平和運動の変化や国際的な広がりについても検討しています。反核運動についても取り上げており、第二次世界大戦後の反核運動史や西ドイツと広島との交流の例、ヒロシマ情報のヨーロッパへの伝播についても分析しています。	
研究テーマ：ドイツの反核運動とヒロシマ、20世紀ドイツのジャーナリズムと平和主義	
研究キーワード：平和運動、平和主義、ドイツ史	

広島平和研究所	
准教授	河 昶珍 (ハ キョンジン)
研究分野：社会学、メディア・コミュニケーション	
研究概要 私の専門は広くいえば社会学で、メディアとコミュニケーションを主眼にしています。なかでもパブリック・リレーションズ (Public Relations) の理論・歴史を中心に研究を進めてきました。自他関係をめぐる社会学の諸議論や、産業史・経営史をベースとしながら、大衆メディア、世論と公衆、社会心理学などのキーワードからアプローチしています。最近では、文化外交・パブリック・ディプロマシー、平和とメディアの実践に関する研究にも取り組んでいます。	
研究テーマ：パブリック・リレーションズ (PR) の理論・歴史、20世紀アメリカ経営史、戦後日本における経営実践、パブリック・ディプロマシー、平和とメディアの実践的研究	
研究キーワード：パブリック・リレーションズ (PR)、メディア、企業、アーカイブ	

広島平和研究所	
教授	水本 和実 (ミズモト カズミ)
研究分野：国際政治・国際関係論 (核軍縮、安全保障)	
研究概要 第1は国際的な核軍縮の動向。国際情勢が緊張緩和に向かい、世界の核兵器が減りつつあるのか、それとも緊張が激化して核兵器が使用される危険が高まっているのかを、国際関係継続的に分析します。第2は広島・長崎への原爆投下に関する諸問題。特に最近では、第1次世界大戦以降の日本が次第に軍国主義的になって行き、日本が起こした戦争の継続が原爆投下へとつながる過程を、核兵器の危険性と戦争の非人道性の視点で分析します。	
研究テーマ：核をめぐる内外の動向と論調の整理・分析、広島・長崎への原爆投下および被爆に関連する諸問題	
研究キーワード：平和、核兵器、核軍縮、核廃絶、原爆投下、被爆体験、平和貢献	

国際交流推進センター	
特任教授	<u>松本 良徳</u> (マツモト ヨシノリ)
研究分野：異文化理解、国際交流	
研究概要 グローバル化が急速に進展している21世紀の世界において、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解力を身につけ国際的に活躍できる“グローバル人材”を育てるため、本学の学生の短期派遣、海外の学生の短期受入やオンラインによる異文化体験・国際交流プログラムを実施しており、“グローバル人材”の育成における異文化体験及び国際交流の効果とその意義について研究しています。	
研究テーマ：グローバル人材育成のための異文化体験・国際交流プログラムの効果と意義	
研究キーワード：異文化認識力、語学・コミュニケーション能力、異文化理解・活用力、海外志向	

社会連携センター	
特任教授	<u>國本 善平</u> (クニモト ゼンペイ)
研究分野：地域志向教育	
研究概要 本学が2015年度から2019年度まで文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の採択を受け、事業全体の推進コーディネートや地域貢献特定プログラム科目の講義等を担当。事業終了後も引き続き地域人材育成に向けた教育カリキュラム等を担当。「地域課題演習」や「地域再生論入門」の講義のほか、公立大学が教育活動によってどのように地域連携や地域志向の取組を拡充していくか、その方法論について情報の収集や考察を行っています。	
研究テーマ：地域人材育成に向けた教育活動の在り方	
研究キーワード：広島広域都市圏、地域課題、地域再生、地域との連携、地域展開型芸術プロジェクト	

社会連携センター	
特任講師	<u>三上 賢治</u> (ミカミ ケンジ)
研究分野：芸術一般	
研究概要 (200字程度) 広島広域都市圏を中心とした地域の課題や魅力を学ぶ「地域課題演習」や地域を活性化する事例やその方法論を学ぶ「地域再生論入門」等の地域志向教育を推進するとともに、アートプロジェクトをベースとした地域展開型の芸術教育の企画・運営を行いながら、瀬戸内海島しょ部地域において芸術を介した地域創造の研究を行っています。	
研究テーマ：地域創造	
研究キーワード：地域志向教育、アートプロジェクト、地域展開型芸術プロジェクト	

事務局企画室	
特任助教	山咲 博昭 (ヤマサキ ヒロアキ)
研究分野：高等教育、人的資源管理論	
研究概要 昨今、大学が自らの教育の質を保証し、適切な情報公表とあわせて社会に説明する責務を果たすことが求められています。そこで本研究では、①教育の質保証を推進する人材がどのような役割を果たしているのか、②どのような経験によって必要な能力を身につけたのかを解明することを目的としています。この他、高等教育経営の観点から、質保証の推進を支援する大学職員の人材育成の在り方に着目した調査研究等もあわせて行っています。	
研究テーマ：大学における教育の質保証と高等教育経営に関する研究	
研究キーワード：高等教育、大学評価、内部質保証、IR、SD、人的資源管理論	

索引

教員氏名別（50音順）

研究キーワード別（アルファベット順、50音順）

教員氏名索引 (50音順)

あ	青木 伸介	芸術学部	講師	69	内田 智之	情報科学研究科	准教授	30	
	青木 信之	国際学部	教授	1	内堀 豪	芸術学部	准教授	67	
	青山 正人	情報科学研究科	准教授	52	卜部 匡司	国際学部	教授	4	
	アリフ, ヌルハイザル・アザム	国際学部	准教授	1	大芝 亮	広島平和研究所	特任教授	70	
	厚海 慶太	情報科学研究科	助教	43	太田 育子	国際学部	教授	4	
	荒木 亨子	芸術学部	准教授	56	大田 知行	情報科学研究科	准教授	22	
	アル・ファリシイ, ムハンマド・サルマン	情報科学研究科	助教	53	大塚 智嗣	芸術学部	教授	69	
	飯島 典子	国際学部	准教授	1	大場 静枝	国際学部	准教授	5	
	池田 徹志	情報科学研究科	講師	45	大庭 千恵子	国際学部	教授	5	
	石黒 賢一郎	芸術学部	准教授	59	岡本 勝	情報科学研究科	講師	28	
	石田 賢治	情報科学研究科	教授	23	岡山 友昭	情報科学研究科	准教授	38	
	石谷 治寛	国際学部	准教授	2	沖村 理史	広島平和研究所	教授	70	
	石松 紀子	芸術学部	准教授	63	小野 貴彦	情報科学研究科	教授	44	
	石光 俊介	情報科学研究科	教授	49	小畑 博晴	情報科学研究科	准教授	23	
	板谷 大世	国際学部	准教授	2	か	カーソン, ルーク	国際学部	准教授	5
	市原 英行	情報科学研究科	教授	17		笠原 浩	芸術学部	教授	66
	井手吉 成佳	国際学部	准教授	2		梶山 朋子	情報科学研究科	准教授	34
	伊藤 孝弘	情報科学研究科	助教	55		加藤 美保子	広島平和研究所	講師	71
	伊東 敏光	芸術学部	教授	61		金谷 信子	国際学部	教授	6
	稲木 雅人	情報科学研究科	講師	19		ガネサン, ナラヤナン	広島平和研究所	教授	71
	稲村 勝樹	情報科学研究科	准教授	25		神尾 武司	情報科学研究科	講師	48
	井上 伸二	情報科学研究科	助教	22		上土井 陽子	情報科学研究科	講師	18
	井上 智生	情報科学研究科	教授	17		河上 暁弘	広島平和研究所	准教授	71
	井上 泰浩	国際学部	教授	3		川端 英之	情報科学研究科	准教授	20
	今井 哲郎	情報科学研究科	講師	34		川本 佳代	情報科学研究科	助教	46
	今江 秀和	国際学部	准教授	3		菅 亮平	芸術学部	講師	59
今村 雅弘	芸術学部	教授	56	城多 努		国際学部	准教授	6	
岩井 千秋	国際学部	教授	3	吉川 元		広島平和研究所	特任教授	72	
岩垣 剛	情報科学研究科	助教	17	金 栄鎬		国際学部	教授	6	
岩城 敏	情報科学研究科	教授	45	釘宮 章光		情報科学研究科	准教授	50	
岩田 一貴	情報科学研究科	准教授	36	國本 善平		社会連携センター	特任教授	75	
岩根 典之	情報科学研究科	准教授	34	窪田 昌史		情報科学研究科	助教	21	
ヴェール, ウルリケ	国際学部	教授	4	倉内 啓		芸術学部	教授	68	
ウォーゼン, チャールズ	芸術学部	教授	61	倉科 一希		国際学部	教授	7	

教員氏名索引 (50音順)

さ	黒木 進	情報科学研究科	准教授	29	高久 賢也	国際学部	准教授	8	
	黒澤 義明	情報科学研究科	助教	33	高野 知佐	情報科学研究科	教授	25	
	桑田 精一	情報科学研究科	准教授	41	鷹野 優	情報科学研究科	教授	50	
	香田 次郎	情報科学研究科	講師	51	高橋 賢	情報科学研究科	准教授	26	
	河野 英太郎	情報科学研究科	准教授	22	高橋 広雅	国際学部	教授	9	
	ゴーマン, マイケル	国際学部	教授	7	高橋 雄三	情報科学研究科	助教	47	
	古賀 くらら	芸術学部	助教	57	高濱 徹行	情報科学研究科	教授	35	
	小崎 貴弘	情報科学研究科	准教授	42	田川 玄	国際学部	教授	9	
	小作 敏晴	情報科学研究科	助教	42	竹澤 寿幸	情報科学研究科	教授	33	
	児島 彰	情報科学研究科	助教	21	武田 悠	国際学部	講師	9	
	小林 真	情報科学研究科	助教	24	竹本 真希子	広島平和研究所	准教授	74	
	今野 健太	芸術学部	講師	62	田中 圭介	芸術学部	准教授	61	
	齋藤 祥平	国際学部	准教授	7	田中 公一	情報科学研究科	教授	26	
	齋藤 徹	情報科学研究科	講師	51	田中 智美	芸術学部	助教	60	
	齋藤 夏雄	情報科学研究科	准教授	37	田中 輝雄	情報科学研究科	教授	38	
	齊藤 充行	情報科学研究科	助教	44	田中 宏和	情報科学研究科	教授	55	
	佐藤 哲夫	広島平和研究所	特任教授	72	田浪 巫央江	国際学部	准教授	10	
	佐藤 康臣	情報科学研究科	助教	40	谷川 一哉	情報科学研究科	講師	20	
	ジェイコブズ, ロバート	広島平和研究所	教授	73	田村 慶一	情報科学研究科	教授	29	
	式田 光宏	情報科学研究科	教授	53	辻 勝弘	情報科学研究科	助教	41	
重田 美咲	国際学部	准教授	8	釣谷 幸輝	芸術学部	准教授	58		
四條 知恵	広島平和研究所	准教授	72	寺井 里沙	国際学部	講師	10		
島 和之	情報科学研究科	准教授	47	寺田 英子	国際学部	教授	10		
志水 児王	芸術学部	教授	58	常盤 達司	情報科学研究科	講師	54		
下川 文明	情報科学研究科	准教授	36	な	永井 均	広島平和研究所	教授	70	
徐 顕芬	広島平和研究所	准教授	73		中田 明夫	情報科学研究科	教授	39	
城市 真理子	国際学部	准教授	8		中野 靖久	情報科学研究科	准教授	50	
城井 文	芸術学部	講師	66		永見 文人	芸術学部	教授	67	
新 浩一	情報科学研究科	講師	24		中村 圭	芸術学部	准教授	64	
鈴木 祐介	情報科学研究科	助教	30		中山 仁史	情報科学研究科	講師	49	
関根 光弘	情報科学研究科	准教授	37		永山 忍	情報科学研究科	教授	18	
双紙 正和	情報科学研究科	准教授	39		仲吉 朝希	情報科学研究科	特任助教		
孫 賢鎮	広島平和研究所	准教授	73		西 正博	情報科学研究科	教授	24	
た	高井 博之	情報科学研究科	助教		45	納島 正弘	芸術学部	教授	64

教員氏名索引 (50音順)

は

野田 睦美	芸術学部	准教授	68
河 灵珍	広島平和研究所	准教授	74
長谷川 義大	情報科学研究科	講師	53
秦野 貴光	国際学部	講師	11
八方 直久	情報科学研究科	准教授	26
馬場 雅志	情報科学研究科	講師	31
原 章	情報科学研究科	教授	35
原 崇浩	芸術学部	講師	59
原 雅樹	国際学部	講師	11
百武 弘登	情報科学研究科	教授	37
平見 信之	情報科学研究科	特任助教	
廣門 正行	情報科学研究科	准教授	38
弘中 哲夫	情報科学研究科	教授	20
樋脇 治	情報科学研究科	教授	54
福島 勝	情報科学研究科	准教授	41
福田 浩士	情報科学研究科	准教授	54
福本 昌之	国際学部	教授	11
藤江 竜太郎	芸術学部	講師	65
藤坂 尚登	情報科学研究科	教授	48
藤原 久志	情報科学研究科	准教授	52
藤原 真	情報科学研究科	講師	27
藤原 優美	国際学部	講師	12
舟阪 淳一	情報科学研究科	准教授	23
古堅 太郎	芸術学部	講師	63
古川 亮	情報科学研究科	准教授	31
古澤 嘉朗	国際学部	准教授	12
前田 香織	情報科学研究科	教授	25
前田 力	芸術学部	准教授	56
増谷 佳孝	情報科学研究科	教授	52
松原 行宏	情報科学研究科	教授	28
松本 良徳	国際交流推進センター	特任教授	75
丸橋 光生	芸術学部	助教	62
三上 賢治	社会連携センター	特任講師	75
三嶋 道弘	情報科学研究科	特任助教	32

ま

水本 和実	広島平和研究所	教授	74
満上 育久	情報科学研究科	教授	47
三村 和史	情報科学研究科	教授	36
宮崎 大輔	情報科学研究科	准教授	31
宮原 哲浩	情報科学研究科	准教授	30
村田 佳洋	情報科学研究科	准教授	39
目黒 紀夫	国際学部	准教授	12
目良 和也	情報科学研究科	講師	33
毛利 考佑	情報科学研究科	准教授	28
森 康真	情報科学研究科	助教	29
森永 昌司	芸術学部	教授	58
山浦 めぐみ	芸術学部	講師	57
山口 えり	国際学部	准教授	13
山口 光明	国際学部	教授	13
山咲 博昭	事務局企画室	特任助教	76
山崎 雅夫	国際学部	講師	13
山根 史博	国際学部	准教授	14
山平 芳美	国際学部	講師	14
湯浅 正恵	国際学部	教授	14
湯本 誠司	情報科学研究科	特任教授	
横山 知幸	国際学部	教授	15
吉江 貴文	国際学部	准教授	15
吉田 晴彦	国際学部	教授	15
吉田 幸弘	芸術学部	教授	65
李 在鎬	国際学部	教授	16
李 仕剛	情報科学研究科	教授	42
李 玲	国際学部	准教授	16
若林 真一	情報科学研究科	教授	18
脇田 航	情報科学研究科	講師	44
渡辺 智恵	国際学部	教授	16

や

ら

わ

キーワード索引 (アルファベット音順)

A	American history and culture	73
	American Modernism	7
	AR	28
	AR/VR	32
B	Bluetooth MANET	22
C	Climate	7
	Cosmopolitanism	7
	Cross-cultural psychology and communication	5
	CSCE	72
E	Education	5
	Environment	7
	ESD (持続可能な開発のための教育)	4
	EU 加盟候補国	5
	◦ ラーニング	16, 46
F	Field-Programmable Gate Array (FPGA)	21
	Foreign policy	71
	FPGA	18, 19, 20, 21
	FPGA の利活用	18
	FT-ICR	27
G	Globality	7
	GPU	21
	Graphics Processing Unit (GPU)	21
H	hibakusha studies	73
	HMD	28
	Human Computer Interaction	34
	Human Interface	34
I	Intelligent Tutoring System	34
	International relations	71
	IoT	25, 29, 34, 39
	IP トレースバック	39
	IR	76
L	Learning Psychology	5
	LPWA	26
M	Machine Learning	34

キーワード索引 (アルファベット音順)

	MEMS (Micro-Electrical-Mechanical Systems)	53
	MEMS 医用応用	53
	MEMS センサ	53
	MEMS デバイス応用	53
	Metacognition	5
N	nuclear testing	73
	Nuclear weapons	73
O	Ontology	34
P	P2P ネットワーク	23, 47
	popular culture studies	73
Q	QoS	23
R	Regionalism	71
	Reuse	34
	Rurality	7
S	SD	76
	SDGs	15
	Semantic Web	34
	Settler Colonialism	7
	Sketch	67
	Southeast Asia Comparative politics	71
	Sustainability	7
V	VAVET	39
	Virtual Reality	34
	VLSI CAD	18
	VLSI アーキテクチャ	20
	VLSI 設計自動化	19
	VR	28
	VR/AR	28
W	war and peace studies	73
	World War I	7

キーワード索引 (50音順)

あ	アーカイブ	2, 74	医用画像処理	52
	アート	69	医用画像診断支援	52
	アートアニメーション	66	イラスト	66
	アートプロジェクト	65, 75	色知覚	32
	アートマネジメント	6	岩絵具	57
	愛国主義	16	インコタームズ	10
	アクセス制御	25	印象抽出	33
	アクティブノイズコントロール	49	インスタレーション	63
	アシュアランスネットワーク	23	インターネット	23, 40
	アナーキズム	2	インバウンド	1
	アニメーション	66	ウィーン売買条約	10
	アパレルアイテム	33	歌声	49
	油絵	59	宇宙線	26
	アフリカ	9, 12	漆	69
	アミノ酸	50	運動準備電位	54
	アメリカ	71	英語学習	16
	誤り訂正符号化技術	55	英語教育	16
	暗号	25, 39	英国の地域交通計画	10
	安全性	17	衛星測位	26
	安全保障共同体	72	衛星通信	23
	安全保障理事会	72	映像	66
	「慰安婦」問題	4	エチオピア	9
	イギリス	11	エッジコンピューティング	21
	医工学	54	江戸文化	66
	石彫	62	絵本	66
	石とバナナ	62	演色	50
	遺伝アルゴリズム	39	オートフィクション	5
	遺伝的プログラミング	35	オロモ	9
	移動	10	音響工学	49
	移動透過通信	25	音響分析	33
	委任統治	10	音声	49
	異文化認識力	75	音声信号処理	49
	異文化理解・活用力	75	音声対話処理	33
	医用画像	52	音声認識	49

か	絵画	59, 60	画法書	57
	海外志向	75	可用性	17
	外傷記憶	2	加齢	50
	階層化意思決定法	38	環境	69
	開発	9, 14	環境経済評価	14
	開発援助	12	環境芸術	65
	開発政治体制	2	環境保全	12
	開放経済	8	観光	12
	界面の物理化学	52	観光情報学	33
	回路分割	19	感情情報処理	33
	化学物理	41	関数型プログラミング	47
	核軍縮	74	感性工学	28
	拡散 MRI	52	感性情報学	47
	学習工学	28	感性情報処理	34
	学習分析	28	観測誤差	44
	学生相談	3	歓待	10
	拡張現実感	28	カンボジア	14
	核廃絶	74	木	61
	核兵器	74	議院内閣制	2
	核兵器廃絶運動	14	機械学習	18, 28, 30, 36, 48
	確率過程	38	機械学習応用	34
	確率計算	17	企業	74
	確率制御問題	38	気候変動	70
	確率微分方程式	38	基礎デザイン教育	64
	華僑華人	1	北朝鮮の諸問題	73
	画像解析	52	北マケドニア	5
	仮想現実感	31	技能実習	8
	画像処理	31, 32, 47	機能的電気刺激	43
	画像認識	31	帰納論理プログラミング	30
	型染	68	規範	11
	学校危機管理	11	技法材料研究	56
	学校組織マネジメント	11	キャリア形成	13
学校評価	11	旧英国植民地	63	
華南社会	1	救急搬送	44	

キーワード索引 (50音順)

教育工学	28, 47	ケア労働	4
教育の拡実現実感	28	景観シミュレーション	65
教育評価	4, 46	経済学の日本語	8
教育用ロボット	46	経済成長論	9
教員養成	14	警察改革 (支援)	12
教授学	4	計算解剖学	52
行政学	71	計算機支援設計	17
強相関電子系	51	計算機設計支援	18
近・現代のジェンダー史	4	計算機網	45
金工	67	計算論的学習理論	30
金工品の復元	67	計算論的神経科学	36
近似計算	17	形式的手法	39
近似コンピューティング	17	芸術	57, 59, 69
金属工芸	67	芸術・現代美術	58
金属酵素	51	芸術の制度論	2
金属造形	67	計測・制御プログラミング	52
金属彫刻	67	計測制御工学	43
筋電	54	経路探索	44
空間	57	ゲーム理論	34
組合せアルゴリズム	18	決定グラフの最適化・応用	18
組合せ最適化	18, 39	ケニア	12
組合せ最適化手法	18	原価計算	2
組み込みシステム	21, 39, 49	健康づくり	13
グラフアルゴリズム	30	現実感	
グラフ探索	20	原子力	9
グラフ文法圧縮	31	原子力災害	14
グラフマイニング	30	原子分解能ホログラフィー	26
グリーン・ケア	4	現代アート	59
車のロボット化	42	現代織物	68
グレブナー基底	38	現代韓国・朝鮮	6
「黒い雨」被爆者	14	現代美術	60, 61, 63, 71
グローバル・サプライ・チェーン論	16	原爆投下	74
グローバル・ブランド	16	原爆 75 周年	2
群知能	35	原爆の図	57

キーワード索引 (50音順)

原爆被害	72	国際芸術展	2
憲法学	71	国際裁判管轄	10
語彙学習	28	国際資本フロー	8
高位合成	17	国際社会論	11
公会計	6	国際人権法	4
光学顕微鏡	52	国際正義	15
工学の日本語	8	国際政治理論	70
好感度	33	国際制度	70
公共政策	6	国際組織	72
工芸	67, 68, 69	国際秩序	71
高信頼性設計	17	国際的消費者行動	16
酵素	51	国際ビジネス	1
高速化	20	国際平和	72
高速画像記録	52	国際法	72, 73
高等教育	76	国際報道比較	2
高等教育機関の財政・財務	6	国際補助言語としての英語	3
行動経済学	9	国際連合	70, 72
行動的生体認証	29	木口木版画	58
高度情報交通システム	22	コグニティブ無線	26
幸福	61	国民国家	5
幸福感	13	五山文学	8
幸福論	61	故障検出率	17
公民パートナーシップ	6	コスト削減	17
港湾管理	10	子育て	8
港湾の民営化	10	国家とジェンダー	4
港湾物流	10	国境・国家を横断する歴史	4
声質変換	33	骨伝導	49
語学・コミュニケーション能力	75	古典絵画	57
国際関係史	5	古典研究	56
国際関係論	70	コト消費	16
国際機関	70	個別診断	28
国際教育協力	14	コミュニケーション方略	3
国際共同研究	26	語用論	3
国際協力	14, 15	コンテンツセキュリティ	25

キーワード索引 (50音順)

さ

コンテンツデリバリ	23	視覚情報工学	50
コンパイラ	21	視覚特性	32
コンピュータアーキテクチャ	20	詩画軸	8
コンピュータグラフィックス	31, 32, 44, 66	時間	57
コンピュータ支援診断	52	時間周波数解析	49
コンピュータによる外国語教育	1	色彩工学	50
コンピュータビジョン	31, 47	時空間解析	28
コンピューティング	40	時系列データ分析	29
コンプライアンス	45	時系列予測	35
災因論	13	資源	69
災害モニタリング	24	自刻像	62
最近傍探索	18	事象関連脳電位	54
再建 (復興)	63	システムソフトウェア	21
再構成可能デバイス	21	自然	61
財政学	9	自然言語対話	33
最適化	48	持続可能なまちづくり	13
最適化アルゴリズム	35	漆芸	69
最適化問題	17	実世界情報分析	29
最適制御	44	自伝	5
最適停止問題	38	自動運転	21, 44
サイバーテロ対策	25	自動プログラミング	35
サイバー・フィジカル・システム	17	シミュレーション	44
細胞動態	52	市民運動	14
災厄	4	市民社会	6
材料技法研究	57	ジャーナリズム	2
サウンドデザイン	49	社会シミュレーション	34
酸化反応	51	社会ネットワーク	34
産業衛生学	47	社会福祉	6
産業保健人間工学	47	社会変化	9
3次元内視鏡	31	車両モデル	44
3次元標準特異点	38	自由	11
残留日本兵	70	周縁社会と近代国家	9
シームレス学習	28	集合的記憶	12
視覚	62	集合値確率過程	38

キーワード索引 (50音順)

就職活動	8	人口	11
重心動揺	54	信号処理	36, 48
集積回路	41	信号処理ハードウェア	48
重層性	57	人工知能	28, 47
18世紀フランス小説	5	深層学習	29, 33
主権機能の変質	4	人体彫刻	62
主体	11	人的資源管理論	76
主要国首脳会議	9	振動計測	44
需要応答型交通	10	人道的アプローチ	4
準拠法	10	信頼性	17
障害許容性	47	心理面接の評価	3
少数言語文化	5	随意運動	54
小説	11	水耕栽培	51
肖像画	8	数学教育	38
情緒	33	数値解析	38
情緒計算手法	33	数値最適化	44
情報可視化	34	数値処理ソフトウェア	20
情報検索	34	数理統計学	37
情報推薦	29, 33	スキル学習	28
情報統計力学	36	錫鉱山	1
情報逗留技術	23	図像学	58
情報の可視化	28	ストカスティック・コンピューティング	17
情報理論	36, 55	ストリーミング	25
食品安全	14	スパッタ装置	26
植物工場	51	スポーツ	14
植民主義	4	スポーツ最適化	38
シリコン微粒子	26	スマートシステム集積学	53
史料英訳	13	スマホアプリ開発	44
進化	9	制御工学	42, 44
進化計算	30, 35, 48	制御理論	44
進化的アルゴリズム	35	生権力	11
シンガポール	2	生政治	11
人権論	71	政治学	71
信仰	13		

キーワード索引 (50音順)

政治体制	2	ソーシャル・キャピタル	6
正標数	37	ソーシャルネットワーク分析	25
生体医工学	54	ソーシャルメディア	29
生態系サービス	14	ソフトウェア	39
生体計測	44, 50	ソフトウェア工学	20
生体情報工学	54	ソフトウェア信頼性	47
生体信号計測	54	た 体育科教育	14
生体信号処理	54, 55	対外政策	6
生体電磁気学	54	大学評価	76
政党制	2	大規模複雑ネットワーク	25
成都方言	12	大国間競争	71
政府の経営学	6	耐故障設計	17
制約付き最適化	35	対人関係精神分析	3
生理心理工学	47	代数多様体	37, 38
セキュアプロトコル	18	ダイバーシティ・マネジメント	1
セキュリティ	39	多階層シミュレーション	51
設計検証	39	鍛金	67
設計最適化	39	多国間主義	11
設計自動化	18	多体問題専用計算機	27
せとうちの魅力発信	13	タピスリー	68
選挙制度	2	多文化主義	2
センサ・アクチュエータ	43	多変量統計解析	37
センサネットワーク	22	多峰性最適化	35
センサフュージョン	45	多粒子シミュレーション	27
禅宗美術	8	タンパク質	50, 51
染色	68	知・技の伝承	44
染織	68	治安維持法	2
染織造形	68	地域	69
戦犯裁判	70	地域課題	75
専門日本語教育	8	地域研究	13
専用ハードウェア	18	地域再生	75
造形	69	地域志向教育	75
造形理論	61	地域展開型芸術プロジェクト	75
創造性支援システム	29	地域との連携	75

キーワード索引 (50音順)

力制御	45	データベース	29, 34
地球環境問題	70	データ匿名化	18
知識工学	28	データ分析	36
知識情報処理	29	データマイニング	18, 28, 29, 30
知識発見	30	データマイニング (グラフマイニング)	30
知能工学	28	テキスタイルデザイン	68
知能情報学	28	デザイン	69
知能ロボティクス	45	デザインによる地域課題解決	64
地方自治論	71	デザインはその時代の社会が評価するものである	64
地方の言語政策	5	デジタルミュージアム	44
地方のバス市場の制度分析	10	テスト生成	17
注意と認知科学	2	テスト容易化設計	17
中間財メーカー視点の成長戦略	16	デッサン	59, 67
鋳金	67	デバイスシミュレーション	41
中国	71	デバイスモデリング	41
中国の改革開放	73	てんかん	54
中山間地の公共交通	10	電子回路シミュレーション	20
中世仏画	8	電子署名	25
中東	10	電磁センシング	24
彫金	67	電磁波	24
彫刻	61, 62, 69	伝達能力	3
彫刻表現	61, 62	伝統	69
朝鮮半島の国際関係	73	伝統芸能	66
著作権保護	25	伝統文化	12
通信技術	48	電波センシング	24
通信トラヒック分析	25	電波伝搬	24
通信品質	23	電波伝搬解析	55
通信プロトコル	23	ドイツ	4
綴織	68	ドイツ史	74
ディープラーニング	33	ドイツの教育	4
ディペンダブルコンピューティング	17	銅のオブジェ	67
データ圧縮	17	動画画像解析	52
データからの知識獲得	35		
データセキュリティ	29		

キーワード索引 (50音順)

凍結治療	54	人間機械システム	44
統治	11	人間工学	47
動的計画法	38	人間と動物	9
東南アジア	2	人間の安全保障	70
特異点理論	38	認証	39
特定用途	20	ネットワーク	24, 39
渡日生	8	ネットワーク基盤	25
トラウマのセラピー	2	ネットワークキャッシュ	23
ドローン	21	ネットワークシステム	18
な 内部質保証	76	ネットワーク侵入検知	18
長崎	72	ネットワーク侵入検知ハードウェア	18
ナショナリズム	4, 6, 9	ネットワークセキュリティ	22, 25
ナチュラル・コンピューティング	35	ネットワークソフトウェア	22
ナノ計測	52	ネットワーク分析	28
ナノ材料	27	脳機能計測解析	54
ナビゲーションシステム	39	脳視覚情報処理	42
ナラティブ手法	4	脳情報工学	54
難読化	39	脳波	54
2次元有理2重点および3重点.	38	脳波計測	54
日米関係	73	能力開発	13
日米関係史	9	乗り心地評価	44
日中関係	73	糊防染	68
日中同形漢語	12	は バーチャルリアリティ	28, 44
日本	4	バイオセンシング	50
日本画	57	バイオディーゼル燃料	51
日本絵画	57	バイオメトリクス	25
日本画制作	56, 57	バイオリアクター	51
日本型官民パートナーシップ	10	ハイパフォーマンスコンピューティ ング	21
日本古代	13	博物館学	59
日本語と中国語の比較	12	パターン認識	36, 45, 52
日本政治外交史	9	パフォーマンス	3
日本・フィリピン関係史	70	パフォーマンスアート	10
日本文化	13	ハプティクス	44
人間	61		

キーワード索引 (50音順)

パブリックファニチャー	65	広島	72
パブリック・リレーションズ (PR)	74	広島原爆	2
ハラール・ビジネス	1	広島広域都市圏	75
パラメータ抽出	41	紅型	68
パレスチナ	10	フーリエ変換 (イオンサイクロトロ ン共鳴) 質量分析	27
パワー・トランジション	11	ファッションアイテム	33
版画	60	風景	61
半経験的分子軌道法	51	風景彫刻	61
反原発運動	4	フェミニズム	4
バンディット問題	38	フォーラムシアター	10
半導体デバイス	41	不確実性認知	14
半導体光物性	26	復元	65
半導体物理	26	複雑系	34
非営利経済	6	複雑ネットワーク	34
非営利組織	6	複合現実感	44
東アジア	71	符号理論	36
光干渉	52	父子関係	5
光物性	27	物体検出	21
非構造化データ	30	物理現象等の数理モデルを用いた通 信制御	23
ビジュアル・コミュニケーション・ デザイン	64	物理設計	19
美術	57, 59, 69	歩留まり向上	17
美術館学	60	プライバシー保護データ公開	18
美術教育	58	ブラインド音源分離	33
非侵襲的計測解析	54	フルードパワーシステム	42
非線形回路解析	48	ブルターニュ地方	5
ビッグデータ解析	44	ブルターニュ文学	5
非同期式回路	17	ブルトン語	5
被爆者	14	ブレインマシンインタフェース	54
被爆体験	74	プログラミング言語処理系	20
秘密分散	25, 39	プロダクトデザイン	65
秘密分散法	22	文化	6
ヒューマンインタフェース	28, 34, 45, 47	文化政策	10
被抑圧者の演劇	10		

キーワード索引 (50音順)

分散コンピューティング	18	ボラナ	9
分散システム	39, 47	翻訳研究	15
分散システム運用管理	25	ま マイノリティ	15
分子シミュレーション	50	マクロ経済政策	8
分子動力学計算	50	マケドニア問題	5
分子認識化学	50	マサイ	12
文章産出プロセス	1	まちづくり	65
文書管理実践論	15	丸木位里・俊	57
分析化学	50	マルコフ決定過程	38
米欧関係史	7	マルチエージェント	22
ベイズ推定	36	マルチエージェントシステム	35
並列計算	34	マルチプロセッサ	20
並列処理	20, 21	マルチメディアシステム	55
並列ダウンロード	23	マルチメディアデータベース	29
平和	15, 74	マンマシンインターフェース	42
平和維持活動	11	見立ての造形	67
平和運動	4, 74	身近な生活環境	15
平和学	71	民主化	2
平和行政	14	民謡	5
平和貢献	74	無線 LAN	23
平和構築	12	無線システム	24
平和主義	74	無線信号検出	26
ヘッドマウントディスプレイ	28	無線通信システム	24, 55
変数変換型数値計算法	38	無線通信方式・機器	45
ポーラスシリコン	27	無線ネットワーク	24
法学	71	無線マルチホップネットワーク	22, 23
放射線の健康影響	14	室町水墨画	8
法の多元性	12	メカトロニクス	42
法の適用に関する通則法	10	メゾテント	58
亡命ロシア人	7	メディア	74
牧畜民	9, 12	メディアアート	66
北東アジア安全保障	73	メディアアクセスコントロール	24
ポストコロニアリズム	63	メディア・パフォーマンス	2
補足運動野	54	めまい・ふらつき	54

キーワード索引 (50音順)

面積削減	17	立体	59
面子消費	16	リハビリテーション	46
モーションメディア	45	リハビリテーション工学	54
木彫	61	リハビリテーション支援	30
文字列・正規表現マッチング	18	流体機械	42
木工	69	量子化学	50
モデリング	44	量子効果デバイス応用回路	48
モデル化誤差	44	量子構造	26
モデル検査	39	量子情報理論	41
モデルベース制御	44	量子通信	41
モバイル学習	28	量子力学	41
モバイル通信技術	25	旅行記	10
モバイルネットワーク	22	冷戦史	7
野生動物保全	12	レーダー	26
ユーザインターフェース	20	歴史人類学	15
ユーザ中心設計	17	歴史と語り	72
ユーザ認証	25	歴史と記憶	72
ユーラシア	71	老・病・死と自己決定権	4
ユーラシア主義	7	老人	9
油彩画	58	轆轤	69
油彩画材料	58	ロコモーションインタフェース	44
ユビキタス学習	28	ロシア	71
妖怪	66	ロジスティクス	10
4次元の結び目理論	37	ロボットビジョン	42
余白	57	ロボット工学	45
予防医学	50	ロボティクス	45
落語	66	論理的思考力	46
ラテンアメリカ	15	論理的思考力育成	30
乱数生成	17	ワークショップ	65
ランドアート	65	ワイヤレスセンサネットワーク	39
リアルタイムシステム	39	和紙	69
力学系理論とその応用	37	ワタン (郷土)	10
リコンフィギャラブル・コンピューティング	20		

本学研究者紹介の詳細は、下記のURL・QRコードからでもご覧いただけます。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/researcher/>

※各教員の「教員総覧」「研究シーズ」を掲載しています。



広島市立大学 研究者紹介集 2021

編集発行：広島市立大学社会連携センター

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号

TEL 082-830-1764

FAX 082-830-1555

発行：2021 年 9 月



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

Phone 082-830-1500(代) Fax 082-830-1656